

2022年7月改訂版



(浜松市総合計画 2022年度実施計画)

浜松市戦略計画2022

～サステナブルな地域社会の創造～



浜松市総合計画の実行に向けて

浜松市総合計画の2022年度の実施計画となる戦略計画2022を策定しました。

戦略計画は、浜松市未来ビジョン(基本構想)で定めた都市の将来像「市民協働で築く『未来へかがやく創造都市・浜松』」及び「1 ダースの未来(理想の姿)」の実現を目指し、市の重点施策やその目標を掲げ、政策や事業とともに、行財政改革や資源配分などの考え方を含めた市政全般にわたる方向性を示し、毎年度の環境の変化を踏まえて策定する計画です。

戦略計画2022では、浜松市未来ビジョン第1次推進プラン(基本計画)で定めた7つの分野別計画を推進するための事業や資源配分を明確にし、計画の実効性を高めています。

本戦略計画を分かりやすく情報公開することで、市民の皆様に市政運営についてご理解いただきたいと考えています。

2022年4月

— 目 次 —

I 戦略計画の位置付け	P.1
II 分野別計画	P.7
1 産業経済	P.9
2 子育て・教育	P.15
3 安全・安心・快適	P.20
4 環境・エネルギー	P.31
5 健康・福祉	P.35
6 文化・生涯学習	P.40
7 地方自治・都市経営	P.43
III 総合戦略	P.57
IV 重点戦略	P.77

I 戦略計画の位置付け

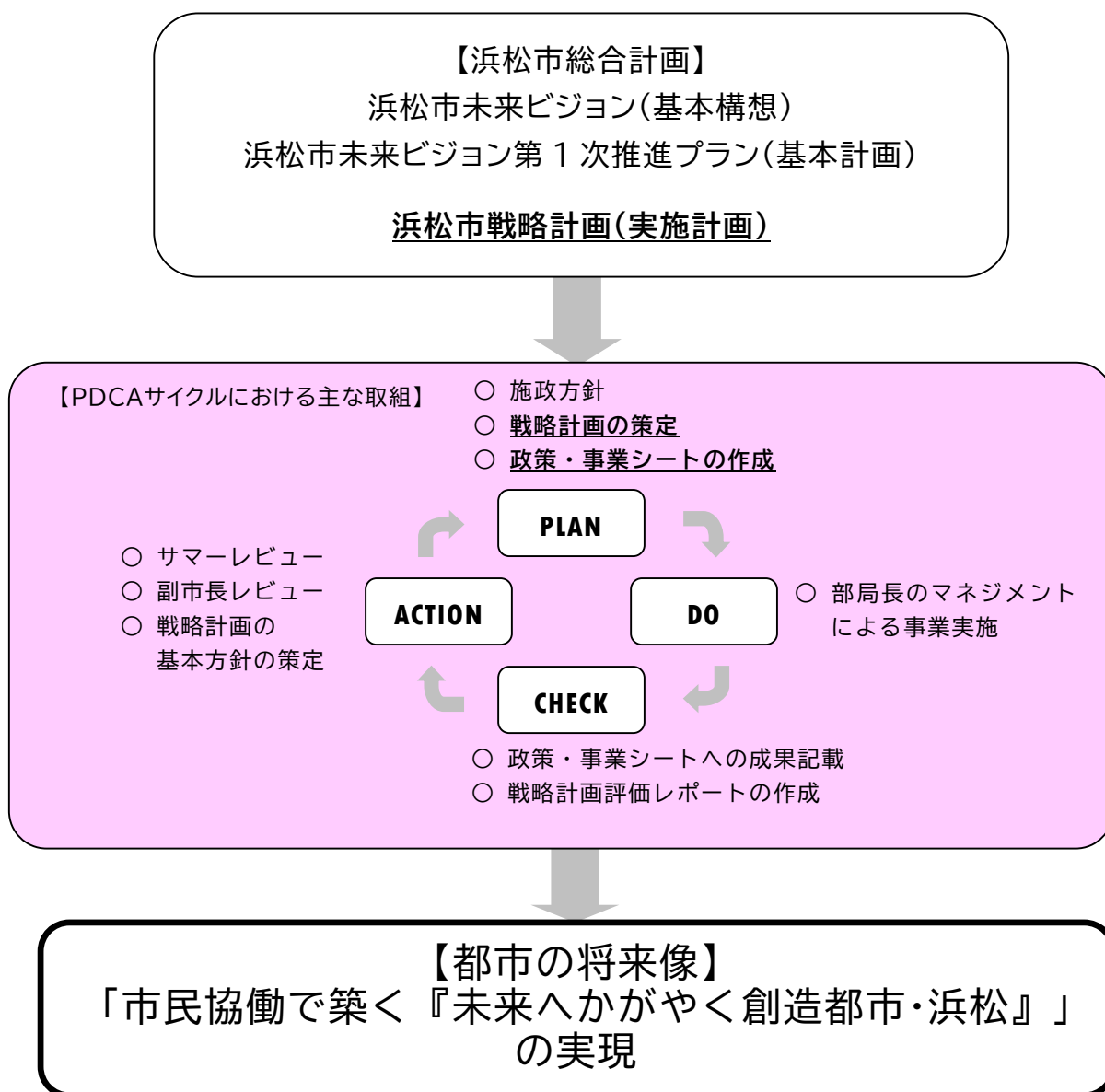


2 戦略計画を核とする経営の仕組み

浜松市総合計画は、浜松市未来ビジョン(基本構想)【計画期間 30 年:2015~2044 年度(平成 27~令和 26 年度)】、第 1 次推進プラン(基本計画)【計画期間 10 年:2015~2024 年度(平成 27~令和 6 年度)】、戦略計画(計画期間 1 年)の 3 層構造としており、戦略計画は、政策実現のために進める具体的な事業を示す実施計画として、毎年策定します。

戦略計画は、当該年度の重点的な取り組みを抽出した本書及び本市が取り組む 113 の政策、920 の事業を網羅した政策・事業シートで構成しています。

戦略計画を核とした PDCA サイクルによる経営の仕組みにより、①意思決定の仕組み、②資源配分の仕組み、③分かりやすい市政情報の提供を図ります。



3 戦略計画の基本方針

戦略計画 2022 の策定に向け、昨年 9 月に基本方針を公表しました。
本計画は、以下の基本方針に基づき策定しています。

～ サステナブルな地域社会の創造 ～

◆ 若者がチャレンジできるまち

急速な社会経済状況の変化に対応し地元産業力の強化を図ることにより、若者や子育て世代の生活基盤を安定させ、若者世代の転入促進等による社会移動の均衡を目指します。

◆ 子育て世代を全力で応援するまち

結婚・妊娠・出産・子育てに関する施策を総合的に推進し、次代の浜松を担う子どもたちを安心して産み・育てられるまちを目指します。

◆ 持続可能で創造性あふれるまち

SDGs を原動力とした地方創生を推進します。市民の命と健康を守るため、引き続き新型コロナウイルス感染症対策に取り組むとともに、デジタル・スマートシティの推進により、持続可能な都市を目指します。

4 戦略計画 2022 の構成

(1) 分野別計画

第 1 次推進プラン(基本計画)を具体化し、部局や課の経営方針を明確にするため、7 つの分野、19 の基本政策、113 の政策について、責任者や各部局の取組、主な事業を掲載し、資源配分として職員数や予算額を示しています。

(2) 総合戦略

「第 2 期浜松市“やらまいか”総合戦略」【計画期間 5 年:2020~2024 年度(令和 2~6 年度)】の基本目標達成に向けた 51 の施策について主な事業を掲載し、重要業績評価指標(KPI)や計画値と総合戦略最終年度の目標値を示しています。

(3) 重点戦略

市長が市民の皆様へ実行をお約束した「やりますリスト」219 項目について、重点戦略【計画期間 4 年:2019~2022 年度(令和元~4 年度)】として位置付け、対象事業を掲載し、指標項目や計画値、実績値と重点戦略最終年度の目標値を示しています。

(4) 政策・事業シート

市が取り組む 113 の政策、920 の事業について、前年度の政策・事業の成果と本年度に実施する政策・事業の概要、指標の目標値、予算・人員の配分を示しているもので、市ホームページにて公開しています。

Ⅱ 分野別計画



1	産業経済	(P. 9)
2	子育て・教育	(P. 15)
3	安全・安心・快適	(P. 20)
4	環境・エネルギー	(P. 31)
5	健康・福祉	(P. 35)
6	文化・生涯学習	(P. 40)
7	地方自治・都市経営	(P. 43)

産業経済

理想の姿 (30年後)

◆創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

政策の柱 (10年後)

◆輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。

◆来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。

◆多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

基本政策①

世界の一步先を行く産業・サービスの創造

責任者

産業部長 藤野 仁
産業部 スタートアップ推進担当部長 加藤 路子
産業部 観光・ブランド振興担当部長 鈴木 秀司

SDGsの ゴール

④教育 ⑤ジェンダー ⑧成長・雇用 ⑨イノベーション ⑩不平等
⑪都市 ⑫生産・消費 ⑭海洋資源

主な取組

- ♪ 第2期はままつ産業イノベーション構想に基づき、成長分野へ重点的な支援を行い、地域の稼ぐ力を高めます。
- ♪ 中小ものづくり企業の生産性向上及び新たな産業の創出を目指し、他の支援機関と連携して産業用ロボットの導入やデジタル化の促進等を支援します。
- ♪ 次世代自動車センターにおいて、脱炭素化やデジタルものづくりの観点から、中小企業の技術の高度化や新製品開発の支援を行うなど、産業構造の急速な変化に対応するための取組を進めます。
- ♪ イスラエルなど海外のスタートアップと市内ものづくり企業とのオープンイノベーションにより、グローバルなビジネスの創出を目指します。
- ♪ フランスでの浜松フェアの開催などにより、天然繊維を用いた高品質な遠州織物の海外販路開拓を支援します。
- ♪ 事業成長の段階に応じた伴走支援などを通じてスタートアップの成長促進を図ります。
- ♪ 本市のビジネス環境を積極的に発信し、スタートアップをはじめとした企業誘致につなげます。
- ♪ 投資の促進や実証実験の場の提供などスタートアップが成長するエコシステムの形成を図り、スタートアップの誘致・育成を推進します。
- ♪ 地域のものづくり企業の技術と、全国のスタートアップの革新的な技術やアイデアの融合によるイノベーション創出の支援をします。
- ♪ 第三都田地区に代わる新たな工場用地として天竜区阿蔵山地区の開発・整備に向けた取組を進めるとともに、戦略的な企業誘致活動により新たなリーディング産業の誘致を推進します。

- ♪ 産官学金の連携による創業・事業承継を支援し、創業希望者が経営資源を引き継いで創業する創業型事業承継に取り組みます。
- ♪ ギャラリーモール、新川モールをはじめとする公共空間の利活用など都心におけるにぎわい創出を促進します。
- ♪ リノベーションスクール（個人版及び企業版）の開催やエリアを面的にプロデュースする事業者の育成支援、リノベーションスクール提案事業に対するガバメントクラウドファンディングを活用した資金調達支援を行うなど、リノベーションによる中心市街地の活性化を図ります。
- ♪ 大河ドラマ「どうする家康」の放送開始に向け、大河ドラマ館の整備をはじめとした受入体制を整え、交流人口及び関係人口の拡大を図ります。
- ♪ 浜名湖観光圏整備計画に基づく滞在型の観光地域づくりを推進し、観光交流客数や旅行消費額の増につなげます。
- ♪ ユーチューバー等のインフルエンサーやデジタルマーケティングを活用した効果的なプロモーションを実施し、本市の認知度・魅力度を向上させ、国内外からの誘客につなげます。
- ♪ アフターコロナを見据えた商品造成や受入環境整備を進め、入国制限解除後のインバウンドの早期回復を目指します。
- ♪ 映像作品の誘致・支援を進めるとともに、本市をロケ地又はモデル地としている映画、アニメ、漫画作品等を活用したプロモーションを展開し、フィルムコミッションによる地域の活性化に取り組みます。
- ♪ 公式オンラインアンテナショップ「はままつ出世マーケット」の運営やWEB物産展の開催により、本市の地場製品のブランド化や販路拡大に取り組みます。
- ♪ 「ふるさと納税」制度を通じて、寄附金の獲得及び地場製品の流通を拡大し、関係人口の増加につなげます。
- ♪ コロナ禍における経済対策として、市内の小売業や飲食業を支援するため、電子決済サービス等を活用したポイント還元事業やキャッシュバックキャンペーンなどを実施します。
- ♪ UIターン就職の促進をはじめ、女性、外国人、就職氷河期世代等に加え、シニア専用デスクの設置による高齢者の就労支援など、産業人材の確保と誰もが働きやすい労働・雇用環境の整備を推進します。
- ♪ 産業界と連携し、地域産業を牽引する高度理数系人材や職業人材の育成に取り組みます。
- ♪ 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて売上げが減少した中小企業者等を対象としたデジタル化応援事業を実施し、競争力と持続力の強化を支援します。

政策・事業等

★ 職員数 ⇒ 正=正規職員、再=再任用短時間勤務職員、会=会計年度任用職員。時点は、2022年4月1日現在。

★ 予算 ⇒ 一=一般会計、特=特別会計、企=企業会計。

政策	担当組織 (責任者)	職員数 (人)	2022予算 (百万円)
主要事業 新産業の創出と既存産業の高度化による活力ある地域経済の実現 ・ 中小企業金融支援事業【1】 ・ 中小企業活性化支援事業【3】	産業振興課 (岩崎 英浩)	正 13.1 再 2.0 会 3.0 計 18.1	一 1,329 特 16,646 企 計 17,975
新産業の創出と既存産業の高度化による活力ある地域経済の実現 ・ 産業イノベーション推進事業【1・2・4・5】 ・ 地域産業振興支援事業	産業振興課 (岩崎 英浩)	正 5.9 再 会 5.9 計	一 585 特 企 計 585
海外需要を取り込み、国内事業の活性化を図るため中小企業の海外展開を促進 ・ 海外ビジネス展開支援事業【6】	産業振興課 (岩崎 英浩)	正 2.0 再 会 2.0 計	一 22 特 企 計 22
企業誘致の推進による産業集積の促進 ・ 企業立地推進事業【11・12・13】	企業立地推進課 (川合 比呂志)	正 11.0 再 1.0 会 2.0 計 14.0	一 2,540 特 企 計 2,540
新規創業や新事業展開の促進 ・ スタートアップ支援事業【8】 ・ スタートアップ誘致事業 ・ 首都圏ビジネス情報センター事業【10】	スタートアップ推進課 (江馬 正信)	正 11.0 再 会 1.0 計 12.0	一 459 特 企 計 459
新規創業や新事業展開の促進 ・ 創業支援事業【3・7】	産業振興課 (岩崎 英浩)	正 3.0 再 会 3.0 計	一 62 特 企 計 62
魅力ある都心づくりと商業振興 ・ 商業振興支援事業 ・ 商店街振興対策事業 ・ 中心市街地活性化施策調査研究事業 ・ 都心機能集積支援事業【28・30・31】	産業振興課 商業振興担当 (下位 基弘)	正 10.0 再 会 10.0 計	一 146 特 企 計 146
観光・コンベンションの振興による地域経済の活性化 ・ 観光客誘致事業【33】 ・ 浜松・浜名湖DMO形成支援事業【34】 ・ 海外戦略推進事業【36・37】 ・ MICE推進事業【38】 ・ 観光宣伝事業【44】 ・ ふるさと納税事業	観光・シティ プロモーション課 (北嶋 秀明) 観光・シティ プロモーション課 海外戦略担当 (影山 元紀)	正 21.2 再 会 4.6 計 25.8	一 3,047 特 企 計 3,047
世界を含めた都市間競争を勝ち抜くシティプロモーションの展開 ・ シティプロモーション事業【42・43・198】 ・ 新しい生活様式支援事業	観光・シティ プロモーション課 (北嶋 秀明)	正 4.6 再 2.4 会 7.0 計	一 1,346 特 企 計 1,346
だれもが働きやすい労働・雇用環境の整備 ・ 雇用促進事業【14・15・16・18・19・71・121】	産業振興課 雇用・労政担当 (田中 言彦)	正 8.0 再 会 2.0 計 10.0	一 356 特 企 計 356
計	4課	正 89.8 再 3.0 会 15.0 計 107.8	一 9,892 特 16,646 企 0 計 26,538

事業名の後の【 】に記載の数字は、重点戦略(P.79～)における戦略項目No.を示す。

基本政策② 作業から経営に！変革を遂げる農林水産業

責任者 産業部 農林水産担当部長 清水 克

SDGsのゴール ②飢餓 ④教育 ⑥水・衛生 ⑧成長・雇用 ⑨イノベーション
⑩不平等 ⑪都市 ⑫生産・消費 ⑬気候変動 ⑭海洋資源
⑮陸上資源

主な取組

- ♪ 「もうかる農業」の実現に向け、スマート農業の促進、人・農地プランを活用した農地の集積・集約化等による生産性の向上を図るとともに、多様な担い手の確保・育成のため、ユニバーサル農業の推進や次代を担う新規就農者支援、「農業経営塾」卒業生フォローアップの強化に取り組みます。
- ♪ WEBサイト「はままつフードパーク」のコンテンツ拡充や生産者と料理人のマッチングによる浜松産の食材「浜松パワーフード」を使った新たなレシピ考案などにより、農林水産物の認知度向上や販路拡大を図るとともに、「美食の街づくり」を推進します。
- ♪ FSC森林認証制度に基づく、持続可能な森林経営・管理を推進するとともに、引き続き、天竜材の利用・販路拡大や人材育成、担い手確保による林業の成長産業化に取り組みます。
- ♪ 水産業の持続的発展のため、漁港の維持管理や関係機関との連携による水産業振興事業に取り組みます。
- ♪ 卸売市場法の改正や社会環境の変化に対応した施設整備と持続可能な管理・運営体制の実現のため再整備基本構想を策定します。

政策・事業等

★ 職員数 ⇒ 正=正規職員、再=再任用短時間勤務職員、会=会計年度任用職員。時点は、2022年4月1日現在。

★ 予算 ⇒ 一=一般会計、特=特別会計、企=企業会計。

政策	主要事業	担当組織 (責任者)	職員数 (人)	2022予算 (百万円)		
農業参入機会の創出による担い手の確保	・もうかる農業推進事業【17・50】	農業水産課 (杉田 実良)	正	1.4	一	
			再 会 計	1.4	特 企 計	
農業参入機会の創出による担い手の確保	・生産・経営基盤強化事業 ・担い手育成支援事業【47】	農業振興課 (豊田 周一)	正	11.3	一	
			再 会 計	2.4	特 企 計	
ICTを活用した魅力あふれる農業への変革	・もうかる農業推進事業	農業水産課 (杉田 実良)	正	2.3	一	
			再 会 計	2.3	特 企 計	
生産基盤の安定による農業振興	・もうかる農業推進事業【46】	農業水産課 (杉田 実良)	正	8.1	一	
			再 会 計	1.0	特 企 計	
			計	9.1	計	217

政策	主要事業	担当組織 (責任者)	職員数 (人)	2022予算 (百万円)
生産基盤の安定による農業振興	<ul style="list-style-type: none"> 農産物生産振興事業 中山間・山間地域振興事業 	農業振興課 (豊田 周一)	正 12.2 再 2.3 会 0.8 計 15.3	一 281 特 企 計 281
生産基盤の安定による農業振興	<ul style="list-style-type: none"> 国・県施行事業【48】 農業農村整備支援事業 かんがい排水整備事業 農道整備事業 農業基盤整備国庫補助事業 	農地整備課 (前田 英和) 農地整備課 国営事業推進担当 (黒柳 健)	正 18.0 再 3.0 会 8.0 計 29.0	一 2,454 特 企 計 2,454
生産基盤の安定による農業振興	<ul style="list-style-type: none"> 農地の確保と有効利用事業【49】 	農地利用課 (鈴木 智久)	正 12.2 再 会 5.0 計 17.2	一 特 企 計 40
産業と市民活動による担い手の確保	<ul style="list-style-type: none"> もうかる農業推進事業【39・45・109】 	農業水産課 (杉田 実良)	正 1.2 再 会 1.0 計 2.2	一 特 企 計 15
産業と市民活動による担い手の確保	<ul style="list-style-type: none"> 市民に親しまれる農業推進事業 	農業振興課 (豊田 周一)	正 0.2 再 0.2 会 0.4 計 0.8	一 特 企 計 1
適切な伐採と流通の活性化	<ul style="list-style-type: none"> 低コスト林業推進事業 木材需要拡大事業【51・54】 林業成長産業化推進事業 	林業振興課 (小林 和重)	正 7.6 再 0.6 会 0.6 計 8.8	一 1,617 特 企 計 1,617
森林管理を通じた環境対応社会への貢献	<ul style="list-style-type: none"> 森林管理事業【52・164】 森林経営管理推進事業【53】 	林業振興課 (小林 和重)	正 8.5 再 1.9 会 0.8 計 11.2	一 140 特 企 計 140
適切な資源管理による水産業の振興	<ul style="list-style-type: none"> 水産業振興事業【56】 	農業水産課 (杉田 実良)	正 0.4 再 会 0.1 計 0.5	一 5 特 企 計 5
漁港などの基盤整備による水産業の振興	<ul style="list-style-type: none"> 漁港管理事業【55】 	農業水産課 (杉田 実良)	正 1.1 再 会 1.1 計 1.1	一 55 特 企 計 55
地元水産物の消費の活性化	<ul style="list-style-type: none"> 水産業振興事業【57】 	農業水産課 (杉田 実良)	正 0.6 再 0.9 会 1.5 計 1.5	一 2 特 企 計 2
卸売市場の活性化による市民の食生活の安定	<ul style="list-style-type: none"> 中央卸売市場事業 	中央卸売市場 (高柳 光男)	正 8.0 再 4.0 会 5.0 計 17.0	一 特 631 企 計 631
卸売市場の活性化による市民の食生活の安定	<ul style="list-style-type: none"> と畜場・市場事業 	食肉地方卸売市場 (加藤 信明)	正 4.0 再 1.0 会 2.0 計 7.0	一 特 323 企 計 323
	計	7課	正 97.0 再 15.0 会 26.0 計 138.0	一 5,255 特 954 企 0 計 6,209

事業名の後の【 】に記載の数字は、重点戦略(P.79～)における戦略項目No.を示す。

基本政策③

-

責任者

農業委員会事務局長 鈴木 智久

**SDGsの
ゴール**

②飢餓 ⑧成長・雇用

政策・事業等

★ 職員数 ⇒ 正=正規職員、再=再任用短時間勤務職員、会=会計年度任用職員。時点は、2022年4月1日現在。

★ 予算 ⇒ 一=一般会計、特=特別会計、企=企業会計。

政策	担当組織 (責任者)	職員数 (人)	2022予算 (百万円)	
主要事業 優良農地の確保と農業生産力の向上 ・優良農地の確保推進事業【49】	農業委員会事務局 (鈴木 智久)	正 20.0 再 3.0 会 計 23.0	一 21 特 企 計 21	
計	1課	再 3.0 会 0.0 計 23.0	特 0 企 0 計 21	

事業名の後の【 】に記載の数字は、重点戦略(P.79～)における戦略項目No.を示す。

子育て・教育

理想の姿 (30年後)

◆地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

政策の柱 (10年後)

- ◆子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- ◆すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

基本政策①

子どもの育ちを支え、若者の自立を応援するまちづくり

責任者

こども家庭部長 吉積 慶太

SDGsの ゴール

①貧困 ③保健 ④教育 ⑤ジェンダー ⑩不平等
⑯平和

主な取組

- ♪ 保育所等利用待機児童ゼロを維持するため、保育所等の施設整備（増築・増改築）による定員増や保育人材の確保などに、引き続き取り組みます。
- ♪ 県と連携し、結婚を望む男女への出会いの機会の提供や結婚相談への対応に取り組むとともに、結婚に伴う新生活のための費用を支援します。
- ♪ 新たに「子どもの未来応援基金」を創設し、子どもの貧困に関する対策及び子育て支援を推進します。
- ♪ 困窮する子育て世帯に対する支援の充実を図るため、子ども食堂や学習支援など子どもの居場所づくりの活動を支援します。
- ♪ 保護者の経済的負担を軽減するため、入院に伴う費用の無料化など医療費助成制度の見直しを行います。
- ♪ 地域子育て支援拠点事業やはますくヘルパー利用事業の実施により、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援を実施し、妊産婦等の不安や負担の軽減を図ります。
- ♪ 児童虐待の発生予防と早期発見・早期対応を強化するため、児童相談所と一時保護所による総合的な支援を充実します。
- ♪ 社会的養護が必要な児童が、家庭的な養育環境のもとで育てられるよう新規里親の確保及び里親の支援を充実します。
- ♪ 悩みや不安を抱えながらも、電話相談等に踏み切れない若者とその家族を支援するため、SNSを活用した若者相談支援事業の拡充等による相談体制の充実と、支援機関同士の連携強化を図ります。
- ♪ 保育に関する相談体制を強化するため、保育相談センターを設置するとともに、デジタル技術を活用したチャットボットを導入します。

政策・事業等

★ 職員数 ⇒ 正=正規職員、再=再任用短時間勤務職員、会=会計年度任用職員。時点は、2022年4月1日現在。

★ 予算 ⇒ 一=一般会計、特=特別会計、企=企業会計。

政策	担当組織 (責任者)	職員数 (人)	2022予算 (百万円)	
妊娠・出産を応援するための環境づくり ・地域少子化対策強化事業	次世代育成課 (野田 志保)	正 0.9 再 会 計 0.9	一 特 企 計	172 172
妊娠・出産を応援するための環境づくり ・私立保育所等助成事業【58・69】	幼児教育・保育課 (松下 直樹)	正 0.7 再 会 計 0.7	一 特 企 計	231 231
子どもが健やかに育つ環境づくり	次世代育成課 (野田 志保)	正 5.9 再 1.9 会 1.8 計 9.6	一 特 企 計	5 5
子どもが健やかに育つ環境づくり ・子育て家庭支援事業【65】 ・発達相談支援事業 ・子供の未来応援地域ネットワーク支援事業 ・子育てワンストップサービス運用事業 ・子どもの未来応援基金積立金 ・家庭福祉支援事業【95】	子育て支援課 (小山 東男)	正 11.9 再 2.0 会 3.0 計 16.9	一 特 企 計	15,909 15,909
幼児教育・保育施策の推進と施設の管理運営 ・市立保育所管理運営事業【61・93】 ・私立保育所等助成事業 ・幼児教育・保育無償化関連事業【94】 ・保育事業デジタル運営経費【60】 ・市立幼稚園教職員管理事業【93・81】 ・市立幼稚園特色化推進事業(負担金) ・市立幼稚園施設整備事業【61】 ・私立幼稚園助成事業	幼児教育・保育課 (松下 直樹) 幼児教育・保育課 幼児教育指導担当 (井川 宜彦)	正 615.3 再 25.0 会 104.0 計 744.3	一 特 企 計	25,190 25,190
子どもとその家庭に対する相談援助 ・こども保護対策事業 ・児童福祉施設整備助成事業 ・社会的養護推進事業 ・ひとり親家庭等支援事業【72】 ・女性相談保護事業	子育て支援課 (小山 東男)	正 10.1 再 0.0 会 1.0 計 11.1	一 特 企 計	2,796 221 3,017
子どもとその家庭に対する相談援助 ・児童保護事業【62】 ・社会的養護推進事業【63】 ・一時保護所運営事業	児童相談所 (鈴木 勝)	正 66.0 再 1.0 会 9.0 計 76.0	一 特 企 計	1,487 1,487
若者の自立を促す環境づくりの推進 ・子ども・若者支援プラン推進事業 ・青少年健全育成事業 ・青少年支援体験活動事業 ・子ども・若者サポート事業【64】	次世代育成課 (野田 志保)	正 7.2 再 1.1 会 4.2 計 12.5	一 特 企 計	114 114
計	4課	正 718.0 再 31.0 会 123.0 計 872.0	一 特 企 計	45,904 221 0 46,125

事業名の後の【 】に記載の数字は、重点戦略(P.79～)における戦略項目No.を示す。

基本政策②	市民協働による未来創造へのひとつづくり
責任者	学校教育部長 田中 孝太郎
SDGsのゴール	①貧困 ③保健 ④教育 ⑧成長・雇用
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ♪ 市立小中学校130校において、学校・家庭・地域が連携・協働して学校運営に取り組む「コミュニティ・スクール」を実施し、地域とともにある学校づくりを進めます。 ♪ 子供たちの情報活用能力を育成するため、「GIGAスクール構想」に基づく学習者用タブレット型端末1人1台配備など学校におけるICT環境を整備すると共に、教員への研修体制の強化やICT支援員による教育現場への支援に加え、中学校へのプログラミング教材の導入を進めます。 ♪ 児童生徒の安全確保と良好な学習環境確保のため、浜松市学校施設長寿命化計画に基づき、学校施設の改修を計画的に実施し、建築物の長寿命化を図るとともに、バリアフリー化を進めます。 ♪ 対象学年を小学校3年生まで拡大した1学級30人以下とするはままつ式少人数学級編制を実施し、きめ細かな指導の充実を図ります。 ♪ いじめ重大事態が発生した場合の検証や再発防止策の検討をするため、新たにいじめ問題第三者委員会を設置します。 ♪ 心身に障がいがあるなど支援が必要な児童生徒が在籍する小中学校に支援員等を増員配置し、発達支援教育の充実を図ります。 ♪ 不登校児童生徒の学校復帰と社会的自立を目指し、校内適応指導教室の増設などにより支援を充実します。 ♪ 外国人児童生徒に対し、初期適応指導動画や多言語翻訳機の活用などに加え、中学生年齢で初めて日本の学校に就学する生徒を対象に、重点的な学習支援を行う拠点校を設置します。 ♪ 放課後児童会の待機児童を解消するため、余裕教室の活用などにより定員増を図るとともに、地域の負担軽減や支援員等の処遇改善などを目的とした運営委託化を本格実施します。 ♪ 学校給食費の公会計化により、教職員の負担軽減や、学校給食の安定的な実施などを図ります。

政策・事業等

★ 職員数 ⇒ 正=正規職員、再=再任用短時間勤務職員、会=会計年度任用職員。時点は、2022年4月1日現在。

★ 予算 ⇒ 一=一般会計、特=特別会計、企=企業会計。

政策	担当組織 (責任者)	職員数 (人)	2022予算 (百万円)
夢と希望を持ち続ける子どもの育成 ・教育総合計画推進事業【88】	教育総務課 (山本 卓司)	正 3.6 再 0.5 会 4.1 計	一 1 特 企 計 1
夢と希望を持ち続ける子どもの育成 ・夢育やらまいか事業【75】	指導課 (石野 政史)	正 0.3 再 会 0.3 計	一 87 特 企 計 87
これからの社会を生き抜くための資質や能力の育成 ・学校情報技術環境整備事業【78】 ・小中学校学習者情報環境整備事業【78】	教育施設課 (山本 治之) 教育施設課 ICT教育推進担当 (山下 巧)	正 9.7 再 1.0 会 0.2 計 10.9	一 2,640 特 企 計 2,640
これからの社会を生き抜くための資質や能力の育成 ・生きた英語力育成事業【80】 ・部活動等推進事業【88】 ・教育研究・指導事業【77・89】	指導課 (石野 政史)	正 18.7 再 1.0 会 21.2 計 40.9	一 320 特 企 計 320
これからの社会を生き抜くための資質や能力の育成 ・小学校給食事業、中学校給食事業 ・学校安全事業【160】 ・学校給食費管理事業【90】 ・健康安全デジタル運営経費【90】	健康安全課 (富部 哲也)	正 20.0 再 3.0 会 8.0 計 31.0	一 6,231 特 企 計 6,237
自分らしさを大切にすることの育成 ・市立高校教育事業 ・市立高校管理デジタル運営経費 ・市立高校施設整備事業	市立高等学校 (宮田 治幸)	正 76.0 再 1.0 会 4.0 計 81.0	一 198 特 企 計 198
一人ひとりの可能性を引き出し、伸ばす取り組みの実践 ・発達支援教育推進事業【81】 ・外国人子供教育支援推進事業【83】 ・生徒指導事業【67・68】 ・教育相談推進事業【66・68】 ・不登校児支援推進事業【82】 ・理科・ものづくり教育支援事業	指導課 (石野 政史) 指導課 教育総合支援担当 (島田 一孝)	正 14.6 再 10.0 会 13.8 計 38.4	一 151 特 企 計 151
園・学校や教師の力の向上 ・教職員研修事業【91】	教育センター (佐藤 匡子)	正 11.0 再 6.0 会 3.0 計 20.0	一 29 特 企 計 29
家庭や地域の力を活かした取り組みの推進 ・コミュニティ・スクール推進事業【74】 ・はままつ人づくりネットワーク推進事業 ・放課後児童会健全育成事業【59・70】	教育総務課 学校・地域連携担当 (齋藤 美苗)	正 10.0 再 2.0 会 2.0 計 14.0	一 1,366 特 企 計 1,366
家庭や地域の力を活かした取り組みの推進 ・浜松市PTA連絡協議会活動助成事業	指導課 (石野 政史)	正 0.2 再 会 0.2 計	一 1 特 企 計 1
子どもの生活や学びを支える教育環境づくり ・通園・通学バス運行事業 ・小学校・中学校就学援助事業	教育総務課 (山本 卓司) 教育総務課 就学支援担当 (影山 和則)	正 17.4 再 5.5 会 5.0 計 27.9	一 976 特 企 計 1,051

政策	担当組織 (責任者)	職員数 (人)	2022予算 (百万円)
主要事業 子どもの生活や学びを支える教育環境づくり ・小学校建設事業【84】 ・中学校建設事業【84】 ・小学校施設整備事業【85】 ・中学校施設整備事業【85】	教育施設課 (山本 治之)	正 16.3 再 2.0 会 6.8 計 25.1	一 6,284 特 企 計 6,284
子どもの生活や学びを支える教育環境づくり ・教職員管理デジタル運営経費 ・教職員管理事業(小学校費・中学校費)【88・92】 ・教職員管理運営費【81・89】	教職員課 (水野 貴一) 教職員課 採用管理担当 (山下 淳一)	正 34.0 再 1.0 会 5.0 計 40.0	一 712 特 企 計 712
子どもの生活や学びを支える教育環境づくり ・かわな野外活動センター管理運営事業	指導課 (石野 政史)	正 0.2 再 会 1.0 計 1.2	一 189 特 企 計 189
子どもの生活や学びを支える教育環境づくり ・学校安全事業【86】	健康安全課 (富部 哲也)	正 1.0 再 1.0 会 計 2.0	一 7 特 企 計 7
計	7課	正 233.0 再 34.0 会 70.0 計 337.0	一 19,192 特 81 企 0 計 19,273

事業名の後の【 】に記載の数字は、重点戦略(P.79～)における戦略項目No.を示す。

安全・安心・快適

理想の姿 (30年後) ◆どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

政策の柱 (10年後) ◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

基本政策① みんなの力で自然災害から生き残る

責任者 危機管理監 小松 靖弘

SDGsのゴール ①貧困 ①①都市 ①③気候変動

主な取組

- ♪ 大規模災害発生時においても行政サービスの機能を維持し市民生活を守るため、本市の業務継続計画の実効性を高めるとともに訓練等を通じて対応能力の向上を図ります。
- ♪ 効果的・効率的な防災倉庫の配備や備蓄品管理等を実現するため調査研究を行います。
- ♪ 防災学習センターや出前講座を活用し、家具を固定することや飲料水、食料などを備蓄すること、多様な手段で防災情報が入手できることを市民へ啓発してまいります。
- ♪ 全ての災害を通じて、共助による防災・減災力の強化に取り組むために避難方法等を住民と一緒に考え、地域住民や民間企業、関連機関と連携し、防災訓練を行うことなどにより、地域コミュニティの共助に取り組めます。
- ♪ 被災者生活再建支援システムを活用して、より迅速なり災証明書発行や被災者に寄り添った支援を行うための仕組み作りを進めます。

政策・事業等

★ 職員数 ⇒ 正=正規職員、再=再任用短時間勤務職員、会=会計年度任用職員。時点は、2022年4月1日現在。

★ 予算 ⇒ 一=一般会計、特=特別会計、企=企業会計。

政策	主要事業	担当組織 (責任者)	職員数 (人)	2022予算 (百万円)
みんなの力で自然災害から生き残る	・ 防災計画等整備事業【158】	危機管理課 (小林 正人)	正 23.0	一 496
	・ 市民防災意識啓発事業		再 3.0	特 0
	・ 防災施設・資機材管理事業【159・172】		会 5.0	企 0
	・ 防災学習センター管理運営事業【160】		計 31.0	計 496
	計	1課	正 23.0 再 3.0 会 5.0 計 31.0	一 496 特 0 企 0 計 496

事業名の後の【 】に記載の数字は、重点戦略(P.79～)における戦略項目No.を示す。

基本政策② 安全で安心して暮らせる持続可能な地域社会づくり

責任者 市民部長 奥家 章夫

SDGsのゴール ④教育 ⑤ジェンダー ⑪都市 ⑫生産・消費 ⑯平和 ⑰実施手段

主な取組

- ♪ 繁華街を安心して通行し、利用することができる快適な生活環境の確保を図るため、指導員を配置し、客引き行為等の禁止区域内の巡回・指導等を行います。
- ♪ 地域における自主的防犯活動団体である「地区安全会議」の活動を支援します。また、その一環として、防犯カメラ設置に対する補助等を行います。
- ♪ 犯罪被害者等を支える地域社会の実現を図るため、犯罪被害者等支援条例を制定し、犯罪被害者やその家族、遺族等が平穏な生活を営むことができるよう、支援（見舞金等）を行います。
- ♪ 空家等対策計画に基づき、管理不適切な空家に対し、厳正な改善指導等を行うとともに、啓発活動等を通じて、空家の発生の予防を図ります。
- ♪ 浜松市消費者教育推進計画に基づき、学校・地域・職域等において消費者教育を推進するとともに、相談窓口機能の充実や消費に関する出前講座等の開催、フェアトレードを含むエシカル消費の啓発に持続的に取り組みます。
- ♪ 市民生活に関連する戸籍、住民基本台帳事務などの各種届出等の窓口について、行政のデジタル化を見据え、市民の利便性向上の観点から、オンライン申請による転出届・転入予約や「書かないワンストップ窓口」の導入に取り組みます。
- ♪ デジタル社会の基盤となるマイナンバーカードの取得促進のため、市民が気軽に簡単に申請できるようサポート体制を推し進めます。
- ♪ 将来の火葬体数の増加に対応するため、浜松市斎場再編・整備方針に基づき、斎場施設の整備を進めます。
- ♪ 墓園・墓地の植栽等の美観維持に努め、快く墓参できる環境を提供します。

政策・事業等

★ 職員数 ⇒ 正=正規職員、再=再任用短時間勤務職員、会=会計年度任用職員。時点は、2022年4月1日現在。

★ 予算 ⇒ 一=一般会計、特=特別会計、企=企業会計。

政策	主要事業	担当組織 (責任者)	職員数 (人)	2022予算 (百万円)		
地域防犯の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で安心なまちづくり支援事業 ・中心市街地防犯センター支援事業 ・防犯協会運営事業（負担金） 	市民生活課 (佐藤 一郎)	正	0.8	一	48
			再 会 計	0.8	特 企 計	
市民安全の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・市民安全対策事業【32】 ・空家対策事業 ・（新規）犯罪被害者等支援事業 ・市民相談、弁護士法律相談事業 ・基地周辺整備事業 ・市民生活運営経費 	市民生活課 (佐藤 一郎)	正	7.1	一	150
			再 会 計	2.0 11.5	特 企 計	
安全・安心な消費生活の推進、消費者教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・消費生活推進事業【137】 	市民生活課 (佐藤 一郎)	正	2.8	一	10
			再 会 計	1.0 8.5	特 企 計	
			計	12.3	計	10

政策	主要事業	担当組織 (責任者)	職員数 (人)	2022予算 (百万円)
	戸籍・住民基本台帳・印鑑登録等窓口事務の適切な執行 ・戸籍・住民基本台帳・印鑑登録等事業 (マイナンバーカードの普及促進【215】)	市民生活課 戸籍・住基担当 (増田 晴美)	正 4.4 再 0.5 会 4.9 計	一 526 特 企 計 526
	斎場・墓園・墓地の整備推進 ・斎場再編・整備事業	市民生活課 (佐藤 一郎)	正 6.5 再 会 計 6.5	一 627 特 企 計 627
	計	1課	正 21.6 再 3.0 会 20.5 計 45.1	一 1,361 特 0 企 0 計 1,361

事業名の後の【 】に記載の数字は、重点戦略(P.79～)における戦略項目No.を示す。

基本政策③ 市民が集う活力ある都市づくり

責任者 都市整備部長 井熊 久人
都市整備部 花みどり担当部長 奥井 智之

SDGsのゴール ②飢餓 ③保健 ④教育 ⑤ジェンダー ⑥水・衛生 ⑦エネルギー
⑧成長・雇用 ⑨イノベーション ⑪都市 ⑫生産・消費 ⑬気候変動
⑭海洋資源 ⑮陸上資源 ⑰実施手段

主な取組

- ♪ 拠点ネットワーク型都市構造の実現に向けて、土地利用規制や誘導の運用の考え方を示す土地利用方針の策定及び開発許可制度の運用基準等の見直しを進めます。
- ♪ 多様な災害に対応した防災都市づくり計画の策定を進めるとともに、災害時に都市機能が維持できるよう緊急輸送路沿道の建築物やブロック塀の地震対策を重点的に促進するなど、災害に強い都市づくりを推進します。
- ♪ 交通結節機能の強化により都市内交通の利便性を向上させるとともに、公共交通ネットワークの維持改善を図り、総合交通計画と地域公共交通網形成計画のアクションプログラムを推進します。
- ♪ 主要生活拠点において、都市機能と居住の誘導を図るため、土地区画整理事業等による都市基盤整備を推進するとともに、都心の定住・交流人口の増加に向けて、市街地再開発事業を促進します。
- ♪ 市民の快適な暮らしを支える持続可能で効率的な都市構造を実現するため、居住誘導区域へ定住を促し、賑わいと創造性あふれるまちづくりを推進します。
- ♪ 開園50周年を迎えた「はままつフラワーパーク」の次の50年に向けた事業を展開し、本市の花緑の魅力を発信します。
- ♪ 浜松城公園は、大河ドラマ「どうする家康」放送に合わせて遺構表示や園路改修により、歴史的な価値や利便性を向上させるとともに、鹿谷地区の拡充等を図り、都市の顔となる公園の魅力を高めます。
- ♪ 遠州灘海浜公園への新野球場の整備の実現に向けて、静岡県と継続して協議を進めます。
- ♪ 環境負荷の低減、維持管理費の縮減に向けて、公園照明灯のLED化により省エネルギー化を進めます。
- ♪ 動物たちのいのちのすばらしさ、大切さを楽しく学べる、市内唯一の教育施設として、動物園再生基本計画に基づき整備した「いのちのふれあいゾーン」を活用し、いのちの教育事業の充実を図ります。

政策・事業等

★ 職員数 ⇒ 正=正規職員、再=再任用短時間勤務職員、会=会計年度任用職員。時点は、2022年4月1日現在。

★ 予算 ⇒ 一=一般会計、特=特別会計、企=企業会計。

政策	主要事業	担当組織 (責任者)	職員数 (人)	2022予算 (百万円)
集約都市づくりの推進	・都市計画調整事業 ・都市計画策定事業【149】	都市計画課 (杉石 秀和)	正 17.9	一 58
		北部都市整備事務所 (高林 繁)	再 3.0 会 20.9	特 計 企 計
開発と保全が調和する土地利用の推進	・土地利用適正化事業【144】 ・まちづくり推進事業 ・景観形成・保全事業	土地政策課 (山田 雅之)	正 28.2	一 28
		北部都市整備事務所 (高林 繁)	再 1.0 会 6.0	特 計 企 計
			計 35.2	計 28

政策	担当組織 (責任者)	職員数 (人)	2022予算 (百万円)	
主要事業 はままつ流の多様な暮らしに対応した「安全・安心・快適」な交通を目指して ・交通計画推進事業【153】 ・公共交通推進事業【152・195】 ・天竜浜名湖鉄道経営支援事業	交通政策課 (刑部 晶彦) 北部都市整備事務所 (高林 繁)	正 11.0 再 1.0 会 12.0 計	一 特 企 計	767 370 1,137
安全・安心な市街地の形成 ・(新規)高塚駅北第二公共団地区画整理事業 ・浜北中央北地区公共施設整備事業 ・組合等区画整理支援事業	市街地整備課 (鈴木 祥司) 北部都市整備事務所 (高林 繁)	正 23.3 再 2.0 会 25.3 計	一 特 企 計	427 427
都心の都市機能の強化 ・市街地再開発組合支援事業【29】	市街地整備課 (鈴木 祥司)	正 1.9 再 会 計 1.9	一 特 企 計	0 0
安全・安心な居住環境への誘導 ・良質な建築物建設促進事業 ・狭い道路拡幅整備事業 ・地震対策推進事業【166】	建築行政課 (鈴木 成幸) 北部都市整備事務所 (高林 繁)	正 31.5 再 2.0 会 5.0 計 38.5	一 特 企 計	440 440
市営住宅の既存ストックの活用 ・市営住宅管理事業 ・市営住宅ストック総合改善事業 ・住まいづくり推進事業 ・高齢者向け優良賃貸住宅助成事業(補助金) ・災害対策事業	住宅課 (平口 学)	正 18.0 再 2.0 会 10.0 計 30.0	一 特 企 計	1,013 1,013
緑化推進・緑地保全 ・舘山寺総合公園運営事業【167】 ・浜松城公園長期整備構想推進事業【169】	緑政課 (廣野 浩之)	正 15.0 再 1.0 会 2.0 計 18.0	一 特 企 計	434 434
都市公園・緑地の整備 ・公園整備事業【143・169・202】	公園課 (中村 浩一)	正 14.0 再 会 2.0 計 16.0	一 特 企 計	511 0 511
都市公園・緑地の整備 ・公園施設改良事業【143】	公園管理事務所 (濱田 輝秀)	正 10.0 再 会 3.0 計 13.0	一 特 企 計	1,435 1,435
動物園の再生 ・動物園施設維持管理事業 ・動物愛護教育センター事業 ・施設整備事業【168】	動物園 (岩淵 肇)	正 33.0 再 1.0 会 7.8 計 41.8	一 特 企 計	415 415
計	11課	正 203.8 再 7.0 会 41.8 計 252.6	一 特 企 計	5,528 370 0 5,898

事業名の後の【 】に記載の数字は、重点戦略(P.79～)における戦略項目No.を示す。

基本政策④	安全な生活基盤づくり
責任者	土木部長 伏木 章尋
SDGsのゴール	③保健 ⑨イノベーション ⑩都市 ⑬気候変動
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ♪ 高速道路ICへのアクセス道路や、都心や地域生活拠点を結ぶ道路整備の推進により、道路ネットワークの強化を図り、広域交通の形成による利便性の向上、産業の生産性向上、観光交流の促進を目指します。 ♪ 国土強靱化地域計画に基づく道路法面对策などの道路防災対策や、流域治水プロジェクト及び浜松市総合雨水対策計画に基づく浸水対策を積極的に進めるとともに、橋りょうの修繕など土木施設の老朽化対策を推進します。 ♪ 安全で快適な道路の実現に向け、地域要望への対応や通学路の整備、事故多発交差点対策を計画的に実施します。 ♪ 第11次浜松市交通安全計画（令和3～7年度）に掲げる人身交通事故件数目標「令和7年までに2,500件以下」を達成するため、市民一人一人の交通安全意識の高揚を図ります。 ♪ 豪雨等により公共土木施設が被災した場合には、迅速に状況把握を行い早期復旧を目指します。

政策・事業等

★ 職員数 ⇒ 正=正規職員、再=再任用短時間勤務職員、会=会計年度任用職員。時点は、2022年4月1日現在。

★ 予算 ⇒ 一=一般会計、特=特別会計、企=企業会計。

政策	主要事業	担当組織 (責任者)	職員数 (人)	2022予算 (百万円)
効率的な道路・河川管理	<ul style="list-style-type: none"> ・道路管理事業【162】 ・道路維持修繕事業【148・155】 ・道路防災事業【148】 ・橋りょう耐震補強事業【161】 ・自転車等対策事業 ・地籍調査事業 ・河川管理事業 	道路保全課 (加藤 貞仁)	正 33.0 再 2.0 会 6.0 計 41.0	一 11,510 特 企 計 11,510
効率的な道路・河川管理	<ul style="list-style-type: none"> ・河川管理対策事業 ・河川維持修繕事業【148・156】 	河川課 (永井 聖孝)	正 4.7 再 会 0.4 計 5.1	一 1,261 特 企 計 1,261
快適な道路・川づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・道路関係調査事業 ・市道整備事業【148・150・151】 ・国県道整備事業【148・150・151】 ・スマートインターチェンジ関連整備事業【150】 ・三遠南信自動車道関連整備事業【147】 ・国直轄道路事業（負担金） ・都市計画道路整備事業【150】 ・天竜川駅周辺整備事業 	道路企画課 (野末 昇)	正 16.5 再 会 2.0 計 18.5	一 6,583 特 企 計 6,583

政策	担当組織 (責任者)	職員数 (人)	2022予算 (百万円)	
主要事業 快適な道路・川づくり ・河川改良事業【148・163】 ・浸水対策支援事業 ・港湾整備事業 ・都市下水路整備事業	河川課 (永井 聖孝)	正 4.9 再 0.6 会 5.5 計	一 特 企 計	880 880
交通安全対策 ・交通安全施設等整備・修繕事業 【35・87・148・195】 ・道路照明灯LED化更新事業【143】 ・交通安全推進事業【157】	道路企画課 交通安全対策担当 (中津川 英彦)	正 8.5 再 1.0 会 9.5 計	一 特 企 計	3,582 3,582
防災体制の強化 ・急傾斜対策事業 ・水防活動事業 ・水防団助成事業 ・土木施設災害復旧事業	河川課 (永井 聖孝)	正 3.4 再 1.0 会 1.0 計 5.4	一 特 企 計	2,161 2,161
上記事業の整備事務所分	土木整備事務所 (★)	正 177.0 再 15.0 会 39.0 計 231.0	一 特 企 計	0
計	7課	正 248.0 再 18.0 会 50.0 計 316.0	一 特 企 計	25,977 0 0 25,977

★南土木整備事務所(小出 弘章)、北土木整備事務所(鈴木 智彦)、東・浜北土木整備事務所(山下 真司)、
天竜土木整備事務所(鈴木 浩治)

事業名の後の【 】に記載の数字は、重点戦略(P.79～)における戦略項目No.を示す。

基本政策⑤	いつでも、どこでも、迅速的確に対応する消防・救急体制づくり
責任者	消防長 猪又 正次
SDGsのゴール	①貧困 ①都市 ③気候変動
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ♪ 防災拠点施設としての機能強化を図るため、中消防署高台出張所の移転新築に向けて、設計業務に着手します。 ♪ キャリアパスを示し、自らが将来を設計できる職場環境づくりに取り組みます。 ♪ コロナ禍においても消防救急体制の維持・確保を図るため、消防庁舎及び消防団庁舎の感染症対策を実施します。 ♪ 消防団員が出動等に勤務したときの支給額を増額し、処遇改善を図ります。 ♪ 火災による被害の軽減を図るため、違反対象物の早期是正及び積極的な火災予防広報活動に取り組みます。 ♪ 市内全域の災害に迅速対応するため、消防ヘリコプター「はまかぜ」の機動力を最大限に活かし、各種災害対応に当たります。 ♪ 消防ヘリコプター「はまかぜ」の安全運航体制の強化を図るため、操縦士の技量向上に努めます。 ♪ 消防救急体制の充実を図るため、消防・救急自動車の更新及び救急救命士等の資格者の育成を行います。 ♪ 救命効果を高めるため、市民に対し応急手当の普及に努めます。 ♪ 救急隊に配備したタブレット型端末を活用し、外国人傷病者対応の強化や大規模災害時の救急活動時の効率化・円滑化に取り組みます。 ♪ 119番通報をはじめとするあらゆる通報に対して、迅速的確に対応します。 ♪ 消防指令センター機能を適正管理し、消防指令管制システムと無線等の正常稼働を維持します。 ♪ 2023年度に更新期限を迎える消防指令管制システムの再整備を進めます。

政策・事業等

★ 職員数 ⇒ 正=正規職員、再=再任用短時間勤務職員、会=会計年度任用職員。時点は、2022年4月1日現在。

★ 予算 ⇒ 一=一般会計、特=特別会計、企=企業会計。

政策	担当組織 (責任者)	職員数 (人)	2022予算 (百万円)	
主要事業 消防施設の最適化、人材育成の充実 ・消防総務管理事業 ・消防庁舎運営事業	消防総務課 (太田 陽視)	正 14.8 再 2.0 会 5.0 計 21.8	一 特 企 計	396 396
消防団の防災体制の充実 ・消防団活動事業 ・消防団施設運営事業	消防総務課 (太田 陽視)	正 5.2 再 会 1.0 計 6.2	一 特 企 計	307 307
火災予防体制の充実、火災による被害の軽減 ・火災予防指導事業 ・火災予防啓発事業	予防課 (竹内 紀久夫)	正 21.0 再 2.0 会 1.0 計 24.0	一 特 企 計	10 10
通信・指令体制、救急体制、航空消防体制、消火・救助体制の充実強化 ・消防防災施設等維持管理事業 ・消防防災施設等整備事業 ・救急体制整備事業 ・消防航空隊運営事業【170】 ・消防情報通信ネットワーク事業【171】	警防課 (坂口 健次) 警防課 救急管理担当 (小久江 賢一) 情報指令課 (竹内 浩之)	正 61.0 再 9.0 会 2.0 計 72.0	一 特 企 計	2,078 2,078
計	4課	正 102.0 再 13.0 会 9.0 計 124.0	一 特 企 計	2,791 0 0 2,791

事業名の後の【 】に記載の数字は、重点戦略(P.79～)における戦略項目No.を示す。

基本政策⑥	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道
責任者	水道事業及び下水道事業管理者 朝月 雅則
SDGsのゴール	⑥水・衛生 ⑰実施手段
主な取組	<p>〔水道〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ♪ 『健全な水道経営の持続』に向けて、アセットマネジメント計画に基づく水道施設の配水区再編を含めた更新費用の抑制と平準化、料金制度適正化の検討、職員の技術力の維持向上などの取組を進めます。また、上下水道部共通の情報基盤をクラウド環境へ新設し、各業務システムを収容することで業務効率化や情報セキュリティ水準向上を図るなどDXを推進します。 ♪ 『安定したサービスと安全な水道水の提供』に向けて、地理的、地形的にバックアップ施設の整備が困難な中山間地区の安定した水運用に向け、地区ごとのリスク評価を行います。 ♪ 『強靱で安心できる水道システムの構築』に向けて、アセットマネジメント計画に基づき上水道の基幹管路及び水道施設の耐震化を重点的に進め、被災後の断水リスクの軽減に努めます。 <p>〔下水道〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ♪ 『良好な環境の創造』に向けて、下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽を効果的に整備する総合的な汚水処理（10年プラン）の進捗や下水道未接続世帯への接続勧奨の強化による下水道接続率の向上を図ります。 ♪ 『安全で強靱な下水道機能の確保』に向けて、アセットマネジメント計画に基づき基幹管路や下水処理場の地震対策を行うほか、浸水被害が予想される地域を対象とする内水対策など関連部署と連携した浜松市総合雨水対策計画に基づき浸水対策を進めます。 ♪ 『持続可能な下水道経営の推進』に向けて、効率的な建設事業の推進などによる企業債残高の削減を図るほか、下水道西遠処理区の運営委託方式による事業を適切に監視（モニタリング）します。

政策・事業等

★ 職員数 ⇒ 正=正規職員、再=再任用短時間勤務職員、会=会計年度任用職員。時点は、2022年4月1日現在。

★ 予算 ⇒ 一=一般会計、特=特別会計、企=企業会計。

政策	担当組織 (責任者)	職員数 (人)	2022予算 (百万円)
主要事業 安全な水を確実に届け続ける浜松の水道 ・浜松市水道事業（水道事業費用） ・浜松市水道事業（資本的支出）【172】	水道事業担当課 (★1)	正 146.0 再 15.0 会 15.0 計 176.0	一 443 特 企 19,132 計 19,575
未来へつなぐ快適な都市の暮らしを強固に支え続ける浜松の下水道 ・浜松市下水道事業（下水道事業費用） ・浜松市下水道事業（資本的支出）【172・173】 ・浄化槽助成事業	下水道事業担当課 (★2)	正 95.0 再 9.0 会 8.0 計 112.0	一 5,979 特 171 企 37,461 計 43,611
計	9課	正 241.0 再 24.0 会 23.0 計 288.0	一 6,422 特 171 企 56,593 計 63,186

★1 上下水道総務課(尾田 淳)、上下水道総務課経営企画担当(木下 裕文)、お客さまサービス課(水崎 裕久)、水道工事課(高橋 伸行)、浄水課(杉山 成規)、北部上下水道課(鈴木 正人)、天竜上下水道課(馬淵 勝巳)

★2 上下水道総務課(尾田 淳)、上下水道総務課経営企画担当(木下 裕文)、お客さまサービス課(水崎 裕久)、下水道工事課(松本 弘)、下水道施設課(鈴木 克巳)、北部上下水道課(鈴木 正人)、天竜上下水道課(馬淵 勝巳)

事業名の後の【 】に記載の数字は、重点戦略(P.79～)における戦略項目No.を示す。

環境・エネルギー

理想の姿 (30年後)	◆豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。
政策の柱 (10年後)	◆ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。 ◆再生可能エネルギー等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。
基本政策①	環境と共生した持続可能な社会の実現
責任者	環境部長 藤田 信吾 カーボンニュートラル推進事業本部長 村上 隆康
SDGsの ゴール	③保健 ④教育 ⑥水・衛生 ⑦エネルギー ⑪都市 ⑫生産・消費 ⑬気候変動 ⑭海洋資源 ⑮陸上資源 ⑰実施手段
主な取組	<ul style="list-style-type: none">♪ 海洋プラスチックごみ対策を推進するため、市民、企業等に対する使い捨てプラスチックの排出抑制や適正処理の周知啓発に取り組みます。♪ 特定外来生物クリハラリスによる生態系、農林業、市民生活への被害を未然に防ぐため、捕獲プランに基づき根絶に向けた防除を実施します。♪ 国による2030年度の温室効果ガス排出量の削減目標引き上げを踏まえ、本市としての目標と施策を示す「浜松市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の改定を進めます。♪ 地球温暖化対策を推進するため、電気自動車、ZEHの普及促進や脱炭素型ライフスタイルへの転換に係る啓発により、市内の温室効果ガス排出量の削減を図ります。♪ 市有施設の省エネルギー化を推進するため、既存施設のZEB化可能性調査や幼稚園、ふれあい交流センターなどの旧型蛍光灯のLED化を実施します。♪ 循環型都市の構築を目指し、生ごみやプラスチックごみの削減、雑がみの資源物回収など、ごみの減量資源化を推進するとともに、ごみ減量施策の一つとして家庭ごみ有料化の検討を進めます。また、事業系ごみの集積所への不当排出の抑制強化を図ります。♪ 新清掃工場及び新破碎処理センターの造成・アプローチ道路工事、工場建設工事の実施など、2024年度の稼働に向けて整備を進めます。♪ 2029年度に新たな西部清掃工場を稼働させるため、生活環境影響調査等を実施します。

政策・事業等

★ 職員数 ⇒ 正=正規職員、再=再任用短時間勤務職員、会=会計年度任用職員。時点は、2022年4月1日現在。

★ 予算 ⇒ 一=一般会計、特=特別会計、企=企業会計。

政策	担当組織 (責任者)	職員数 (人)	2022予算 (百万円)
環境に配慮した暮らしの定着と自然と共生するまちづくり ・環境と共生するまちづくり推進事業 ・生物多様性保全事業【134・135】 ・環境教育推進事業	環境政策課 (山田 英二)	正 10.0 再 1.0 会 計 11.0	一 48 特 企 計 48
環境に配慮した暮らしの定着と自然と共生するまちづくり ・カーボンニュートラル推進事業 ・再エネ・省エネ推進事業【138・139・143】	カーボンニュートラル 推進事業本部 (鈴木 秀幸)	正 3.9 再 1.2 会 計 5.1	一 155 特 企 計 155
豊かで安全・健康で快適な環境づくり ・水質保全事業【136】	環境保全課 (久米 秀幸)	正 17.0 再 3.0 会 計 21.0	一 23 特 企 計 23
環境に配慮した資源循環型社会の構築 ・ごみ減量・リサイクル推進事業【129・130・131】	ごみ減量推進課 (鈴木 浩之)	正 14.9 再 1.0 会 計 16.9	一 137 特 企 計 137
環境に配慮した資源循環型社会の構築	南清掃事業所 (鈴木 章良)	正 23.8 再 3.0 会 計 33.8	一 297 特 企 計 297
環境に配慮した資源循環型社会の構築	平和清掃事業所 (宮崎 幹啓)	正 14.0 再 1.0 会 計 15.0	一 692 特 企 計 692
環境に配慮した資源循環型社会の構築	浜北環境事業所 (鈴木 敏)	正 24.1 再 1.9 会 計 29.9	一 324 特 企 計 324
環境に配慮した資源循環型社会の構築	天竜環境事業所 (中村 幸与志)	正 14.0 再 6.0 会 計 26.0	一 312 特 企 計 312
安全・安心で安定したごみ・し尿等の処理	ごみ減量推進課 (鈴木 浩之)	正 0.1 再 0.1 会 計 0.1	一 44 特 企 計 44
安全・安心で安定したごみ・し尿等の処理 ・新清掃工場整備事業【132】 ・西部清掃工場更新事業【133】	廃棄物処理課 (石原 敦資) 廃棄物処理課 新清掃工場建設担当 (山口 佳伯) 廃棄物処理課 収集業務担当 (大塚 彰男)	正 33.0 再 2.0 会 計 41.0	一 10,583 特 企 計 10,583
安全・安心で安定したごみ・し尿等の処理	南清掃事業所 (鈴木 章良)	正 39.2 再 3.0 会 計 50.2	一 768 特 企 計 768
安全・安心で安定したごみ・し尿等の処理	平和清掃事業所 (宮崎 幹啓)	正 8.0 再 2.0 会 計 16.0	一 694 特 企 計 694

政策	主要事業	担当組織 (責任者)	職員数 (人)	2022予算 (百万円)
	安全・安心で安定したごみ・し尿等の処理	浜北環境事業所 (鈴木 敏)	正 0.9 再 0.1 会 0.1 計 1.1	一 46 特 企 計 46
	安全・安心で安定したごみ・し尿等の処理	天竜環境事業所 (中村 幸与志)	正 1.0 再 会 計 1.0	一 43 特 企 計 43
	不法投棄対策の推進 ・ 産業廃棄物適正処理推進事業	産業廃棄物対策課 (小野 哲司)	正 15.0 再 1.0 会 3.0 計 19.0	一 12 特 企 計 12
	計	9課	正 218.9 再 24.0 会 44.2 計 287.1	一 14,178 特 0 企 0 計 14,178

事業名の後の【 】に記載の数字は、重点戦略 (P. 79～) における戦略項目No.を示す。

基本政策②	再生可能エネルギー等の導入と省エネルギーの推進によるエネルギー自給率の向上
--------------	---------------------------------------

責任者	カーボンニュートラル推進事業本部長 村上 隆康
------------	-------------------------

SDGsのゴール	⑦エネルギー ⑨イノベーション ⑪都市
-----------------	---------------------

主な取組

- ♪ 太陽光やバイオマス、風力、小水力など地域特有の再生可能エネルギーの適正な導入を促進します。
- ♪ 既存の太陽光発電など再生可能エネルギー由来の発電施設の適正な維持管理を促進し、地域と調和した分散型電源の確保を図ります。
- ♪ 浜松市スマートシティ推進協議会を中心に官民連携により、エネルギーの最適利用やスマートコミュニティの構築、水素社会の実現などを目指したスマートプロジェクトを推進します。
- ♪ 公共施設への太陽光発電などの計画的導入を目的とした事前調査を行います。併せて市民や事業者向けの補助を通じて、太陽光発電、蓄電池などの導入を促進します。
- ♪ 株式会社浜松新電力と連携し、再生可能エネルギー由来の地産電力の供給や、自家消費型の太陽光発電の導入を促進します。
- ♪ 市内の総消費電力に相当する電気を地域の再生可能エネルギーで生み出すことにより、2050年までに「浜松市域“RE100”」の実現を目指します。

政策・事業等

★ 職員数 ⇒ 正=正規職員、再=再任用短時間勤務職員、会=会計年度任用職員。時点は、2022年4月1日現在。

★ 予算 ⇒ 一=一般会計、特=特別会計、企=企業会計。

政策	担当組織 (責任者)	職員数 (人)	2022予算 (百万円)
主要事業 再生可能エネルギー等の導入、省エネルギーの推進 ・再エネ・省エネ推進事業【140・141・146・165】	カーボンニュートラル 推進事業本部 (鈴木 秀幸)	正 5.1 再 3.6 会 8.7 計 8.7	一 199 特 企 計 199
エネルギー関連ビジネスの創出 ・カーボンニュートラル推進事業【145】 ・再エネ・省エネ推進事業【142】	カーボンニュートラル 推進事業本部 (鈴木 秀幸)	正 1.2 再 0.2 会 1.4 計 1.4	一 36 特 企 計 36
計	1課	正 6.3 再 0.0 会 3.8 計 10.1	一 235 特 0 企 0 計 235

事業名の後の【 】に記載の数字は、重点戦略(P.79～)における戦略項目No.を示す。

健康・福祉

理想の姿 (30年後)

◆支え合いによって、だれもが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすことができる。

政策の柱 (10年後)

◆地域での支え合いの仕組みづくりが進んでいる。
◆病気の発症や重症化を予防することにより、健康寿命が延びている。

基本政策①

人と人とのつながりをつくる社会の実現

責任者

健康福祉部長 山下 昭一

SDGsの ゴール

①貧困 ②飢餓 ③保健 ④教育 ⑤ジェンダー ⑧成長・雇用
⑨イノベーション ⑩不平等 ⑪都市 ⑫生産・消費
⑬気候変動 ⑯平和

主な取組

- ♪ 第4次浜松市地域福祉計画に位置付けた3つのリーディングプロジェクトである①地区社会福祉協議会への活動支援、②コミュニティソーシャルワーカーの配置支援、③多機関の協働による包括的相談支援体制の構築を推進し、より一層の地域福祉活動の進展を図ります。
- ♪ 「(仮称)浜松市人権を尊重し多様性を認め合う差別のない社会づくり推進条例」を策定し、本市が人権を尊重し、多様性を大切にする都市であることを示すとともに、差別や偏見のない思いやりあふれる社会の実現を目指します。
- ♪ はままつ友愛の高齢者プランに基づき、地域共生社会の実現のため、「地域包括ケアシステム」のさらなる深化・推進を図ります。
- ♪ 高齢者が住み慣れた地域で自立した日常生活を送ることができるよう、多職種・多機関協働により地域包括支援センターの課題解決力の向上を図るとともに、複雑・困難な事例を解決するための地域ケア会議を効果的に実施するなど、高齢者への適切な支援に繋げていく取り組みを推進します。
- ♪ 生活支援・介護予防サービスの体制整備に向けて、生活支援体制づくり協議体において、地域のニーズや社会資源を把握し、サロン活動や家事支援・移動支援等、地域の実情に応じた支え合いの取り組みを推進します。
- ♪ 認知症になってもできる限り住み慣れた地域で安心して暮らせるまちを目指して、市民へ認知症の正しい知識の普及啓発を図るため、認知症サポーター養成講座を開催するとともに、地域で認知症高齢者を見守る「チームオレンジ」の構築を支援するなど、認知症施策の推進に取り組めます。
- ♪ 人生の最終段階において、自らが希望する医療やケアを受けるために、元気なうちから前もって信頼する人たちと話し合い、共有する「アドバンス・ケア・プランニング（人生会議）」の普及啓発に取り組めます。

- ♪ 自立支援、介護予防・重度化防止のため、地域の通いの場としての口コモーショントレーニング事業や、地域リハビリテーション、栄養・口腔機能に関するフレイル予防の知識の普及啓発、ささえあいポイント事業によるボランティア活動を推進し、健康寿命の延伸に取り組みます。
- ♪ 介護職員等に対する奨学金返済支援、キャリアアップ研修費用の助成等により、介護人材の確保・定着、質の向上に向けた取り組みを推進するほか、関係機関・団体から選任した構成メンバーによる介護人材確保推進検討会を通じて、より効果的な人材確保対策の検討、既存事業の見直しに取り組みます。
- ♪ 子どもを持つ介護職員の職場環境を整えるとともに、子どもたちに介護の仕事を身近に感じる機会を提供するため、夏休み期間に介護事業所にて介護職員の子どもや近隣の小学生を預かる「かいごTERAKOYA事業」を実施します。
- ♪ 中山間地域における介護サービスを確保するため、事業者の移動に係る経費を助成するとともに、介護支援専門員が特に不足している佐久間・水窪地区の利用者へ地区外から居宅介護支援を行った事業者に対して助成を行います。
- ♪ 障害者が住み慣れた地域で自立した日常生活を送ることができるよう、出張相談会や個別相談会を開催するなど、地域におけるリハビリテーション事業の充実を図ります。
- ♪ 障がい児福祉の推進では、社会福祉法人による児童発達支援センター創設を支援し、障がい児や医療的ケア児の受入体制を強化します。
- ♪ 精神に障がいのある人が、地域の一員として安心して自分らしい暮らしができるよう、「精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム」の構築に向けて、保健、医療、福祉などの支援者の連携による支援体制づくりに取り組みます。
- ♪ 国保事業においては、生活習慣病の早期発見、重症化予防のため、AI等のデジタル手法を活用した特定健診受診率向上対策のほか、医療関係機関と連携して糖尿病性腎症重症化予防にも取り組みます。
- ♪ 高齢者の保健事業や介護保険の地域支援事業を一体的に実施することで、疾病予防・重症化予防、生活機能の改善を図り、高齢者の健康寿命の維持、延伸を目指します。
- ♪ 老朽化した福祉交流センターを長期的に活用するため、大規模改修工事を進めます。あわせて、ユニバーサルデザインに配慮するとともにインターネット環境を整備するなど、福祉政策の拠点施設として利用者の利便性を高めます。

政策・事業等

★ 職員数 ⇒ 正=正規職員、再=再任用短時間勤務職員、会=会計年度任用職員。時点は、2022年4月1日現在。

★ 予算 ⇒ 一=一般会計、特=特別会計、企=企業会計。

政策	担当組織 (責任者)	職員数 (人)	2022予算 (百万円)	
超高齢社会への対応 ・介護保険事業（ロコモーショントレーニング事業）【22・124】 ・介護保険事業（ささえあいポイント事業）【23・125】 ・介護保険事業（地域包括支援センター運営事業）【97】 ・介護保険事業（在宅医療・介護連携推進事業）【98・101】 ・認知症施策推進事業【99】 ・シニアクラブ支援事業【24・126】 ・高齢者施設等運営事業【120】 ・老人福祉施設整備費助成事業（補助金）	高齢者福祉課 (恒川 浩章) 高齢者福祉課 医療・介護推進担当 (鈴木 博)	正 20.3 再 会 6.4 計 26.7	一 2,262 特 1,241 企 計 3,503	
すべての人が安心していきいきと暮らすことのできる地域福祉の推進 ・地域福祉推進事業【26・106・107・128】	福祉総務課 (渡辺 貴史) 福祉総務課 指導監査担当 (岡部 真由美)	正 17.6 再 2.2 会 7.8 計 27.6	一 3,125 特 企 計 3,125	
すべての人が安心していきいきと暮らすことのできる地域福祉の推進 ・地域高齢者見守り・支援事業 ・シルバー人材センター支援事業【20・122】	高齢者福祉課 (恒川 浩章)	正 0.7 再 会 0.6 計 1.3	一 110 特 20 企 計 130	
適正な生活保護扶助費の給付 ・生活保護扶助事業	福祉総務課 (渡辺 貴史)	正 3.4 再 会 0.8 計 1.2 5.4	一 11,510 特 企 計 11,510	
超高齢社会における介護保険事業の健全で安定した運営 ・介護サービス提供基盤整備費助成事業（補助金）【100】	介護保険課 (加藤 浩二)	正 26.0 再 1.0 会 15.0 計 42.0	一 123 特 73,022 企 計 73,145	
国民健康保険事業の健全で安定した運営 ・国民年金受託事務事業 ・国民健康保険事業 ・後期高齢者医療事業	国保年金課 (竹村 吉弘)	正 33.0 再 0.0 会 16.0 計 49.0	一 8,095 特 85,481 企 計 93,576	
障がいのある人のライフステージに応じた支援の推進 ・障害者（児）地域生活支援事業【111・112】 ・こころの健康づくり推進事業【113】 ・障害者就労支援事業【114】 ・障害者（児）施設整備費助成事業（補助金）【115】 ・障害者（児）自立支援給付事業 ・障害者（児）生活支援事業 ・重度障害児医療費助成事業 ・障害児福祉手当等給付事業 ・障害児施設運営事業	障害保健福祉課 (久保田 尚宏) 障害保健福祉課 精神保健福祉担当 (稲葉 友亮)	正 32.0 再 会 14.0 計 46.0	一 25,381 特 企 計 25,381	
障がいのある人のライフステージに応じた支援の推進 ・地域リハビリテーション推進事業	障害者更生相談所 (高山 厚志)	正 7.0 再 会 3.0 計 10.0	一 7 特 企 計 7	
計	6課	正 140.0 再 4.0 会 64.0 計 208.0	一 50,613 特 159,764 企 0 計 210,377	

事業名の後の【 】に記載の数字は、重点戦略（P.79～）における戦略項目No.を示す。

基本政策②

人々の心身の健康と生活を守る医療の充実

責任者

健康福祉部 医療担当部長 鈴木 達夫
健康福祉部 保健所長 西原 信彦

SDGsのゴール

③保健 ⑥水・衛生 ⑧成長・雇用

主な取組

- ♪ 新型コロナウイルスの感染拡大と重症化を防ぐため、供給状況に応じた柔軟なワクチン接種を実施します。
また、相談窓口において発熱相談や受診調整等を継続実施するとともに、感染拡大時には、対応可能な体制を確保し、入院、宿泊療養、自宅療養の調整や患者等への健康フォローアップなどを行います。
- ♪ 「予防・健幸都市」の実現に向け、浜松ウエルネスプロジェクトとして、官民・民間連携によるヘルスケア事業、健康経営、ヘルスケアサービスの創出、疾病・介護予防や健康づくりに関する社会実証事業などを推進するとともに、健康ポイント機能を有したヘルスケアアプリを活用したはままつ健幸クラブを創設し、市民参加を広げていきます。
- ♪ 継続的に支援が必要な妊婦を確実に支援に繋げるために、妊娠期の家庭訪問における支援を強化するとともに、産後ケア事業における利用日数の拡充やオンライン面接の導入などの充実を図り、妊娠・出産・子育てにおける切れ目のない支援を実施します。
- ♪ 浜松医科大学との包括連携協定に基づき新たに設置される先進ロボット手術開発学講座と連携し、医療サービスの向上やイノベーションの創出を図ります。
- ♪ 中山間地域における医療基盤の向上のため、地域支援看護師を増員し、オンライン診療を拡充するとともに、地域住民の健康相談等に応じます。
- ♪ 国内外で発生する感染症について、市民に適切な情報提供を行うとともに医療機関と密に連携を取ることで感染症のまん延防止を図ります。
- ♪ 浜松医療センター新病院整備事業では、2023年度開院に向け、新病院棟建設工事を進めます。
- ♪ 骨髄等移植の促進を図るため、骨髄ドナー及びその雇用主に対する助成金を交付します。

政策・事業等

★ 職員数 ⇒ 正=正規職員、再=再任用短時間勤務職員、会=会計年度任用職員。時点は、2022年4月1日現在。

★ 予算 ⇒ 一=一般会計、特=特別会計、企=企業会計。

政策	主要事業	担当組織 (責任者)	職員数 (人)	2022予算 (百万円)
生涯にわたる健康づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 妊産婦乳幼児健康診査事業 ・ 母子衛生教育事業 ・ 母子相談事業【73】 ・ 母子訪問指導事業 ・ 母子予防接種事業 ・ 母子医療費等支援事業 ・ 新型コロナウイルスワクチン接種事業 ・ 難病患者等支援事業 ・ がん検診等事業 ・ 健康支援事業【102・103・105】 ・ 浜松ウエルネスプロジェクト事業 ・ 歯科保健事業【108】 ・ 介護保険事業【21・104・123】 	健康増進課 (平野 由利子) 健康増進課 ウエルネス推進担当 (原川 知己)	正 35.0 再 3.0 会 22.0 計 60.0	一 9,326 特 7 企 計 9,333

政策	主要事業	担当組織 (責任者)	職員数 (人)	2022予算 (百万円)
安全・安心な医療の提供	<ul style="list-style-type: none"> 浜松市病院事業 (医療センター事業費用・資本的支出) 【110】 浜松市病院事業 (リハビリ病院事業費用・資本的支出) 	病院管理課 (徳増 淳) 病院管理課 病院整備担当 (土濱 達也)	正 11.0 再 1.0 会 12.0 計	一 2,170 特 16,910 企 19,080 計
安全・安心な医療の提供	<ul style="list-style-type: none"> 医療体制充実事業 保健所等維持管理運営事業 	保健総務課 (鈴木 勝己) 保健所浜北支所 (山本 直規)	正 20.5 再 2.0 会 9.2 計 31.7	一 176 特 企 計 176
地域医療・地域包括ケアの推進	<ul style="list-style-type: none"> 救急医療事業 災害時医療救護対策推進事業 健康医療推進事業 新型コロナウイルス感染症対策事業 	健康医療課 (島 和之)	正 23.0 再 3.0 会 9.0 計 35.0	一 809 特 企 計 809
地域医療・地域包括ケアの推進	<ul style="list-style-type: none"> 佐久間病院事業費用・資本的支出(病院事業) 	佐久間病院 (北野谷 卓治)	正 54.0 再 5.0 会 9.0 計 68.0	一 550 特 企 820 計 1,370
こころの健康づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> 精神保健福祉推進事業 自殺対策推進事業 ひきこもり対策推進事業 	精神保健福祉センター (二宮 貴至)	正 13.0 再 会 6.0 計 19.0	一 85 特 企 計 85
地域医療に貢献できる有能な医療スタッフの育成	<ul style="list-style-type: none"> 学校管理運営事業 看護師就業促進事業 	看護専門学校 (中村 その子)	正 21.0 再 2.0 会 6.0 計 29.0	一 91 特 企 計 91
保健予防と食の安全対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> 食中毒、感染症検査事業 食品残留農薬等検査事業 食肉安全対策推進事業 大気汚染、悪臭等測定事業 河川、工場排水等水質測定事業 	保健環境研究所 (牧野 良則)	正 32.0 再 3.0 会 9.0 計 44.0	一 343 特 企 計 343
保健予防と食の安全対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> 生活衛生対策推進事業 感染症対策事業 食の安全対策推進事業 栄養指導事業 	生活衛生課 (永田 隆光) 生活衛生課 感染症対策担当 (落合 公信) 生活衛生課 食品衛生担当 (山下 としえ) 保健所浜北支所 (山本 直規)	正 42.0 再 1.0 会 13.0 計 56.0	一 709 特 企 計 709
	計	10課	正 251.5 再 19.0 会 84.2 計 354.7	一 14,259 特 7 企 17,730 計 31,996

事業名の後の【 】に記載の数字は、重点戦略(P.79～)における戦略項目No.を示す。

文化・生涯学習

理想の姿 (30年後)

◆創造都市を実現し、音楽の都として世界から注目されている。

政策の柱 (10年後)

- ◆音楽などの芸術をきっかけとして新たな文化や産業が創出されている。
- ◆多様な歴史・文化による豊かさやスポーツによる喜びを市民が実感している。

基本政策①

感動のある生活、歴史・文化・スポーツによる豊かさの創造

責任者

市民部 文化振興担当部長 嶋野 聡

SDGsの ゴール

③保健 ④教育 ⑤ジェンダー ⑥水・衛生 ⑧成長・雇用
⑨イノベーション ⑩不平等 ⑪都市 ⑫生産・消費 ⑬気候変動
⑭海洋資源 ⑮陸上資源 ⑯平和 ⑰実施手段

主な取組

- ♪ 市民が主体となった創造的活動の活性化を図るため、浜松アーツ&クリエイションによる伴走支援を行うとともに、国内外の創造都市との連携・交流を進め、新たに創造的な活動を始める人材を育成するため、「クリエイティブシティブースター事業」を実施します。
- ♪ 音楽文化の国内外への発信と交流を促進するため、「浜松吹奏楽大会2023」を開催し、これまで積み重ねてきた取組を着実に継承することにより、「音楽の都・浜松」の都市ブランドをより高めます。
- ♪ 「音楽の都・浜松」の発信と、舞台や製作活動に関わる人材を育成するため、2024年のアクトシティ浜松開館30周年を機に上演する市民の手による創作オペラの企画・制作を進めます。
- ♪ 文化芸術の拠点であるアクトシティ浜松の価値を維持していくため、計画的な施設改修を進めます。
- ♪ 子ども達がロボット技術を競うワールド・ロボット・オリンピック・ジャパン2022決勝大会を開催し、将来の産業発展に貢献できる人材を育成します。
- ♪ 雄踏文化センター大ホールを改修し、安全で快適な公共空間を市民へ提供します。
- ♪ 遠州灘海浜公園に県が整備する野球場の建設について、静岡県との連携に努めます。
- ♪ 四ツ池公園運動施設の整備の検討を進めます。
- ♪ ブラインドサッカー日本選手権大会を開催するとともに、体験会を実施するなど大会開催に向けた機運を醸成します。

- ♪ 大型スポーツイベントの誘致に向けて、国際大会開催に必要な要件などの調査研究を進めます。
- ♪ ビーチ・マリンスポーツの聖地を目指した環境整備等に取り組みます。
- ♪ 二俣城跡及び鳥羽山城跡整備事業や浜松城跡の発掘調査成果の整理などを通じて浜松市の特色ある文化資源を広く公開し、市民とともに保存・活用を図っていきます。
- ♪ 蜷塚遺跡整備基本計画を策定し、歴史を活かした施設の再整備検討を進めます。
- ♪ これまでに認定した浜松地域遺産を広く紹介するとともに、市民協働で更なる文化資源の掘り起こしを続け、文化財を地域の新たな創造活動につなげていきます。
- ♪ 中央図書館は大規模改修を実施し、より安全で快適な施設としてリニューアルオープンします。
- ♪ 浜松市美術館では、遠藤美香展、刀剣展など地域ゆかりの企画や、当館独自企画のハイジ展を開催するほか、今年度から指定管理を導入する秋野不矩美術館においては、幅広いネットワークを活かして広報活動や企画を充実するとともに地域連携事業にも取り組み、更なる魅力の向上を図ります。

政策・事業等

★ 職員数 ⇒ 正=正規職員、再=再任用短時間勤務職員、会=会計年度任用職員。時点は、2022年4月1日現在。

★ 予算 ⇒ 一=一般会計、特=特別会計、企=企業会計。

政策	担当組織 (責任者)	職員数 (人)	2022予算 (百万円)
生涯スポーツを楽しむ機会の拡大 ・スポーツ普及・活性化事業【118】 ・競技スポーツ振興事業【117】 ・大型スポーツイベント等誘致事業【41・197・199・200】 ・ビーチ・マリンスポーツ推進事業【196・197】 ・スポーツ発信交流事業【119】 ・スポーツ施設運営事業【116・202・203】	スポーツ振興課 (金子 哲也) スポーツ振興課 スポーツコミッション 推進担当 (松井 由和)	正 11.0 再 1.0 会 計 12.0	一 1,688 特 企 計 1,688
生涯学習を享受できる機会の充実 ・生涯学習施設運営事業【183】 ・生涯学習機会提供事業【9・25・76・79・127】	創造都市・文化振興課 生涯学習担当 (鈴木 一有)	正 6.0 再 1.0 会 計 7.0	一 1,324 特 企 計 1,324
地域の文化遺産の継承 ・文化財調査顕彰事業 ・文化財保護継承事業【189】 ・文化財施設公開事業 ・文化財活用地域連携事業【188・190】 ・埋蔵文化財調査事業【169】	文化財課 (平田 隆)	正 11.0 再 2.0 会 計 22.0	一 319 特 企 計 319
地域の文化遺産の保全・活用 ・博物館運営事業 ・遺跡公園運営事業 ・博物館展示会開催事業 ・学習会開催等連携事業	文化財課 (平田 隆)	正 9.0 再 0.0 会 計 7.0 計 16.0	一 97 特 企 計 97
芸術・文化の拠点の創造と発信 ・音楽文化発信・交流事業【178】 ・芸術文化人材育成事業【178】 ・市民音楽文化振興事業【178】 ・文化施設管理事業【174・177】 ・文化推進運営経費【179】	創造都市・文化振興課 (新谷 直幸)	正 8.0 再 1.0 会 計 9.0	一 1,468 特 企 計 1,468
創造都市の推進 ・創造都市推進事業【27・176】	創造都市・文化振興課 創造都市推進担当 (澤田 吉延)	正 5.0 再 1.0 会 計 6.0	一 55 特 企 計 55
美術館の魅力の創出 ・美術館運営事業 ・美術館展覧会開催事業【184】 ・秋野不矩美術館管理運営事業【184】	美術館 (飯室 仁志)	正 9.0 再 1.0 会 計 10.0	一 137 特 企 計 137
知の拠点としての図書館機能の拡大 ・図書館運営事業	中央図書館 (高瀬 理子)	正 36.8 再 2.1 会 計 20.8 計 59.7	一 1,256 特 企 計 277 計 1,533
計	5課	正 95.8 再 4.1 会 計 41.8 計 141.7	一 6,344 特 企 計 277 計 0 計 6,621

事業名の後の【 】に記載の数字は、重点戦略(P.79～)における戦略項目No.を示す。

地方自治・都市経営

理想の姿 (30年後)

◆協働による持続可能な都市経営を推進し、全国をリードする自立した基礎自治体になっている。

政策の柱 (10年後)

◆協働に関わる多様な主体が連携し、協働による質の高い市民サービスが提供されている。
◆公共インフラの整備・維持・管理に民間活力の導入が進んでいる。

基本政策①

市民と共に未来をつかむ都市経営

責任者

企画調整部長 石坂 守啓
デジタル・スマートシティ推進部長 内藤 伸二郎

SDGsの ゴール

④教育 ⑧成長・雇用 ⑪都市 ⑫生産・消費 ⑰実施手段

主な取組

- ♪ 戦略計画2022を核としたPDCAサイクルにより、浜松市総合計画及び浜松市総合戦略を推進します。
- ♪ SDGsの達成に向けた、企業や市民等の取組を推進するため、オンラインを併用してシンポジウムを開催するほか、浜松市SDGs推進プラットフォーム会員の交流機会の創出や研修会の開催などを通じて、プラットフォームの活性化を図ります。
- ♪ 浜松市多文化共生都市ビジョンに基づいて外国人市民の安全・安心な暮らしの確保のため、多言語による相談対応・情報提供等に取り組むほか、外国人学習支援センターを中心とした日本語学習支援の充実を図り、多文化共生社会の実現を目指します。
- ♪ 外国人材の活躍促進に積極的に取り組む事業所を認定・公表し、外国人材の確保・定着・活躍促進を図るとともに、インターカルチュラル・シティ(ICC)の政策理念を踏まえ、本市が推進する価値創造型の多文化共生の具現化のため、多文化共生・産業・文化等の実践者で構成するICC推進会議を運営するほか、市内で活躍する外国人の掘り起こしやICC浜松の取組の広報啓発を行います。
- ♪ スマート自治体への基盤づくりを推進するため、市独自のオープンデータカタログで公開するデータの数や種類を拡充するとともに、市民の皆さまが日常利用する媒体で、必要とする情報を受け取れるようにオープンデータプラットフォームを活用して、サービスの充実を図ります。
- ♪ ICTの利活用により、市民満足につながる行政サービスや業務生産性の向上を目指すため、行政手続のオンライン化や庁内ネットワークの刷新などデジタル・ガバメントの推進を図ります。

政策・事業等

★ 職員数 ⇒ 正=正規職員、再=再任用短時間勤務職員、会=会計年度任用職員。時点は、2022年7月1日現在。

★ 予算 ⇒ 一=一般会計、特=特別会計、企=企業会計。

政策	担当組織 (責任者)	職員数 (人)	2022予算 (百万円)
主要事業 「浜松市未来ビジョン」の実現に向けた総合計画の推進 ・浜松市総合計画推進事業【219】	企画課 (中村 卓也)	正 11.0 再 会 計 11.0	一 特 企 計 36
基礎自治体としての自立 ・大都市制度調査研究事業【218】 ・広域行政推進事業【216・217】	企画課 大都市制度・広域行政担当 (河野 和世)	正 6.0 再 会 計 6.0	一 特 企 計 16
戦略拠点の連携強化 ・首都圏情報収集発信事業 ・東京事務所運営経費	東京事務所 (齊田 一郎)	正 5.0 再 会 計 1.0 計 6.0	一 特 企 計 45
市民主体のまちづくりを支える広聴広報の好循環 ・市政広報事業【214】 ・オープンデータプラットフォーム運用事業【214】 ・広聴事業【96】	広聴広報課 (鈴木 久仁厚)	正 15.0 再 会 計 12.0 計 27.0	一 特 企 計 202
世界とのつながりと多様性を活かした都市の活性化 ・多文化共生推進事業【83・180・182】 ・国際交流連携推進事業【181】	国際課 (鈴木 三男)	正 6.0 再 会 計 4.0 計 10.0	一 特 企 計 265
行政サービスがだれでもどこでもいつでも受けられる電子自治体の推進 ・電子市役所推進事業 ・庁内情報基盤維持管理事業	情報システム課 (杉本 和徳)	正 24.0 再 会 計 3.0 計 27.0	一 特 企 計 2,835
計	5課	正 67.0 再 会 計 20.0 計 87.0	一 特 企 計 3,399

事業名の後の【 】に記載の数字は、重点戦略(P.79～)における戦略項目No.を示す。

基本政策②	だれもがいきいきと暮らせる市民主体の地域社会の実現
責任者	市民部長 奥家 章夫
SDGsのゴール	③保健 ④教育 ⑤ジェンダー ⑧成長・雇用 ⑩都市 ⑰実施手段
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ♪ 市民協働によるまちづくりを実現するため、自治会をはじめとする地域団体の活動を支援するとともに、将来のまちづくりの担い手となる人材を育成します。また、自治会等のデジタルの活用を促進し、円滑な活動や運営を伴走型で支援します。 ♪ 住民に身近な行政組織である協働センターにおいて、エリアマネージャーによる総括のもと、コミュニティ担当職員による地域状況に応じたコミュニティ支援を行います。 ♪ 地域コミュニティ活動の活性化のため、活動拠点となる地域施設の管理運営を地域のコミュニティ組織に委ねます。制度の仕組みや先行事例の成果などを他の地域に伝え、市内に展開します。 ♪ 中山間地域の魅力を体験できるワークショップの開催や都市部と中山間地域における住民同士の交流機会を創出するとともに、特産品プロモーション事業などで新たなモノの流れを創出し、市民の中山間地域への関心を高めます。 ♪ 中山間地域の課題解決のため、地域主体によるまちづくりを支援するとともに、地域力の維持・向上を図るため、浜松山里いきいき応援隊を増員して配置し、地域に居住している市民の暮らしを支えます。また、隊員OBである応援隊マネージャーが、各地域の隊員活動をサポートし、地域横断型で事業を展開します。 ♪ 浜松移住センターにおいて、オンラインを活用した移住相談会を定期開催するほか、移住を短期体験できるお試し住宅の提供、市外からの移住者に対する住宅取得や引越移転等にかかる経費の助成などを通じて、浜松への移住・定住を促進します。 ♪ バーチャル空間ツールを活用し、その場に居ながらユニバーサルデザイン体験ができる仕組みを試験運用して、ユニバーサルデザイン啓発教材の開発を進めます。 ♪ 男女共同参画・文化芸術活動推進センター（あいホール）相談室における面接・電話相談に加え、SNSによる相談方法の試験運用を行い相談者が相談しやすい環境の構築を目指します。 ♪ リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康と権利）に関する啓発や人材育成等を行うことで、生理をはじめとする女性特有の健康面に関する正しい知識と理解を広め、すべての人が地域や職場などで自分らしく活躍できる環境づくりを促進します。

政策・事業等

★ 職員数 ⇒ 正=正規職員、再=再任用短時間勤務職員、会=会計年度任用職員。時点は、2022年4月1日現在。

★ 予算 ⇒ 一=一般会計、特=特別会計、企=企業会計。

政策	担当組織 (責任者)	職員数 (人)	2022予算 (百万円)	
主要事業				
市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進 ・市民協働推進事業【185】 ・はままつ暮らし促進事業 ・自治会等コミュニティ振興事業【186・187・205】 ・地域力向上事業【191】	市民協働・地域政策課 (藤田 裕)	正 13.2 再 2.9 会 16.1 計	一 特 企 計	298 298
“まち”と“むら”をつないで実現する中山間地域の振興 ・居住促進事業【192】 ・生活支援事業 ・中山間地域まちづくり事業【192】 ・中山間地域コミュニティビジネス起業資金貸付事業 ・市内間交流事業	市民協働・地域政策課 (藤田 裕)	正 3.8 再 会 1.1 計 4.9	一 特 企 計	340 340
自由な選択の実行が保障されたユニバーサル社会の実現 ・ユニバーサルデザイン推進事業【194】 ・UD・男女共同参画デジタル運営経費【193】	UD・男女共同参画課 (河合 多恵子)	正 4.0 再 0.8 会 2.0 計 6.8	一 特 企 計	7 7
一人ひとりが自己実現できる男女共同参画の推進 ・男女共同参画推進事業 ・活動拠点施設事業	UD・男女共同参画課 (河合 多恵子)	正 3.0 再 0.2 会 1.0 計 4.2	一 特 企 計	52 52
計	2課	正 24.0 再 1.0 会 7.0 計 32.0	一 特 企 計	697 0 0 697

基本政策③	人的・制度的運用の推進による都市経営の基盤づくり
責任者	総務部長 金原 栄行
SDGsのゴール	⑯平和 ⑰実施手段
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ♪ 効果的な行政運営を実現するため、組織・定員及び給与の適正化並びに抜本的な事業の見直しを推進するとともに、民間事業者等の知恵・資金等を活用した民間活力の導入に取り組みます。 ♪ 市民満足度の高いサービスを提供するため、新しい課題に即応していく人材の育成を進めるとともに、女性職員が活躍するための各種事業・環境整備に取り組みます。 ♪ 新型コロナウイルス感染症対策実施など、行政需要に即した職員体制の確保に努めます。 ♪ 複雑、困難化する行政課題に対応した法令の適正な解釈運用と例規整備を図る政策法務を推進するため、効果的かつ継続的な研修や弁護士等相談制度を通じて、職員の法務能力の向上を図ります。 ♪ 職員の健康の保持増進を図るため、健康相談、保健指導やストレスチェックを行い、職員の健康管理に努めます。 ♪ 公平公正で開かれた市政の運営を推進するため、情報公開制度及び個人情報保護制度の適正な運用を図ります。

政策・事業等

★ 職員数 ⇒ 正=正規職員、再=再任用短時間勤務職員、会=会計年度任用職員。時点は、2022年7月1日現在。

★ 予算 ⇒ 一=一般会計、特=特別会計、企=企業会計。

政策	担当組織 (責任者)	職員数 (人)	2022予算 (百万円)
秘書・表彰業務の推進 ・市長・副市長秘書管理事業 ・市制記念式典開催事業 ・政策調整事業	秘書課 (仲井 英之)	正 9.0 再 会 計 9.0	一 特 企 計 44
適正な組織体制と定員管理 ・人事管理運営事業	人事課 (上田 晃寿)	正 18.0 再 会 計 5.0 計 23.0	一 特 企 計 49
職員の育成 ・人材開発推進事業	人事課 人材開発担当 (大城 秀寛)	正 7.0 再 会 計 1.0 計 9.0	一 特 企 計 76
政策法務の推進 ・政策法務事業	政策法務課 (鈴木 茂)	正 9.5 再 会 計 9.5	一 特 企 計 12

政策	担当組織 (責任者)	職員数 (人)	2022予算 (百万円)	
主要事業 持続可能な都市経営の推進 ・ 経営改革推進事業【208・209】	政策法務課 経営推進担当 (栗田 豪)	正 4.1 再 2.3 会 6.4 計	一 特 企 計	1 1
職員の健康管理と職場環境の安全管理 ・ 職員の健康、安全衛生管理事業 ・ 職員の被服貸与、福利厚生事業 ・ 恩給及び退職年金に関する事業	職員厚生課 (入手 昭則)	正 7.0 再 2.0 会 6.0 計 15.0	一 特 企 計	151 151
行政情報の提供・公開 ・ 公文書管理事業 ・ 住居表示事業 ・ 統計調査員確保対策事業 ・ 基幹統計調査事業 ・ 統計運営経費	文書行政課 (小杉 浩喜)	正 12.3 再 0.0 会 4.9 計 17.2	一 特 企 計	74 74
計	5課	正 66.9 再 5.3 会 16.9 計 89.1	一 特 企 計	407 0 0 407

事業名の後の【 】に記載の数字は、重点戦略(P.79～)における戦略項目No.を示す。

基本政策④	将来像を実現する財政運営、財産管理、財源確保の推進
責任者	財務部長 石切山 真孝 財務部 税務担当部長 芳田 一成
SDGsのゴール	⑧成長・雇用 ⑩不平等 ⑪都市 ⑫生産・消費 ⑮陸上資源 ⑯平和
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ♪ 中期財政計画の目標達成に向け、規律ある財政運営を堅持し、将来世代への負担軽減を図ります。 ♪ 公共施設等総合管理計画に基づく公共施設の改修・更新、統廃合、長寿命化や、民間活力の導入による財政負担の軽減など、ファシリティマネジメントの推進を図ります。 ♪ 市税収入率の向上を図り、安定的な財源の確保に努めます。 ♪ 大規模自然災害や感染症にも機動的に対応できるよう、健全な財政運営に努めます。

政策・事業等

★ 職員数 ⇒ 正=正規職員、再=再任用短時間勤務職員、会=会計年度任用職員。時点は、2022年4月1日現在。

★ 予算 ⇒ 一=一般会計、特=特別会計、企=企業会計。

政策	主要事業	担当組織 (責任者)	職員数 (人)	2022予算 (百万円)
将来を見据えた持続可能な財政運営の維持	<ul style="list-style-type: none"> ・議案作成事業 ・財政管理デジタル運営経費【206】 ・財政管理運営経費 	財政課 (飯尾 武俊)	正 17.0	一 2,095
			再 0.0	特 48,001
			会 1.0	企
			計 18.0	計 50,096
ファシリティマネジメントの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・アセットマネジメント推進事業【154・210・211】 ・公有財産維持管理事業【212】 ・借地解消事業【212】 	アセットマネジメント 推進課 (岡本 祐一郎)	正 16.9	一 1,763
			再 1.0	特
			会 8.0	企
			計 25.9	計 1,763
安全・安心で利用しやすい公共建築物の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・公共建築物長寿命化推進事業 ・公共建築物耐震化推進事業 ・公共建築物ユニバーサルデザイン推進事業 	公共建築課 (須部 保之)	正 34.9	一 3,467
			再 1.0	特
			会 5.0	企
			計 40.9	計 3,467
工事・物品の適正な契約	<ul style="list-style-type: none"> ・電子入札システム事業 ・調達運営経費 	調達課 (大久保 亨)	正 17.0	一 63
			再 2.0	特
			会 3.0	企
			計 22.0	計 63
技術職員の技術力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・職員技術研修事業 ・工事検査事業 	技術監理課 (山本 正孝)	正 15.0	一 53
			再 4.0	特
			会 4.0	企
			計 23.0	計 53

政策	担当組織 (責任者)	職員数 (人)	2022予算 (百万円)
主要事業 公平公正・効率的な課税と収納 効率的な市税の賦課徴収体制の確立 ・税務管理事業 ・税務総務事業	税務総務課 (清水 健次)	正 21.0 再 1.0 会 4.0 計 26.0	一 821 特 企 計 821
公平公正・効率的な課税と収納 適正な課税による市税収入の確保(市民税) ・賦課徴収事業	市民税課 (中村 英俊)	正 72.0 再 7.0 会 16.0 計 95.0	一 207 特 企 計 207
公平公正・効率的な課税と収納 適正な課税による市税収入の確保(固定資産税) ・賦課徴収事業	資産税課 (袴田 幸保)	正 71.0 再 11.0 会 12.0 計 94.0	一 238 特 企 計 238
公平公正・効率的な課税と収納 市未収債権の厳正な回収 ・収納対策事業	収納対策課 (平山 忠広)	正 58.0 再 3.0 会 22.0 計 83.0	一 93 特 企 計 93
計	9課	正 322.8 再 30.0 会 75.0 計 427.8	一 8,800 特 48,001 企 0 計 56,801

事業名の後の【 】に記載の数字は、重点戦略（P.79～）における戦略項目No.を示す。

基本政策⑤	—
責任者	会計管理者 宮城 和敬
SDGsのゴール	⑯平和
政策・事業等	

★ 職員数 ⇒ 正=正規職員、再=再任用短時間勤務職員、会=会計年度任用職員。時点は、2022年4月1日現在。

★ 予算 ⇒ 一=一般会計、特=特別会計、企=企業会計。

政策	担当組織 (責任者)	職員数 (人)	2022予算 (百万円)
主要事業			
会計管理運営業務の推進	会計課 (竹下 元久)	正 28.0 再 2.0 会 5.0 計 35.0	— 124 特 企 計 124
計	1課	正 28.0 再 2.0 会 5.0 計 35.0	— 124 特 0 企 0 計 124

事業名の後の【 】に記載の数字は、重点戦略（P.79～）における戦略項目No.を示す。

基本政策⑥	—
責任者	市選挙管理委員会事務局長 石川 正喜
SDGsのゴール	⑩不平等
政策・事業等	

★ 職員数 ⇒ 正=正規職員、再=再任用短時間勤務職員、会=会計年度任用職員。時点は、2022年4月1日現在。

★ 予算 ⇒ 一=一般会計、特=特別会計、企=企業会計。

政策	担当組織 (責任者)	職員数 (人)	2022予算 (百万円)
主要事業 公正かつ適正な選挙の実施 ・ 参議院議員選挙 ・ 統一地方選挙 ・ 選挙人名簿作成事業 ・ 明るい選挙推進事業	市選挙管理 委員会事務局 (小杉 浩喜)	正 6.7 再 2.1 会 計 8.8	一 528 特 企 計 528
計	1課	正 6.7 再 0.0 会 2.1 計 8.8	一 528 特 0 企 0 計 528

事業名の後の【 】に記載の数字は、重点戦略（P.79～）における戦略項目No.を示す。

基本政策⑦	—
責任者	人事委員会事務局長 伊藤 哲
SDGsのゴール	⑩不平等 ⑯平和
政策・事業等	

★ 職員数 ⇒ 正=正規職員、再=再任用短時間勤務職員、会=会計年度任用職員。時点は、2022年4月1日現在。

★ 予算 ⇒ 一=一般会計、特=特別会計、企=企業会計。

政策	担当組織 (責任者)	職員数 (人)	2022予算 (百万円)	
主要事業				
適正かつ公平中立な人事行政運営の推進	人事委員会事務局 (鈴木 政儀)	正 9.0 再 0.0 会 3.0 計 12.0	— 特 企 計	43 43
計	1課	正 9.0 再 0.0 会 3.0 計 12.0	— 特 企 計	43 0 0 43

事業名の後の【 】に記載の数字は、重点戦略（P.79～）における戦略項目No.を示す。

基本政策⑧	—
責任者	監査事務局長 長坂 芳達
SDGsのゴール	⑯平和
政策・事業等	

★ 職員数 ⇒ 正=正規職員、再=再任用短時間勤務職員、会=会計年度任用職員。時点は、2022年4月1日現在。

★ 予算 ⇒ 一=一般会計、特=特別会計、企=企業会計。

政策	担当組織 (責任者)	職員数 (人)	2022予算 (百万円)
主要事業			
行財政運営に対する監査・指導の推進	監査事務局 (唐澤 晃宏)	正 13.0 再 1.0 会 14.0 計	一 5 特 企 計 5
行財政運営に対する監査・指導の推進	政策法務課 経営推進担当 (栗田 豪)	正 0.4 再 0.7 会 1.1 計	一 15 特 企 計 15
計	2課	正 13.4 再 0.7 会 1.0 計 15.1	一 20 特 0 企 0 計 20

事業名の後の【 】に記載の数字は、重点戦略（P.79～）における戦略項目No.を示す。

基本政策⑨	—
責任者	デジタル・スマートシティ推進部長 内藤 伸二郎
SDGsのゴール	⑨イノベーション ⑪都市 ⑰実施手段
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ♪ 令和2年度に策定した「デジタル・スマートシティ構想」、「浜松版MaaS構想」、「デジタル・マーケティング戦略」の2構想1戦略に基づき、デジタルの力を最大限に活用し、デジタル・スマートシティ政策を推進します。 ♪ 「デジタルを活用したまちづくり推進条例」の制定に取り組みます。また、条例の規定に基づき、DX推進に関する計画の策定に取り組みます。 ♪ データ連携基盤の活用事例創出の取組を拡充するとともに、官民連携プラットフォームにおいて分野間連携を促進し、地域課題の解決や新たなビジネスの創出につなげます。 ♪ デジタル地域通貨の導入可能性を調査するとともに、地域のデジタル技術活用に関する人材育成を推進します。 ♪ 春野地区及び庄内地区をモデルにデジタル技術や自家用車を活用した新たな共助型地域交通の導入を進めます。 ♪ 各種行政手続のオンライン化やDX人材の育成などにより、市民の利便性の向上と業務効率化を図ります。

政策・事業等

★ 職員数 ⇒ 正=正規職員、再=再任用短時間勤務職員、会=会計年度任用職員。時点は、2022年7月1日現在。
 ★ 予算 ⇒ 一=一般会計、特=特別会計、企=企業会計。

政策	主要事業	担当組織 (責任者)	職員数 (人)	2022予算 (百万円)
	先端技術やデータを活用したデジタル・スマートシティの推進 ・デジタル・スマートシティ推進事業 ・浜松版MaaS推進事業 ・デジタル・ガバメント推進事業【207・213・215】 ・デジタル・マーケティング推進事業	デジタル・スマート シティ推進課 (瀧本 陽一)	正 18.2 再 0.0 会 0.0 計 18.2	— 353 特 企 計 353
	計	1課	正 18.2 再 0.0 会 0.0 計 18.2	— 353 特 0 企 0 計 353

事業名の後の【 】に記載の数字は、重点戦略 (P.79～) における戦略項目No.を示す。

基本政策⑩	—
責任者	区再編推進事業本部長 岡安 章宏
SDGsのゴール	⑩都市
主な取組	♪ 区の再編について、2023年2月の区設置等条例の議決に向け、市議会及び関係附属機関における協議を進めます。

政策・事業等

★ 職員数 ⇒ 正=正規職員、再=再任用短時間勤務職員、会=会計年度任用職員。時点は、2022年4月1日現在。

★ 予算 ⇒ 一=一般会計、特=特別会計、企=企業会計。

政策	主要事業	担当組織 (責任者)	職員数 (人)		2022予算 (百万円)	
区再編の推進	・区再編推進事業【204】	区再編推進事業本部 (嶋津 裕亮)	正	4.1	一	7
			再	0.0	特	
			会	0.0	企	
			計	4.1	計	7
	計	1課	正	4.1	一	7
			再	0.0	特	0
			会	0.0	企	0
			計	4.1	計	7

事業名の後の【 】に記載の数字は、重点戦略（P.79～）における戦略項目No.を示す。

Ⅲ 総合戦略



基本目標Ⅰ 若者がチャレンジできるまち	
I - 1 地元産業力の強化	(P. 59)
I - 2 労働供給力の開拓	(P. 62)
基本目標Ⅱ 子育て世代を全力で応援するまち	
II - 1 結婚・妊娠・出産・子育ての 切れ目のない支援	(P. 63)
II - 2 「創造都市・浜松」を担う次代の育成	(P. 65)
基本目標Ⅲ 持続可能で創造性あふれるまち	
III - 1 安全・安心なまちづくり	(P. 67)
III - 2 にぎわいの創出	(P. 68)
III - 3 支えあいによる地域社会の形成	(P. 71)
III - 4 コンパクトでメリハリの効いた まちづくり	(P. 73)
III - 5 持続可能な都市経営	(P. 74)

I-1 地元産業力の強化

○基本的方向

◆施策

・ 施策を構成する主な事業 《担当課》 [構成事業数]	指標No. : 重要業績評価指標 (KPI) 【単位】	基準値 (時点)	2020	2021	2022	2023	2024
			(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
			計画値	計画値	計画値	計画値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値

(1) イノベーションの連鎖を生み出す新産業の創出と既存産業の高度化

ア 「ものづくりのまち」の次代を担う成長産業へのチャレンジ支援

・ 産業イノベーション推進事業【①】【②】【③】 《産業振興課》 [1事業]	①：粗付加価値額（従業員4人以上の事業所） 【千円】	77,796 (2017年)	79,834 2022.8頃確定	80,392 2023.8頃確定	80,955	81,522	82,093
	②：新技術・新製品開発などの事業化件数 累計【件】	232 (2018年度末)	312	352	429	506	584
	③：自動車の電動化等への取組レベル向上社数 累計【社】	7 (2018年度末)	27	37	47	57	67
			53	69			

イ “やらまいか精神”が根付く地場産業の支援

・ 地域産業振興支援事業【①】 《産業振興課》 [1事業]	①：粗付加価値額（従業員4人以上の事業所） 【千円】	77,796 (2019年)	79,834 2022.8頃確定	80,392 2023.8頃確定	80,955	81,522	82,093
-------------------------------------	-------------------------------	-------------------	---------------------	---------------------	--------	--------	--------

ウ 地域が観光で稼ぐ力を強化することによる観光関連産業の主要産業化

・ 浜松・浜名湖DMO形成支援事業【①】 《観光・シティプロモーション課》 ・ 観光客誘致事業 《観光・シティプロモーション課》 [2事業]	①：一人当たりの旅行消費額（宿泊者） 【円/人】	25,537 (2018年度)	33,000	34,000	35,000	36,000	36,000
			22,588	27,342			

エ 農林水産業のスマート化、多角化などの推進

・ もうかる農業推進事業【①】【③】【④】 《農業水産課》 ・ 低コスト林業推進事業【②】 《林業振興課》	①：スマート農業推進事業費補助金 実施事業数 累計【件】	0 (新規)	5	15	25	25	25
	②：木材生産量 【万m ³ /年】	11.8 (2018年)	15.1	15.8	16.6	17.4	18.1
・ 林業成長産業化推進事業【②】 《林業振興課》 ・ 木材需要拡大事業 《林業振興課》	③：浜松パワーフード宣言・応援宣言 認定事業者数 累計【事業者】	60 (2018年度末)	200	300	400	500	600
	④：農林漁家民宿 宿泊者数 【人/年度】	431 (2018年度)	700	750	800	850	900
・ 水産業振興事業 《農業水産課》 [5事業]							

オ 天竜材のブランド力強化及び流通拡大

・ 森林管理事業【①】【②】 《林業振興課》 ・ 木材需要拡大事業【①】【③】 《林業振興課》	①：木材・木製品製造業 製造品出荷額 【億円/年】	284 (2017年)	300 2022.8頃確定	300 2023.8頃確定	350	400	450
	②：FSC森林認証面積 【ha】	48,542 (2019年度末)	48,900	49,200	49,500	49,800	50,100
・ 森林経営管理推進事業【②】 《林業振興課》 [3事業]	③：天竜材の利用拡大に向けた連携を行う都市・団体数 【都市・団体】	3 (2018年度)	4	5	5	5	6

※表中、下線標記があるものは累計を示す。

I-1 地元産業力の強化

○基本的方向

◆施策

・ 施策を構成する主な事業 《担当課》 [構成事業数]	指標No. : 重要業績評価指標 (KPI) 【単位】	基準値 (時点)	2020	2021	2022	2023	2024
			(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
			計画値 実績値	計画値 実績値	計画値 実績値	計画値 実績値	目標値 実績値

(4) 担い手第一主義の農林水産業振興

ア 農地の流動化による有効利用の推進

・ 農地の確保と有効利用事業 【①】 《農地利用課》 ・ 優良農地の確保推進事業 【①】 《農業委員会事務局》 ・ もうかる農業推進事業 《農業水産課》 ・ 担い手育成支援事業 《農業振興課》 ・ 国・県施行事業 《農地整備課》 ・ かんがい排水整備事業 《農地整備課》 ・ 農道整備事業 《農地整備課》 ・ 農業基盤整備国庫補助事業 《農地整備課》 [8事業]	①：担い手への農地集積率 【%】	31 (2018年度末)	41 35	44 37	47	50	53

イ 多様な担い手の育成

・ もうかる農業推進事業 【①】 【②】 《農業水産課》 ・ 市民に親しまれる農業推進 事業 《農業振興課》 ・ 漁港管理事業 《農業水産課》 ・ 水産業振興事業 《農業水産課》 [4事業]	①：農業経営塾塾生 累計【人】	55 (2019年度末)	55 55	70 71	85	100	115
	②：ユニバーサル農業シンポ ジウム参加者数 累計【人】	70 (2019年度末)	200 220	300 359	400	500	600

(5) 浜松版スマートシティの推進

ア 浜松版スマートシティの実現

・ スマートシティ推進事業 【①】 《カーボンニュートラル推進事業本部》 [1事業]	①：スマートシティプロジェ クトの創出件数 累計【件】	8 (2018年度末)	10 9	10 9	12	12	12

イ 地域特性を活かしたエネルギー自給率の向上

・ スマートシティ推進事業 【①】 《カーボンニュートラル推進事業本部》 [1事業]	①：エネルギー自給率 【%】	14.9 (2018年度)	16 17.7	16.3 18.1	16.5	16.8	17.5

※表中、下線標記があるものは累計を示す。

I-2 労働供給力の開拓

○基本的方向								
◆施策								
・ 施策を構成する主な事業 <<担当課>> [構成事業数]	指標No. : 重要業績評価指標 (KPI) 【単位】	基準値 (時点)	2020	2021	2022	2023	2024	
			(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)	
			計画値	計画値	計画値	計画値	目標値	
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	
(1) 次代の産業人材の確保								
ア UIターン・地元就職支援								
・ 雇用促進事業【①】 <<産業振興課>> [1事業]	①：マッチングアドバイザー派遣事業による内定者数 【人/年度】	39 (2018年度)	70 200	110 181	150	150	150	
(2) すべての人が活躍できる就労支援								
ア 女性の就労支援								
・ 雇用促進事業【①】 <<産業振興課>> [1事業]	①：支援女性の就業率 【%】	41 (2018年度)	42 43	44 44	46	48	50	
イ 外国人の就労支援								
・ 雇用促進事業【①】 <<産業振興課>> [1事業]	①：インターンシップフェアへの外国人留学生参加者数 【人/年度】	17 (2019年度)	20 WEB開催のため不明	25 40	25	30	30	
ウ 70歳現役都市・浜松の推進（高齢者の就労環境整備）								
・ 雇用促進事業【①】 <<産業振興課>>	①：高齢者活躍宣言事業所認定数 【社】	52 (R1年度末)	55 79	90 105	110	120	130	
・ シルバー人材センター支援事業【②】 <<高齢者福祉課>> [2事業]	②：シルバー人材センター会員数 【人】	4,519 (2018年度末)	4,565 4,402	4,590 4,370	4,615	4,640	4,665	
エ 就職を希望する人への就労支援								
・ 障害者就労支援事業【①】 <<障害保健福祉課>>	①：障害者就労支援施設から一般就労への移行者数 【人/年度】	150 (2018年度)	174 140	189 176	204	219	234	
・ 障害者自立支援給付事業 <<障害保健福祉課>> [2事業]								
(3) 誰もが働きやすい雇用環境の整備								
ア 働き方改革等の推進								
・ 雇用促進事業【①】 <<産業振興課>> [1事業]	①：ワーク・ライフ・バランス等推進事業所認証事業所数 【社】	88 (2019年度末)	95 107	120 117	130	140	150	

※表中、下線標記があるものは累計を示す。

Ⅱ-1 結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援

○基本的方向

◆施策		指標No. : 重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (時点)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
・ 施策を構成する主な事業 《担当課》 [構成事業数]	【単位】			計画値	計画値	計画値	計画値	目標値
				実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
ウ 子育てに対する不安や負担の軽減								
・ 子ども・若者支援プラン推進事業【①】 《次世代育成課》	①：子育て中の市民が「子育てしやすくなっている」と感じる割合	【%】	49.8	50.0	51.0	52.0	53.0	54.0
			(2019年度)	47	37.5			
・ 子育て家庭支援事業 《子育て支援課》	②：学習支援事業実施箇所数 累計【箇所】		17	21	21	26	29	33
			(2019年度)	21	21			
・ 発達相談支援事業 《子育て支援課》								
・ 子育てワンストップサービス運用事業【①】 《子育て支援課》								
・ 家庭福祉支援事業 《子育て支援課》								
・ 交通遺児等福祉事業等基金積立金 《子育て支援課》								
・ こども保護対策事業 《子育て支援課》								
・ 児童福祉施設整備助成事業(補助金) 《子育て支援課》								
・ 社会的養護推進事業 《子育て支援課》								
・ ひとり親家庭等支援事業 《子育て支援課》								
・ 女性相談保護事業 《子育て支援課》								
・ 子供の未来応援地域ネットワーク支援事業【②】 《子育て支援課》								
・ 就学援助事業(小学校費・中学校費) 《教育総務課》								
・ 発達支援教育推進事業 《指導課》								
・ 生徒指導事業 《指導課》								
・ 教育相談推進事業 《指導課》								
・ 障害児自立支援給付事業 《障害保健福祉課》								
・ 障害児地域生活支援事業 《障害保健福祉課》								
・ 重度障害児医療費助成事業 《障害保健福祉課》								
・ 障害児福祉手当等給付事業 《障害保健福祉課》								
・ 障害児施設運営事業 《障害保健福祉課》								
・ 母子医療費等支援事業 《健康増進課》								
[21事業]								

※表中、下線標記があるものは累計を示す。

Ⅱ-2 「創造都市・浜松」を担う次代の育成

○基本的方向

◆施策		指標No. : 重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (時点)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
・ 施策を構成する主な事業 《担当課》 [構成事業数]	【単位】			計画値	計画値	計画値	計画値	目標値
				実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
(1) 第2・第3のノーベル賞受賞者の育成								
ア 子どもの才能を伸ばす特別課外講座の充実								
・ 生涯学習機会提供事業【①】 《創造都市・文化振興課》 [1事業]	①：全国レベルのコンテスト入賞者数 累計【人】		12 (2018年度末)	14 17	18 21	22	23	24
イ 子どもの興味を引き出す機会の充実								
・ 図書館運営事業【①】 《中央図書館》 ・ 生涯学習施設運営事業【①】 《創造都市・文化振興課》 ・ 芸術文化人材育成事業 《創造都市・文化振興課》 ・ 学習会開催等連携事業 《文化財課》 [4事業]	①：生涯学習施設や図書館などにより、知的好奇心が満たされていると思う人の割合 【%】		33.1 (2019年度)	33.0 30.5	33.0 32.7	34.0	34.0	35.0
(2) 地域の力を活かした市民総がかりのひとづくり								
ア 学校・家庭・地域の連携による学校づくり								
・ コミュニティ・スクール推進事業【①】 《教育総務課》 ・ はままつ人づくりネットワーク推進事業【②】 《教育総務課》 ・ 夢育やらまいか事業 《指導課》 ・ 理科・ものづくり教育支援事業 《指導課》 ・ 市立幼稚園特色化推進事業 《幼児教育・保育課》 ・ 文化財活用地域連携事業 《文化財課》 [6事業]	①：学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）導入校数 累計【校】 ②：保護者や地域の人材を活用した授業を実施した教員の割合 【%】		24 (2019年度)	50 51	72 76	96	120	144
			86.0 (2019年度)	87 80.4	88.0 76.9	89.0	90.0	90.0
イ 郷土愛をはぐくむ教育の実践								
・ 夢育やらまいか事業【①】 《指導課》 [1事業]	①：自分が住んでいる地域が好きな子どもの割合 【%】		91.5 (2019年度実績値)	92.0 92.7	93.0 92.6	94.0	95.0	95.0

※表中、下線標記があるものは累計を示す。

Ⅲ-1 安全・安心なまちづくり

○基本的方向							
◆施策							
・ 施策を構成する主な事業 《担当課》 [構成事業数]	指標No. : 重要業績評価指標 (KPI) 【単位】	基準値 (時点)	2020	2021	2022	2023	2024
			(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
			計画値	計画値	計画値	計画値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
(1) 災害に強いまちづくりの推進							
ア 地域防災の推進							
・ 防災計画等整備事業【①】 《危機管理課》	①：自分の生命と財産は自分で 守らなくてはならないと思う人の 割合 【%】	78.3 (2019年度)	80 75	80.5 74.2	81.0	81.5	82.0
・ 市民防災意識啓発事業【①】 《危機管理課》	②：緊急輸送路等の橋りょう耐 震対策実施率 累計【%】	60.9 (2019年度)	62.1 60.9	62.7 64.0	64.0	66.5	70.8
・ 防災施設・資機材管理事業 【①】 《危機管理課》							
・ 防災学習センター管理運営事業 【①】 《危機管理課》							
・ 浸水対策支援事業【①】 《河川課》							
・ 急傾斜対策事業【①】 《河川課》							
・ 橋りょう耐震補強事業【②】 《道路保全課》							
・ 公園整備事業 《公園課》							
・ 公園施設改良事業 《公園管理事務所》							
・ 市道整備事業 《道路企画課》							
・ 国道整備事業 《道路企画課》							
・ スマートインターチェンジ関連 整備事業 《道路企画課》							
・ 三遠南信自動車道関連整備事業 《道路企画課》							
・ 交通安全施設等整備・修繕事業 《道路企画課》							
・ 道路照明灯LED化更新事業 《道路企画課》							
・ 道路維持修繕事業 《道路保全課》							
・ 道路防災事業 《道路保全課》							
・ 河川管理対策事業 《河川課》							
・ 河川維持修繕事業 《河川課》							
・ 河川改良事業 《河川課》							
・ 都市下水道整備事業 《河川課》							
・ 水防活動事業 《河川課》							
・ 土木施設災害復旧事業 《河川課》							
・ 管路耐震化事業 《水道工事課》							
・ 管路耐震化事業 《下水道工事課》							
・ 災害対策事業 《住宅課》 [26事業]							

※表中、下線標記があるものは累計を示す。

Ⅲ-2 にぎわいの創出

○基本的方向							
◆施策							
・施策を構成する主な事業 《担当課》 [構成事業数]	指標No. : 重要業績評価指標 (KPI) 【単位】	基準値 (時点)	2020	2021	2022	2023	2024
			(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
			計画値	計画値	計画値	計画値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
(1) 創造都市の推進							
ア 多様な文化や創造的な活動に触れる機会の創出							
・創造都市推進事業【①】 《創造都市・文化振興課》 ・音楽文化発信・交流事業 【①】 《創造都市・文化振興課》 ・地域産業振興支援事業 《産業振興課》 [3事業]	①：音楽を始めとする市の文化事業に対する満足度 【%】	41.5	39	40	41	42	43
		(2019年度)	42	44.9			
(2) 浜松・浜名湖ブランドの確立による交流人口・関係人口の拡大							
ア ブランドの確立							
・シティプロモーション事業 【①】【②】 《観光・シティプロモーション課》 ・観光宣伝事業 《観光・シティプロモーション課》 ・首都圏情報収集発信事業 《東京事務所》 [3事業]	①：市区町村別認知度ランキング (全国順位) 【位】	28	25	23	20	17	15
		(2019年度)	31	44			
	②：市区町村別魅力度ランキング (全国順位) 【位】	44	40	38	35	32	30
	(2019年度)	45	59				

※表中、下線標記があるものは累計を示す。

Ⅲ-2 にぎわいの創出

○基本的方向

◆施策

・ 施策を構成する主な事業 <<担当課>> [構成事業数]	指標No. : 重要業績評価指標 (KPI) 【単位】	基準値 (時点)	2020	2021	2022	2023	2024
			(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
			計画値 実績値	計画値 実績値	計画値 実績値	計画値 実績値	目標値 実績値
イ 国内外からの交流人口の拡大							
・ 観光客誘致事業【①】 <<観光・シティプロモーション課>> ・ 観光宣伝事業【①】 <<観光・シティプロモーション課>> ・ 館山寺総合公園運営事業【①】 <<緑政課>> ・ 海外戦略推進事業【②】 【③】 <<観光・シティプロモーション課>> ・ 浜松・浜名湖DMO形成支援事業 <<観光・シティプロモーション課>> ・ MICE推進事業 <<観光・シティプロモーション課>> ・ 大型スポーツイベント等誘致事業 <<スポーツ振興課>> ・ ビーチ・マリンスポーツ推進事業 <<スポーツ振興課>> ・ 文化財調査顕彰事業 <<文化財課>> ・ 文化財施設公開事業 <<文化財課>> ・ 文化財活用地域連携事業 <<文化財課>> ・ 埋蔵文化財調査事業 <<文化財課>> ・ 博物館運営事業 <<文化財課>> ・ 遺跡公園運営事業 <<文化財課>> ・ 博物館展示会開催事業 <<文化財課>> ・ 美術館運営事業 <<美術館>> ・ 美術館展覧会開催事業 <<美術館>> ・ 秋野不矩美術館管理運営事業 <<美術館>> ・ 公園整備事業 <<公園課>> ・ 天竜浜名湖鉄道経営支援事業 <<交通政策課>> [22事業]	①：観光交流客数 【千人/年度】	18,809 (2018年度)	20,400 9,940	20,800 2022.10頃確定	21,200	21,600	22,000
	②：外国人延べ宿泊者数 【千人泊/年度】	372 (2018年度)	370 5	380 2022.10頃確定	390	400	410
	③：欧米豪からの外国人延べ 宿泊客数 【千人泊/年度】	33 (2018年度)	37 1	38 2022.10頃確定	39	40	41
ウ ふるさと納税の受入強化							
・ ふるさと納税事業【①】 <<観光・シティプロモーション課>> [1事業]	①：寄附件数 【件/年度】	49,370 (2018年度)	100,000 111,115	125,000 131,307	150,000	175,000	200,000

※表中、下線標記があるものは累計を示す。

Ⅲ-3 支えあいによる地域社会の形成

○基本的方向							
◆施策							
・施策を構成する主な事業 《担当課》 [構成事業数]	指標No. : 重要業績評価指標 (KPI) 【単位】	基準値 (時点)	2020	2021	2022	2023	2024
			(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
			計画値	計画値	計画値	計画値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
(1) 次世代を見据えた地域コミュニティの形成							
ア 市民協働のまちづくりの推進							
・市民協働推進事業【①】 《市民協働・地域政策課》 ・自治会等コミュニティ振興事業 《市民協働・地域政策課》 ・安全で安心なまちづくり支援事業 《市民生活課》 ・市民安全対策事業 《市民生活課》 ・空家対策事業 《市民生活課》 ・地域力向上事業 《各区区振興課》 ・俳句の里づくり事業 《東区区振興課》 ・浜名湖うなぎまつり開催事業(負担金) 《西区区振興課》 ・姫様道中開催事業(負担金) 《北区区振興課》 ・三ヶ日花火大会開催事業(負担金) 《北区区振興課》 ・いなさ人形劇まつり開催事業(負担金) 《北区区振興課》 ・北区Deまつり開催事業(負担金) 《北区区振興課》 ・遠州はまさた飛竜まつり開催事業(負担金) 《浜北区区振興課》 ・天竜区交流促進事業(負担金) 《天竜区区振興課》 ・生涯学習機会提供事業 《創造都市・文化振興課》 [15事業]	①：市と多様な主体との協働件数 【件/年度】	181 (2018年度)	182 129	184 2022.8頃確定	186	200	220
	イ 多様性を生かした市民主体の地域社会の形成						
・多文化共生推進事業【①】 《国際課》 ・国際交流連携推進事業【②】 《国際課》 ・ユニバーサルデザイン推進事業 《UD・男女共同参画課》 ・男女共同参画推進事業 《UD・男女共同参画課》 [4事業]	①：外国人市民との相互理解や交流を深める共生社会づくりの市民満足度 【%】	9.4 (2019年度)	16 13.8	18 14.9	20	20	20
	②：世界の人々との活発な市民交流の取組の市民満足度 【%】	11.1 (2019年度)	18 19.1	20 19.6	20	22	25

※表中、下線標記があるものは累計を示す。

Ⅲ-3 支えあいによる地域社会の形成

○基本的方向

◆施策

・施策を構成する主な事業 《担当課》 [構成事業数]	指標No. : 重要業績評価指標 (KPI) 【単位】	基準値 (時点)	2020	2021	2022	2023	2024
			(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
			計画値 実績値	計画値 実績値	計画値 実績値	計画値 実績値	目標値 実績値

(2) 人と人とのつながりをつくる社会の実現

ア 医療・介護・予防・住まい・生活支援など切れ目ないサービス提供

・認知症施策推進事業【①】 《高齢者福祉課》 ・障害者（児）施設整備費助成事業【②】 《障害保健福祉課》	①：認知症サポーター養成人数 【人/年度】	4,118 (2018年度)	4,700 2,393	3,500 2,863	3,600	3,700	3,800
	②：グループホームの定員 累計【人】	429 (2018年度)	475 591	589 664	662	735	735
・介護保険事業 《高齢者福祉課》 ・障害者（児）自立支援給付事業 《障害保健福祉課》 ・障害者（児）地域生活支援事業 《障害保健福祉課》 ・障害者（児）生活支援事業 《障害保健福祉課》 ・こころの健康づくり推進事業 《障害保健福祉課》 ・ひきこもり対策推進事業 《精神保健福祉センター》 [12事業]							

イ 70歳現役都市・浜松の推進（高齢者の社会参加支援）

・介護保険事業【①】 《高齢者福祉課》 [1事業]	①：浜松市ささえあいポイント事業のボランティア登録人数 【人】	3,849 (2018年度)	5,000 4,176	4,550 4,129	4,800	5,050	5,300
---------------------------------	------------------------------------	-------------------	----------------	----------------	-------	-------	-------

(3) 政令指定都市トップの健康寿命の延伸

ア 市民一人ひとりの予防や健康づくりの推進

・健康支援事業【①】 《健康増進課》 ・浜松ウエルネスプロジェクト事業 《健康増進課》	①：健康寿命 【歳】	男73.19	男73.58	男73.68	男73.78	男73.88	男73.98
		女76.19	女76.54	女76.64	女76.74	女76.84	女76.94
・介護保険事業【①】 《健康増進課》	②：ロコモーショントレーニング事業への参加者数 累計【人】	14,438 (2018年度実績値)	15,800 13,142	16,600 13,426	17,400	18,200	19,000
・介護保険事業【②】 《高齢者福祉課》 ・スポーツ普及・活性化事業 《スポーツ振興課》 [5事業]							

※表中、下線標記があるものは累計を示す。

Ⅲ-5 持続可能な都市経営

○基本的方向							
◆施策							
・ 施策を構成する主な事業 《担当課》 [構成事業数]	指標No. : 重要業績評価指標 (KPI) 【単位】	基準値 (時点)	2020	2021	2022	2023	2024
			(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
			計画値 実績値	計画値 実績値	計画値 実績値	計画値 実績値	目標値 実績値
(1) 効果的・効率的な市民サービスの提供							
ア 持続可能な市民サービス提供体制の構築							
<ul style="list-style-type: none"> ・ アセットマネジメント推進事業【①】 《アセットマネジメント推進課》 ・ 区再編推進事業 《区再編推進事業本部》 ・ オープンデータプラットフォーム運用事業 《広聴広報課》 ・ 庁内情報基盤維持管理事業 《情報システム課》 ・ 人事管理運営経費 《人事課》 ・ 経営改革推進事業 《政策法務課》 ・ 財政状況公表事業 《財政課》 ・ 公有財産維持管理事業 《アセットマネジメント推進課》 ・ 借地解消事業 《アセットマネジメント推進課》 ・ 公共建築物長寿命化推進事業 《公共建築課》 ・ 公共交通推進事業 《交通政策課》 [11事業] 	①：タテモノ資産・インフラ資産充足率 【%】	タテモノ資産	タテモノ資産	タテモノ資産	タテモノ資産	タテモノ資産	タテモノ資産
		64.1	72.0	74.0	76.0	78.0	80.0
		インフラ資産	インフラ資産	インフラ資産	インフラ資産	インフラ資産	インフラ資産
		52.7	85.0	85.0	85.0	85.0	90.0
	(2015年度)	タテモノ資産	タテモノ資産				
		82.2	2022.9頃確定				
		インフラ資産	インフラ資産				
		95.6	2022.9頃確定				
イ 広域連携の推進							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 広域行政推進事業【①】 《企画課》 [1事業] 	①：三遠南信地域における新規連携施策数 累計【件】	22	26	28	30	32	34
		(2019年度末)	26	28			

※表中、下線標記があるものは累計を示す。

Ⅲ-5 持続可能な都市経営

○基本的方向							
◆施策							
・ 施策を構成する主な事業 <<担当課>> [構成事業数]	指標No. : 重要業績評価指標 (KPI) 【単位】	基準値 (時点)	2020	2021	2022	2023	2024
			(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
			計画値	計画値	計画値	計画値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
(2) 持続可能で多様性のある社会の実現							
ア SDGs達成に向けたステークホルダーの活動推進							
・ 総合計画推進事業【①】 <<企画課>> ・ 消費生活推進事業【②】 <<市民生活課>> [2事業]	①: SDGsプラットフォーム会員による会員間交流イベント等の回数 【回/年度】	0	5	10	20	25	30
		(新規)	9	16			
	②: フェアトレードに関する認知度 【%】	44.1	53.3	56.6	60.0	70.0	80.0
		(2018年度)	30.2	44.5			
イ デジタルファーストによる都市づくり							
・ デジタル・スマートシティ推進事業【①】 <<デジタル・スマートシティ推進課>> [1事業]	①: 地域課題解決に向けた実証実験及び実装件数 累計【件】	0	7	37	75	95	115
		(新規)	27	55			
ウ 温室効果ガス排出削減							
・ カーボンニュートラル推進事業【①】 <<カーボンニュートラル推進事業本部>> ・ スマートシティ推進事業 <<カーボンニュートラル推進事業本部>> ・ ごみ減量・リサイクル推進事業 <<ごみ減量推進課>> [3事業]	①: 市域からの温室効果ガス排出量 (Kt) 【kt-CO2】	5,344※	5,277	5,033	4,946	4,860	4,773
		(2016年度)	2023.4頃確定	2024.4頃確定			

※基準値5,344は2016年度の速報値、確定値は5,338

※表中、下線標記があるものは累計を示す。

IV 重点戦略



1	オール浜松で地域産業を盛り上げる	(P.79)
2	子育てから教育まで 続「こども第一主義」	(P.84)
3	実感！ 健康寿命日本一	(P.88)
4	きれいな浜松をいつまでも	(P.91)
5	安全・安心で強靱な日本一暮らしやすいまち	(P.93)
6	市民協働が奏でるところ豊かなまちづくり	(P.96)
7	持続可能な都市経営の推進	(P.99)

重点戦略 「1 オール浜松で地域産業を盛り上げる」

○テーマ								
No	戦略項目	対象事業 《担当課》	指標項目 (単位)	基準値	2019	2020	2021	2022
					(R1)	(R2)	(R3)	(R4)
					計画値	計画値	計画値	計画値
					実績値	実績値	実績値	実績値
① 既存産業の持続的発展・高度化と新産業の創出								
1	既存中小企業の経営体質の強化							
	・産業イノベーション推進事業 《産業振興課》	粗付加価値額【従業者4人以上の事業所】(千円)	77,796 (2017確報)	78,731	79,834	80,392	80,955	
	・中小企業金融支援事業 《産業振興課》	新規融資額(千円)	1,349,860 (2018実績)	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	
				77,232	2022.8頃確定	2023.8頃確定		
				1,043,950	650,080	1,080,980		
2	成長産業分野の高度化・高付加価値化の推進							
	・産業イノベーション推進事業 《産業振興課》	新技術・新製品開発などの事業化件数(件)【2015～累計】	227 (2018実績)	262	297	332	404	
				273	328	387		
3	中小企業振興基本条例の施行を契機とした事業継続・承継の支援							
	・中小企業活性化支援事業 《産業振興課》	事業承継相談の件数(件)【2019～累計】	37 (2018実績)	50	100	120	140	
				41	45	55		
4	中小企業の固有技術を生かした次世代自動車産業の活性化							
	・産業イノベーション推進事業 《産業振興課》	自動車の電動化等への取組レベル向上社数(社)【2018～累計】	7 (2018実績)	17	27	37	47	
				30	53	69		
5	「光・電子技術を活用した未来創生ビジョン」の実現							
	・産業イノベーション推進事業 《産業振興課》	産学官金連携による新事業プロジェクト件数(件)【2018～累計】	5 (2018実績)	10	15	20	25	
				11	21	28		
6	中小企業の海外進出と海外販路開拓支援							
	・海外ビジネス展開支援事業 《産業振興課》	見本市出展企業の成約件数(件)	35 (2018実績)	25	30	35	40	
				10	(見本市中止のため出展なし)	(見本市出展見送りのため実績なし)		
② 「浜松バレー」構想の実現(ベンチャー支援)								
7	次代を担う起業家の育成(法人の開業数を2022年度までの4年間で3,400件とする。)							
	・創業支援事業 《産業振興課》	法人開業件数(累計)(件)	850 (2008～2017平均年度実績)	850	1,700	2,550	3,400	
				875	1,844	2022.9頃確定		
8	ベンチャー企業に投資しやすい環境の整備							
	・スタートアップ支援事業 《スタートアップ推進課》	市内企業に対するベンチャーキャピタルの投資額(百万円)	(2019新規事業)	190	500	1,000	1,500	
				2,980	5,616	4,615		
9	IT人材の育成支援							
	・生涯学習機会提供事業 《創造都市・文化振興課》	ITキッズプロジェクト※の対象拡充(対象)	小3～中2 (2018実績)	小3～中3	小3～中3	小3～中3	小3～中3	
				小3～中3	小3～中3	小3～中3		
				※ITキッズプロジェクト：体験型・実践型の課外講座の開催を通じ、こどもの科学に対する好奇心、探究心を高めるとともに、地域産業の発展に寄与する優れた技術者を育てるもの。				
10	首都圏等からのベンチャー企業誘致による新たな産業の活性化							
	・首都圏ビジネス情報センター事業 《スタートアップ推進課》	企業、大学等の訪問件数(件)	343 (2016～2018平均年度実績)	350	550	550	550	
				563	485	564		
③ ポテンシャルを活かした企業誘致の推進								
11	新たな大規模工場用地の整備							
	・企業立地推進事業 《企業立地推進課》	工場用地立地面積(ha)【2019～累計】	15 (2013～2017平均年度実績)	15	30	45	60	
				35	52	67		
12	トップセールスや立地支援による戦略的な企業誘致により2022年度までの4年間で80件を新規立地							
	・企業立地推進事業 《企業立地推進課》	企業立地決定件数(件)【2015～累計】	96 (2018実績)	116	136	156	176	
				130	148	167		
13	企業誘致による雇用の拡大と税収増、新たなサプライチェーンの構築							
	・企業立地推進事業 《企業立地推進課》	立地企業の新規雇用人数(人)【2019～累計】	150 (2013～2017平均年度実績)	150	300	450	600	
				365	584	730		

※表中、下線標記があるものは累計を示す。

重点戦略 「1 オール浜松で地域産業を盛り上げる」

○テーマ								
No	戦略項目	対象事業 《担当課》	指標項目 (単位)	基準値	2019	2020	2021	2022
					(R1)	(R2)	(R3)	(R4)
					計画値	計画値	計画値	計画値
					実績値	実績値	実績値	実績値
14	女性、障がい者等多様な人材の就労支援							
	・雇用促進事業 《産業振興課》	女性就労支援事業に係る セミナー等参加者の就業率 (%)	41 (2018実績)		50 53	42 43	44 44	46
15	UIJターン就職の支援							
	・雇用促進事業 《産業振興課》	マッチングアドバイザー派 遣事業に係る内定者数 (人)	39 (2018実績)		40 134	70 200	110 181	150
16	外国人留学生のインターンシップコーディネートの実施							
	・雇用促進事業 《産業振興課》	外国人留学生のインターン シップフェア参加者数 (人)	32 (2018実績)		35 17	20 WEB開催の ため不明	25 40	25
17	障がい者を含む誰もが参画できるユニバーサル農業の推進							
	・もうかる農業推進事業 《農業水産課》	ユニバーサル農業シンポジ ウム参加者数 (累計) (人)	70 (2018実績)		170 101	200 220	300 359	400
18	仕事と生活の調和がとれる職場環境づくりの支援							
	・雇用促進事業 《産業振興課》	ワーク・ライフ・バランス 等推進事業所認定事業所数 (社)	82 (2018実績)		80 88	95 107	120 117	130
⑤	「70歳現役都市・浜松」の推進							
19	高齢者継続雇用の促進							
	・雇用促進事業 《産業振興課》	高齢者活躍宣言事業所認定 制度の認定事業所数 (社)	(2019新規事 業)		30 52	55 79	90 105	110
20	シルバー人材センターとの連携強化							
	・シルバー人材センター支援事 業 《高齢者福祉課》	シルバー人材センター会員 数 (人)	4,519 (2018実績)		4,500 4,575	4,565 4,402	4,590 4,370	4,615
		会員の就業率 (%)	79.5 (2017実績)		80 77.8	80 73.8	80 80.6	80
21	地域において健康増進の担い手となって活動する「市民いきいきトレーナー」の活動支援と健康づくりの普及推進							
	・介護保険事業 《健康増進課》	市民いきいきトレーナー登 録数 (人)	149 (2019実績)		130 149	150 166	170 171	190
22	自宅等で簡単にできる軽い運動「ロコモーショントレーニング」の普及拡大							
	・介護保険事業 《高齢者福祉課》	ロコモーショントレーニン グ事業への参加者数 (人)	10,145 (2017実績)		15,000 15,151	15,800 13,142	16,600 13,426	17,400
23	ボランティア活動や介護予防活動を行った人に対してポイントを付与する「ささえあいポイント事業」の普及推進							
	・介護保険事業 《高齢者福祉課》	ささえあいポイント事業の ボランティア登録人数 (人)	3,296 (2017実績)		4,400 4,186	5,000 4,176	4,550 4,129	4,800
24	シニアクラブによる地域づくり活動の支援							
	・シニアクラブ支援事業 《高齢者福祉課》	シニアクラブ加入者率 (%)	8.6 (2018実績)		10 8.3	10 7.9	10 7.6	10
		シルバーサポーター派遣回 数 (回)	116 (2018実績)		170 114	173 44	176 50	179
25	アクティブ・シニア講座※の充実							
	・生涯学習機会提供事業 《創造都市・文化振興課》	アクティブ・シニア講座※ 受講者数 (人)	(2019新規事 業)		12,000 10,584	12,200 4,922	12,400 6,399	12,600
		※アクティブ・シニア講座：地域の人々の生きがいがづくりの推進による「70歳現役都市」の実現を目指し、現代的課題についての学習機会を提供するもの。						
26	高齢者に対する情報提供や相談窓口の設置							
	・地域福祉推進事業 《福祉総務課》	相談窓口における高齢者の 「いきがい相談」に関する 相談件数 (件)	(2019新規事 業)		50 560	500 498	500 303	500

※表中、下線標記があるものは累計を示す。

重点戦略 「1 オール浜松で地域産業を盛り上げる」

○テーマ								
No	戦略項目	対象事業 《担当課》	指標項目（単位）	基準値	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
					計画値	計画値	計画値	計画値
					実績値	実績値	実績値	実績値
⑥ 創造都市・浜松の顔づくり（中心市街地の活性化）								
27	市民文化創造拠点施設整備の推進	・創造都市推進事業 《創造都市・文化振興課》	調査・検討	旧元城小解体 (2018実績)	発掘調査	発掘調査	発掘調査	関連調査
					発掘調査	発掘調査	発掘調査	
					2019～元城小学校跡地埋蔵文化財発掘調査 2023～2024 整備の在り方検討			
28	ITやクリエイティブ産業などの都市型産業の集積と雇用創出	・都心機能集積支援事業 《産業振興課》	オフィス開設費用助成件数 (件)	3 (2018実績)	3	3	3	3
29	都心への居住促進	・市街地再開発組合支援事業 《市街地整備課》	旭・板屋A地区の進捗率 (%)	57.7 (2018実績)	100	100	100	100
					97	99	100	
30	リノベーション（再生事業）による空き店舗などの再生と活性化	・都市機能集積支援事業 《産業振興課》	リノベーションスクールの 検討戸数（戸）	16 (2018実績)	19	27	32	35
					22	28	39	
31	新川モール等の公共空間及び遊休不動産の利活用による賑わいと憩い空間の創出	・都心機能集積支援事業 《産業振興課》	新川モール整備進捗率 (%)	0 (2018実績)	25	50	75	100
					25	50	100	
32	安全安心な通行を妨げる繁華街の客引き行為等の対策のための条例を2020年4月施行に向け制定	・市民安全対策事業 《市民生活課》	客引き行為等※の禁止区域 内で客引き行為等をする者 の人数（人）	67人 (2018調査結 果)	—	30	30	25
					—	13	11	
					※客引き行為等：公共の場所（道路、公園など）で行われる「客引き行為・客待ち行為・勧誘行為・勧誘待ち行為」のこと。			
⑦ 浜名湖を核とした観光地域づくりの推進								
33	官民連携による浜名湖観光圏の整備推進	・観光客誘致事業 《観光・シティプロモーション課》	観光交流客数（千人）	21,357 (2017実績)	23,700	20,400	20,800	21,200
					19,441	9,940	2022.10頃確定	
34	世界水準を目指すDMO（Destination Management Organization）の体制強化	・浜松・浜名湖DMO形成支援事業 《観光・シティプロモーション課》	一人当たり旅行消費額（宿泊） （円）	16,189 (2017実績)	32,000	33,000	34,000	35,000
					27,400	22,588	27,342	
35	浜名湖周遊ルート等自転車走行空間の整備	・交通安全施設等整備・修繕事業 《道路企画課》	自転車走行空間等整備率 (%)	45 (2018実績)	70	70	70	80
					60	60	62	
					2019～2022：自転車走行空間整備工事			
⑧ 訪日外国人観光客の誘致強化								
36	東アジア及びASEANからのインバウンドの拡大	・海外戦略推進事業 《観光・シティプロモーション課》	外国人宿泊客数（千人）	332 (2018実績)	360	370	380	390
					378	5	2022.10頃確定	
37	欧米豪など新市場の開拓	・海外戦略推進事業 《観光・シティプロモーション課》	欧米豪からの外国人宿泊客 数（千人）	33 (2018実績)	36	37	38	39
					31	1	2022.10頃確定	
38	国際会議の誘致強化	・MICE推進事業 《観光・シティプロモーション課》	国際会議等誘致件数（件）	5 (2018実績)	5	5	5	5
					8	0	0	

※表中、下線標記があるものは累計を示す。

重点戦略 「1 オール浜松で地域産業を盛り上げる」

○テーマ								
No	戦略項目	対象事業 《担当課》	指標項目 (単位)	基準値	2019	2020	2021	2022
					(R1)	(R2)	(R3)	(R4)
					計画値	計画値	計画値	計画値
					実績値	実績値	実績値	実績値
39	「農泊 食文化海外発信地域 (SAVOR JAPAN) ※」の活用							
		・もうかる農業推進事業 《農業水産課》	農林漁業体験プログラム数 (件)	39 (2018実績)	57 53	60 77	63 78	66
※農泊 食文化海外発信地域 (SAVOR JAPAN) : 地域の食と、それを生み出す農林水産業を核として訪日外国人を中心とした観光客の誘致を図る地域での取組。								
40	世界の創造都市と連携した響きの創造プロジェクト (2020文化プログラム) の推進							
		・創造都市推進事業 《創造都市・文化振興課》	イベント参加者数 (人)	1,593 (2018実績)	5,000 2,265	10,000 -	10,000 40,692	-
41	大規模スポーツ大会、スポーツイベント、合宿誘致の推進							
		・大型スポーツイベント等誘致 事業 《スポーツ振興課》	大型スポーツイベント等誘 致数 (件)	10 (2018実績)	10 13	10 3	10 14	10
⑨ 戦略的シティプロモーションの推進								
42	多様な企業や人材、媒体などをフル活用した創造的かつ戦略的なシティプロモーションの推進							
		・シティプロモーション事業 《観光・シティプロモーション課》	浜松市の魅力度 (位)	55 (2018実績)	42 44	40 45	38 59	35
43	家康公浜松城築城450年 (2020年) を活用した「出世の街 浜松」の全国発信							
		・シティプロモーション事業 《観光・シティプロモーション課》	浜松市の魅力度 (位)	55 (2018実績)	42 44	40 45	38 59	35
44	映画、テレビ、CMなどのフィルムコミッションの推進							
		・観光宣伝事業 《観光・シティプロモーション課》	全国規模の撮影支援件数 (件)	88 (2018実績)	- 92	96 94	100 91	105
⑩ もうかる農業の実現								
45	浜松産旬の食材「浜松パワーフード」を核とした地産地消・ブランド化の推進							
		・もうかる農業推進事業 《農業水産課》	浜松パワーフード宣言・応 援宣言認定事業者 (累計) (事業者)	60 (2018実績)	100 113	200 192	300 240	400
46	農業経営意識の醸成と他分野との連携促進							
		・もうかる農業推進事業 《農業水産課》	浜松市未来を拓く農林漁業 育成事業費補助金実施事業 数 (累計) (件)	15 (2018実績)	28 29	43 46	58 59	73
47	認定農業者及び認定新規就農者の育成支援と生産力の強化							
		・担い手育成支援事業 《農業振興課》	認定農業者及び認定新規就 農者の新規認定件数 (経営 体)	46 (2018実績)	86 96	126 139	166 191	206
48	農業用水利施設の長寿命化と耐震対策							
		・国・県施行事業 (負担金) 《農地整備課》	農業用水利施設の長寿命 化・耐震対策実施箇所数 (箇所)	12/39 (2018実績)	21/39 21/39	21/39 21/39	21/39 21/39	24/39
49	農地の集積・集約など安定した農地確保の支援							
		・農地の確保と有効利用事業 《農地利用課》 ・優良農地の確保推進事業 《農業委員会事務局》	担い手への農地集積率 (%)	31 (2018実績)	38 32	41 35	44 37	47
50	1億円以上を稼ぐ経営体を2022年度までに80経営体育成							
		・もうかる農業推進事業 《農業水産課》	売上1億円以上の経営体	44 (2015実績)	64 -	70 54	75 -	80

※表中、下線標記があるものは累計を示す。

重点戦略 「1 オール浜松で地域産業を盛り上げる」

○テーマ								
No	戦略項目	対象事業 ≪担当課≫	指標項目 (単位)	基準値	2019	2020	2021	2022
					(R1)	(R2)	(R3)	(R4)
					計画値	計画値	計画値	計画値
					実績値	実績値	実績値	実績値
⑪ 天竜材を世界にセールス ブランド力の強化と流通拡大								
51	東京オリバラ関係施設をはじめとする天竜材の地産外商							
	・木材需要拡大事業 ≪林業振興課≫	FSC認証材生産量 (m ³ /年)	75,976 (2017実績)	103,000	111,000	119,000	127,000	
				67,048	59,550	2022.8頃確定		
52	FSC森林認証制度に基づく持続可能かつ適切な森林経営							
	・森林管理事業 ≪林業振興課≫	FSC森林認証面積 (ha)	45,270 (2018実績)	45,500	48,900	49,200	49,500	
				48,542	49,130	49,441		
53	市が仲介役となり森林所有者と林業経営者をつなぐ「新たな森林管理システム」の円滑な運用							
	・森林経営管理推進事業 ≪林業振興課≫	森林経営計画認定面積 (ha)	16,516 (2017実績)	18,400	19,600	20,800	22,000	
				21,083	18,101	18,568		
54	森林環境譲与税を活用した大都市圏での天竜材利用促進など都市間連携の推進							
	・木材需要拡大事業 ≪林業振興課≫	連携数 (都市・団体)	3 (2018実績)	4	4	5	5	
				5	5	5		
⑫ 遠州灘から浜名湖まで 多彩な水産資源で元気な漁業の実現								
55	県営舞坂漁港の機能保全等と市営村櫛漁港の施設整備							
	・漁港管理事業 ≪農業水産課≫	村櫛漁港整備進捗率 (%)	90 (2018実績)	95	95	95	95	
				80	85	85		
56	持続可能な水産業に向けた養殖業等の振興							
	・水産業振興事業 ≪農業水産課≫	水産業協同組合の年間取扱 高 (百万円)	7,142 (2017実績)	8,704	8,780	8,856	8,932	
				8,712	7,945	7,169		
57	浜松産旬の食材「浜松パワーフード」を核とした地産地消・ブランド化の推進 (再掲)							
	・水産業振興事業 ≪農業水産課≫	浜松パワーフード宣言・応 援宣言認定事業者 (累計) (事業者)	60 (2018実績)	100	200	300	400	
				113	192	240		

※表中、下線標記があるものは累計を示す。

重点戦略 「2 子育てから教育まで 続『こども第一主義』」

○テーマ

No	戦略項目	指標項目 (単位)	基準値	2019	2020	2021	2022
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)
				計画値	計画値	計画値	計画値
				実績値	実績値	実績値	実績値
① 待機児童の解消							
58	保育所等の定員を2022年度までの4年間で2,200人拡充						
	・私立保育所等助成事業 《幼児教育・保育課》	保育施設※の定員増数 (対2018比較累計) (人)	15,108 (2018定員数)	550 550	1,005 1,015	1,805 1,794	2,200
				※保育施設：認定こども園、保育所、地域型保育事業			
59	放課後児童会の定員を2022年度までの4年間で1,200人拡充						
	・放課後児童会健全育成事業 《教育総務課》	放課後児童会の定員増数 (対2018比較累計) (人)	6,299 (2018定員数)	300 228	900 259	1,000 794	1,100
60	AIなどを活用した幼児教育・保育施設の利用等に関する情報提供サービスの充実						
	・保育事業運営経費 《幼児教育・保育課》	AIを活用した保育施設入所選考の検討	未導入 (2018状況)	実証実験 実証実験	検証 検証	検討 導入	導入
61	幼児教育・保育施設における保育環境の充実						
	・市立保育所管理運営事業 《幼児教育・保育課》	施設長寿命化工事の実施 (累計) (件)	0 (2018実績)	5 5	10 10	11 11	12
	・市立幼稚園施設整備事業 《幼児教育・保育課》	施設長寿命化工事の実施 (累計) (件)	3 (2018実績)	6 6	11 11	12 14	13
② 相談・支援体制の充実・強化							
62	児童虐待の発生予防と早期発見・早期対応の強化						
	・児童保護事業 《児童相談所》	研修に参加した回数 (回)	34 (2018実績)	40 45	40 24	41 35	42
63	家庭養育推進のための里親・ファミリーホームの充実						
	・社会的養護推進事業 《児童相談所》	里親登録数 (組)	92 (2018実績)	102 94	114 101	126 109	138
64	社会生活を円滑に営む上で困難を有する若者への支援体制の充実						
	・子ども・若者サポート事業 《次世代育成課》	若者相談支援窓口「わかば」新規相談の内、専門機関へつなげたり、傾聴・助言等により一定の解決に至った割合 (%)	84.7 (2015~2018平均)	85 84	86 95	87 98	88
65	地域でささえ合い多世代が交流できる新たな子育て支援ひろばの設置						
	・子育て家庭支援事業 《子育て支援課》	多世代交流している子育て支援ひろばの設置割合 (%)	80 (2018実績)	80 80	80 80	90 88	90
66	教育に関する相談体制の充実						
	・教育相談推進事業 《指導課》	スクールカウンセラーの配置総時間数 (時間)	19,474 (2018実績)	20,319 19,875	20,980 20,158	21,520 20,017	21,820
67	教員以外の専門的人材の活用による「チーム学校」の体制整備						
	・生徒指導事業 《指導課》	スクールソーシャルワーカーの配置数 (人)	12 (2018実績)	12 12	14 14	15 15	15
68	いじめ防止対策の強化						
	・教育相談推進事業 《指導課》	スクールカウンセラーの配置総時間数 (時間)	19,474 (2018実績)	20,319 19,875	20,980 20,158	21,520 20,017	21,820
	・生徒指導事業 《指導課》	スクールソーシャルワーカーの配置数 (人)	12 (2018実績)	12 12	14 14	15 15	15

※表中、下線標記があるものは累計を示す。

重点戦略 「2 子育てから教育まで 続『こども第一主義』」

○テーマ

No	戦略項目	指標項目 (単位)	基準値	2019	2020	2021	2022
				(R1) 計画値	(R2) 計画値	(R3) 計画値	(R4) 計画値
				実績値	実績値	実績値	実績値
③ 仕事と子育ての両立支援							
69	保育所等の定員を2022年度までの4年間で2,200人拡充(再掲)						
	・私立保育所等助成事業 《幼児教育・保育課》	保育施設※の定員増数 (対2018比較累計) (人)	15,108 (2018定員数)	550 550	1,005 1,015	1,805 1,794	2,200
				※保育施設：認定こども園、保育所、地域型保育事業			
70	放課後児童会の定員を2022年度までの4年間で1,200人拡充(再掲)						
	・放課後児童会健全育成事業 《教育総務課》	放課後児童会の定員増数(対 2018比較累計) (人)	6,299 (2018定員数)	300 228	900 259	1,000 794	1,100
71	仕事と生活の調和がとれる職場環境づくりの支援(再掲)						
	・雇用促進事業 《産業振興課》	ワーク・ライフ・バランス等 推進事業所認証事業所数 (社)	82 (2018実績)	80 88	95 107	120 117	130
72	ひとり親家庭等の自立支援の推進						
	・ひとり親家庭等支援事業 《子育て支援課》	高等職業訓練促進給付金修了 者の就職率(%)	100 (2018実績)	100 85.7	100 87.5	100 85.7	100
73	こどもを産み育てやすい環境づくりに向けた産後ケア事業の推進						
	・母子相談事業 《健康増進課》	産後ケア事業利用者数(人)	46 (2018実績)	480 646	790 734	830 1101	870
④ 市民協働による人づくり							
74	コミュニティ・スクールの推進						
	・コミュニティ・スクール推進 事業 《教育総務課》	学校運営協議会制度(コミュニ ティ・スクール)の導入校 数(校)	17 (2018実績)	24 24	50 51	72 76	96
75	地域愛を育む教育の実践						
	・夢やらまいか事業 《指導課》	やらまいか教育推進事業を 実施する学校数(累計)(校)	30 (2018実績)	50 55	80 85	110 115	140
76	ITキッズプロジェクト※の充実(再掲)						
	・生涯学習機会提供事業 《創造都市・文化振興課》	ITキッズプロジェクト※の対 象拡充(対象)	小3～中2 (2018実績)	小3～中3 小3～中3	小3～中3 小3～中3	小3～中3 小3～中3	小3～中3
				※ITキッズプロジェクト：体験型・実践型の課外講座の開催を通じ、こどもの科学に対する好奇心、探究心を高めるとともに、地域産業の発展に寄与する優れた技術者を育てるもの。			
⑤ 社会の変化に対応する学力の育成							
77	キャリア教育※の推進						
	・教育研究・指導事業 《指導課》	全校への計画訪問による指導 実施率(%)	100 (2018実績)	100 100	100 100	100 100	100
				※キャリア教育：こども一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な力を育てることを通じて、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくための教育。			
78	プログラミング学習など情報化社会に対応した教育の充実						
	・小中学校学習者情報環境整備事業 《教育施設課》	ICT支援員活用校率(%)	(2019新規事 業)	13 14	70 100	100 100	100
	・小中学校学習者情報環境整備事業 《教育施設課》	学習者用タブレットPC 1人 1台環境(台数/児童生徒 数)(%)	(2020新規事 業)	- -	72 72	87 100	100
79	ITキッズプロジェクト※の充実(再掲)						
	・生涯学習機会提供事業 《創造都市・文化振興課》	ITキッズプロジェクト※の対 象拡充(対象)	小3～中2 (2018実績)	小3～中3 小3～中3	小3～中3 小3～中3	小3～中3 小3～中3	小3～中3
				※ITキッズプロジェクト：体験型・実践型の課外講座の開催を通じ、こどもの科学に対する好奇心、探究心を高めるとともに、地域産業の発展に寄与する優れた技術者を育てるもの。			
80	英語や多文化共生教育の充実						
	・生きた英語力育成事業 《指導課》	ALTの人数(人)	50 (2018実績)	60 60	60 60	62 60	62

※表中、下線標記があるものは累計を示す。

重点戦略 「2 子育てから教育まで 続『こども第一主義』」

○テーマ

No	戦略項目	対象事業 《担当課》	指標項目 (単位)	基準値	2019	2020	2021	2022
					(R1) 計画値	(R2) 計画値	(R3) 計画値	(R4) 計画値
					実績値	実績値	実績値	実績値
⑥ 一人ひとりのニーズに応じた教育の推進								
81	発達に課題のあるこどもたちや心身に障がいのあるこどもたちへのきめ細かな支援の推進							
	・教職員管理運営経費 《教職員課》	発達支援教室数 (教室)	87 (2018実績)	92	97	102	107	
				92	97	101		
	・発達支援教育推進事業 《指導課》	発達支援学級数 (教室)	286 (2018実績)	321	340	360	380	
				322	354	371		
	・市立幼稚園教職員管理事業 《幼児教育・保育課》	障がい児在籍学級キッズサ ポーターの配置数 (人)	133 (2018実績)	130	130	130	130	
				121	124	123		
82	不登校児童生徒への支援の充実							
	・不登校児支援推進事業 《指導課》	校内適応指導教室数 (箇所)	15 (2019実績)	15	20	25	25	
				15	20	25		
83	外国人の子どもの不登学ゼロ作戦の推進							
	・多文化共生推進事業 《国際課》	定住外国人の子どもの不登学 者数 (人)	2 (2018実績)	0	0	0	0	
				4	2	1		
	・外国人子供教育支援推進事業 《指導課》	日本語指導を必要とする児童 生徒への支援達成率 (%)	99 (2018実績)	100	100	100	100	
				99	99	99		
⑦ 安全・安心な教育環境の構築								
84	学校施設の計画的な改修・更新							
	・小学校建設事業、中学校建設事業 《教育施設課》	整備校数 (校)	2 (2018実績)	2	3	3	3	
				2	3	3		
85	小中学校普通教室へのエアコンを2020年度までに整備							
	・学校施設整備事業 《教育施設課》	設置完了校率 (%)	(2019新規事 業)	43	100	100	100	
				43	100	100		
86	こどもたちの見守り体制の強化							
	・学校安全事業 《健康安全課》	見守りボランティアへの登録 者数 (人)	(2019新規事 業)	350	400	700	700	
				483	688	781		
87	通学路整備の推進							
	・交通安全施設等整備・修繕事業 《道路企画課》	通学路整備要望対応率 (%)	60 (2017実績)	60	60	60	60	
				76	65	58		
⑧ 学びを支える教育環境づくり								
88	学校における働き方改革の推進							
	・教育総合計画推進事業 《教育総務課》	学校における働き方改革のた めの業務改善方針の策定	策定 (2018実績)	運用 改訂	運用	運用	運用	
				運用 改訂	運用	運用		
	・教職員管理事業 《教職員課》	校務アシスタントの配置数 (人)	73 (2018実績)	146	146	146	146	
				146	144	144		
	・部活動等推進事業 《指導課》	部活動指導員の配置人数 (人)	21 (2018実績)	40	45	46	46	
				37	43	45		
89	指導員・支援員等の配置拡充							
	・教職員管理運営経費 《教職員課》	配置数 (人)	273 (2018実績)	257	261	273	276	
				254	254	254		
	・教育研究・指導事業 《指導課》	理科支援員の活用率 (%)	100 (2018実績)	100	100	100	100	
				100	100	100		
90	学校給食費への公会計の導入							
	・学校給食費管理事業 《健康安全課》	公会計化導入に向けた進捗状 況	(2019新規事 業)	課題整理 ・制度設計	課題調整・シ ステム構築	システム 導入・ 研修会実施	公会計化 導入	
				課題整理 ・制度設計	課題調整・シ ステム構築	システム 導入・ 研修会実施		

※表中、下線標記があるものは累計を示す。

重点戦略 「2 子育てから教育まで 続『こども第一主義』」

○テーマ							
No	戦略項目	指標項目 (単位)	基準値	2019	2020	2021	2022
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)
				計画値	計画値	計画値	計画値
				実績値	実績値	実績値	実績値
91	教職員の資質・能力の向上						
	・教職員研修事業 《教育センター》	研修参加者の満足度 (%)	85 (2018実績)	85 85	85 83	86 83	86 86
92	少人数指導の充実						
	・教職員管理事業 《教職員課》	はままつ式少人数学級※対応 講師の必要な小学校への配置 率 (%)	100 (2018実績)	100 100	100 100	100 100	100 100
※はままつ式少人数学級：小学校1・2・3年生を対象に、30人学級編制を実施。							
93	幼稚園や保育所等における幼児教育・保育の質や機能性の向上						
	・市立保育所管理運営事業 《幼児教育・保育課》	園内外職員研修の参加延人数 (人)	3,814 (2018実績)	3,800 3,843	3,800 3,309	3,800 3,630	3,800 3,900
	・市立幼稚園教職員管理事業 《幼児教育・保育課》	園内外職員研修の参加延人数 (人)	5,960 (2018実績)	5,900 5,986	5,900 5,066	5,900 5,627	5,900 5,900
94	幼児教育・保育の無償化への対応						
	・幼児教育・保育無償化関連事業 《幼児教育・保育課》	国制度に基づく幼児教育・保 育の無償化の実施	未実施 (2018状況)	実施 (10月~) 実施	実施 実施	実施 実施	実施 実施
⑨	将来を担う高校生の育成・支援						
95	高校生世代への医療費助成を2019年10月より実施						
	・家庭福祉支援事業 《子育て支援課》	高校生世代医療費助成の実施	(2019新規事 業)	実施 実施	実施 実施	実施 実施	実施 実施
96	高校生を対象とした講演の実施						
	・広聴事業 《広聴広報課》	講演の実施高校数 (校)	11 (2018実績)	15 8	13 6	13 10	13 13

※表中、下線標記があるものは累計を示す。

重点戦略 「3 実感！ 健康寿命日本一」

○テーマ

No	戦略項目 ・対象事業 《担当課》	指標項目(単位)	基準値	2019	2020	2021	2022
				(R1) 計画値	(R2) 計画値	(R3) 計画値	(R4) 計画値
				実績値	実績値	実績値	実績値
① 在宅福祉・在宅医療の充実							
97	地域包括支援センターの相談支援体制の充実						
	・介護保険事業 《高齢者福祉課》	地域包括支援センター総合相談件数(件)	42,194 (2017実績)	45,750 49,384	46,000 53,947	50,200 55,632	50,400
98	在宅医療・介護連携相談支援センターの充実						
	・介護保険事業 《高齢者福祉課》	在宅医療・介護連携相談センター相談件数(件)	369 (2017実績)	960 1,285	960 1,397	1,050 1,322	1,150
99	認知症の本人・家族に対する支援の推進						
	・認知症施策推進事業 《高齢者福祉課》	認知症サポーター養成人数(人)	4,118 (2018実績)	4,600 3,565	4,700 2,393	3,500 2,863	3,600
100	認知症対応型共同生活介護施設の床数を2022年度までの4年間で108床拡充						
	・介護サービス提供基盤整備費 助成事業(補助金) 《介護保険課》	認知症対応型共同生活介護施設の定員(人)	1,221 (2018実績)	1,257 1,251	1,293 1,278	1,278 1,278	1,296
101	人生の最終段階における医療・ケアの普及啓発						
	・介護保険事業 《高齢者福祉課》	市民・専門職に対する人生の最終段階における医療・ケアについての講演会・研修会の実施回数(累計)(回)	(2019新規事業)	10 6	20 20	30 29	40
② 「健康都市・浜松」の展開							
102	はままつ食de元気応援店を2022年度までに310店に拡充						
	・健康支援事業 《健康増進課》	はままつ食de元気応援店登録店舗数(店舗)	243 (2018実績)	258 260	270 290	285 307	310
103	はままつ健康増進団体を2022年度までに100団体認証						
	・健康支援事業 《健康増進課》	はままつ健康増進団体認証数(団体)	66 (2018実績)	75 80	85 84	95 84	100
104	地域において健康増進の担い手となって活動する「市民いきいきトレーナー」の活動支援と健康づくりの普及推進(再掲)						
	・介護保険事業 《健康増進課》	市民いきいきトレーナー登録数(人)	149 (2019実績)	130 149	150 166	170 171	190
105	健康づくりに関する情報発信の一元化						
	・健康支援事業 《健康増進課》	健康づくり情報更新数(件)	100 (2018実績)	150 124	170 74	190 60	210
106	地区社会福祉協議会の設立・活動推進						
	・地域福祉推進事業 《福祉総務課》	地区社会福祉協議会の設置数(団体)	54 (2018実績)	58 55	58 56	58 56	58
107	地域ボランティアコーナーによる情報発信						
	・地域福祉推進事業 《福祉総務課》	地域ボランティアコーナー開設数(か所)	46 (2018実績)	58 47	58 48	58 49	58
108	生涯にわたる歯と口の健康づくりの推進						
	・歯科保健事業 《健康増進課》	定期的に歯科検診を受ける人の割合(%)	47.5 (2018実績)	41 45.8	42 38.6	46 38.9	50
109	市民の健康を支える浜松産旬の食材「浜松パワーフード」を活用した食育の推進						
	・もうかる農業推進事業 《農業水産課》	農水産業に係る食育体験の体験者数(累計・人)	(2019新規事業)	250 1,352	3,950 2,236	6,550 3,830	9,150

※表中、下線標記があるものは累計を示す。

重点戦略 「3 実感！ 健康寿命日本一」

○テーマ								
No	戦略項目	対象事業 《担当課》	指標項目 (単位)	基準値	2019	2020	2021	2022
					(R1)	(R2)	(R3)	(R4)
					計画値	計画値	計画値	計画値
					実績値	実績値	実績値	実績値
③ 医療体制の充実								
110	浜松医療センター新病院を2023年度中の開院に向け建設							
	・浜松市病院事業 (医療センター資本的支出) 《病院管理課》	新病院整備率 (%)	2.5 (2018実績)		2.5	3.7	11.5	35.6
					2.5	4.5	14.7	
					2015～2016：基本設計、2017～2020：実施設計、2020～2023：新病院棟建設工事、2023～2024：3号館・渡り廊下棟改修工事、2025～2026：1・2号館解体工事、2026：渡り廊下棟増築・駐車場設置工事			
④ 障害のある人への支援の充実								
111	相談支援体制の整備ときめ細かな相談支援の充実							
	・障害者地域生活支援事業 《障害保健福祉課》	委託相談支援事業所の再編 (%)	(2019新規事業)		50	100	100	100
					50	100	100	
					2019：プロポーザルによる事業者選定 2020：整備完了			
112	手話言語の推進に関する条例の推進							
	・障害者地域生活支援事業 《障害保健福祉課》	手話奉仕員養成講座受講者等 (累計) (人)	(2019新規事業)		150	300	450	600
					174	174	175	
113	措置入院者の退院後支援の実施							
	・こころの健康づくり推進事業 《障害保健福祉課》	措置入院を経て地域に退院した人のうち、計画に基づく支援を実施した人の割合 (%)	(2019新規事業)		25	30	35	40
					17	47	33	
114	障害者就労支援施設から一般就労への移行推進							
	・障害者就労支援事業 《障害保健福祉課》	障害者就労支援施設から一般就労への移行者数 (人)	148 (2017実績)		159	174	189	204
					140	140	176	
115	地域生活への移行推進のためのグループホームの定員を2022年度までの4年間で100人拡充							
	・障害者施設整備費助成事業 (補助金) 《障害保健福祉課》	グループホームの定員 (人)	425 (2018計画) 429 (2018実績)		450	475	589	662
					493	591	664	
⑤ 生涯スポーツの推進								
116	ライフスタイルに応じた多様なスポーツ施策の展開							
	・スポーツ施設運営事業 《スポーツ振興課》	生涯スポーツ施設の利用者数 (千人)	5,601 (2017実績)		5,600	5,600	5,600	5,600
					5,417	3,746	4,447	
117	次世代アスリートの育成							
	・スポーツ普及・活性化事業 《スポーツ振興課》	高校生以下の全国大会出場者数 (人)	868 (2018実績)		870	876	882	888
					812	223	651	
118	東京オリパラを契機としたパラスポーツの推進							
	・スポーツ普及・活性化事業 《スポーツ振興課》	パラアスリート交流人数 (人)	(2021新規事業)				450	500
							675	
119	eスポーツなど新たな概念の確立と普及推進							
	・スポーツ発信交流事業 《スポーツ振興課》	デュアルモードでスポーツに取り組む機会の提供	(2021新規事業)				リモートランの検討	リアル・オンラインでのイベント実施
							リモートランの検討	
⑥ 多世代交流の推進								
120	老人福祉センターを子育て世代も利用できる「ふれあい交流センター」へ転換							
	・高齢者施設等運営事業 《高齢者福祉課》	ふれあい交流センターへ転換 ※2021年度以降は利用者数を指標に設定	(2019新規事業)		事業者選定	転換	369,000	372,000
					選定済	転換済	241,694	
					2019：2020～2022年度事業者の選定 2020：転換、運営			

※表中、下線標記があるものは累計を示す。

重点戦略 「3 実感！ 健康寿命日本一」

○テーマ

No	戦略項目	指標項目 (単位)	基準値	2019	2020	2021	2022
				(R1) 計画値	(R2) 計画値	(R3) 計画値	(R4) 計画値
				実績値	実績値	実績値	実績値
⑦ 「70歳現役都市・浜松」の推進 (再掲)							
121	高齢者継続雇用の促進						
	・雇用促進事業 《産業振興課》	高齢者活躍宣言事業所認定制度の認定事業所数 (社)	(2019新規事業)	30	55	90	110
				52	79	105	
122	シルバー人材センターとの連携強化						
	・シルバー人材センター支援事業 《高齢者福祉課》	シルバー人材センター会員数 (人)	4,519 (2018実績)	4,500	4,565	4,590	4,615
		会員の就業率 (%)	79.5 (2017実績)	80	80	80	80
				77.8	73.8	80.6	
123	地域において健康増進の担い手となって活動する「市民いきいきトレーナー」の活動支援と健康づくりの普及推進 (再掲)						
	・介護保険事業 《健康増進課》	市民いきいきトレーナー登録数 (人)	149 (2019実績)	130	150	170	190
				149	166	171	
124	自宅等で簡単にできる軽い運動「ロコモーショントレーニング」の普及拡大						
	・介護保険事業 《高齢者福祉課》	ロコモーショントレーニング事業への参加者数 (人)	10,145 (2017実績)	15,000	15,800	16,600	17,400
				15,151	13,142	13,426	
125	ボランティア活動や介護予防活動を行った人に対してポイントを付与する「ささえあいポイント事業」の普及推進						
	・介護保険事業 《高齢者福祉課》	ささえあいポイント事業のボランティア登録人数 (人)	3,296 (2017実績)	4,400	5,000	4,550	4,800
				4,186	4,176	4,129	
126	シニアクラブによる地域づくり活動の支援						
	・シニアクラブ支援事業 《高齢者福祉課》	シニアクラブ加入者率 (%)	8.6 (2018実績)	10	10	10	10
		シルバーサポーター派遣回数 (回)	116 (2018実績)	8.3	7.9	7.6	
				170	173	176	179
				114	44	50	
127	アクティブ・シニア講座※の充実						
	・生涯学習機会提供事業 《創造都市・文化振興課》	アクティブ・シニア講座※受講者数 (人)	(2019新規事業)	12,000	12,200	12,400	12,600
				10,584	4,922	6,399	
		※アクティブ・シニア講座：地域の人人の生きがいつくりの推進による「70歳現役都市」の実現を目指し、現代的課題についての学習機会を提供するもの。					
128	高齢者に対する情報提供や相談窓口の設置						
	・地域福祉推進事業 《福祉総務課》	相談窓口における高齢者の「いきがい相談」に関する相談件数 (件)	(2019新規事業)	50	500	500	500
				560	498	303	

※表中、下線標記があるものは累計を示す。

重点戦略 「4 きれいな浜松をいつまでも」

○テーマ							
No	戦略項目			2019 (R1) 計画値	2020 (R2) 計画値	2021 (R3) 計画値	2022 (R4) 計画値
	・対象事業 《担当課》	指標項目(単位)	基準値	実績値	実績値	実績値	実績値
① ごみ減量天下取り大作戦の展開							
129	家庭系ごみ排出量を2020年度までに350g/人・日に削減						
	・ごみ減量・リサイクル推進事業 《ごみ減量推進課》	一人1日あたりの家庭ごみ排出量(g)	487 (2017実績)	420 495	350 504	350 492	350
130	生ごみ減量、雑がみ分別、食品ロス削減の推進						
	・ごみ減量・リサイクル推進事業 《ごみ減量推進課》	ごみの総排出量(t)	257,122 (2017実績)	248,724 253,821	246,378 243,046	244,733 238,417	243,071
131	ごみ減量教育の推進						
	・ごみ減量・リサイクル推進事業 《ごみ減量推進課》	学校連携事業 児童参加率(%)	(2019新規事業)	45 41.1	48 33.8	50 37.7	52
② 環境にやさしい施設の効率的な運営・建設							
132	新清掃工場及び新破砕処理センターを2024年度の稼働に向け建設						
	・新清掃工場整備事業 《廃棄物処理課》	PFI事業(設計・建設)の進捗率(%)	2 (2018実績)	11 11	20 20	24 24	35
		2018～2023: 造成工事・アプローチ道路工事、2020～2021: プラント設計、2021～2023: プラント工事					
		施設整備に係る環境影響評価事後調査の進捗率(%)	9 (2018実績)	26 26	40 40	52 52	75
		2018～2023: 環境調査・猛禽類モニタリング調査、2018～2021: 環境保全措置					
		施設整備に係るモニタリング業務の進捗率(%)	15 (2018実績)	30 30	46 46	64 64	79
	2018～2023: 造成工事・アプローチ道路工事のモニタリング、2020～2021: プラント設計のモニタリング、2021～2023: プラント工事のモニタリング						
133	西部清掃工場の更新事業計画を2022年度までに策定						
	・西部清掃工場更新事業 《廃棄物処理課》	西部清掃工場の更新事業計画策定の進捗率(%)	5 (2019実績)	5 5	20 15	55 55	100
	2019～2020: 更新事業計画準備、2021～2022: 同計画策定						
③ 生物多様性と生活環境の保全							
134	絶滅危惧種等希少生物の保護対策の推進						
	・生物多様性保全事業 《環境政策課》	ヤリタナゴ生息数(匹)	64 (2016実績)	64 61	64 46	64 18	64
135	特定外来生物による被害防止対策の推進						
	・生物多様性保全事業 《環境政策課》	クリハラリス生息数(頭)	15,000 (2018実績)	18,000 18,000	14,000 12,000	9,500 8,000	5,500
136	佐鳴湖の水環境向上						
	・水質保全事業 《環境保全課》	佐鳴湖のCOD(化学的酸素要求量) ※5ヶ年移動平均値	8.0mg/L (2018実績)	8mg/L未満 7.1	8mg/L以下 7.6	8mg/L以下 7.3	8mg/L以下
④ 消費で社会貢献							
137	フェアトレード※1及びエシカル消費※2の啓発促進						
	・消費生活推進事業 《市民生活課(くらしのセンター)》	フェアトレードに関する認知度(%)	44.1 (2018実績)	50.0 39.3	53.3 30.2	56.6 44.5	60.0
	※1 フェアトレード: 発展途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入し、途上国の生産者や労働者の生活改善や自立を目指す貿易のしくみ。 ※2 エシカル消費: より良い社会に向けた、人・社会・環境・地球に配慮した消費行動。例えば、価格が高くて無農薬の野菜を購入する、太陽光発電で作られた自然エネルギーを購入するなどの消費活動。						

※表中、下線標記があるものは累計を示す。

重点戦略 「4 きれいな浜松をいつまでも」

○テーマ								
No	戦略項目	対象事業 《担当課》	指標項目 (単位)	基準値	2019	2020	2021	2022
					(R1)	(R2)	(R3)	(R4)
					計画値	計画値	計画値	計画値
					実績値	実績値	実績値	実績値
⑤ 地球温暖化防止対策の推進								
138 地球温暖化対策のための国民運動クールチョイス※の普及								
	・再エネ・省エネ推進事業 《カーボンニュートラル推進事業本部》	国民運動クールチョイス※への賛同数 (累計) (人)	7,354 (2018実績)	9,500 9,521	10,500 10,284	11,500 10,998	12,500	
※クールチョイス：省エネ・低炭素型の製品への買換・サービスの利用・ライフスタイルの選択など、地球温暖化対策に資する「賢い選択」をしていこうという取組。								
139 気候変動に対応した適応策の推進								
	・再エネ・省エネ推進事業 《カーボンニュートラル推進事業本部》	気候変動に対応した適応策の認知度 (%)	21.9 (2018実績)	28.4 30.5	34.9 25.0	41.4 25.8	47.9	
⑥ エネルギー政策の推進								
140 日本一の太陽光発電導入をはじめ多彩な再生可能エネルギーの導入 (2022年度までに再生可能エネルギーによる電力自給率を15.4%に引き上げる。(2018年現在14.0%))								
	・スマートシティ推進事業 《カーボンニュートラル推進事業本部》	再エネによる電力自給率 (%)	14.0 (2018実績)	14.5 16.0	15 16.7	15.2 17.2	15.4	
141 木質バイオマスなど多彩な再生可能エネルギー導入促進								
	・スマートシティ推進事業 《カーボンニュートラル推進事業本部》	再エネ導入容量 (MWh)	698,808 (2018実績)	725,000 753,930	750,000 836,219	760,000 856,557	770,000	
142 (株)浜松新電力の事業拡大による浜松版シュタットバルケ※の構築								
	・スマートシティ推進事業 《カーボンニュートラル推進事業本部》	総合エネルギー事業の構築	可能性検討 (2018実績)	一般家庭への電力供給	自家消費モデルの検討	自家消費モデルの実施	新たなサービス事業の一部実施	
※シュタットバルケ：電力共有やエネルギーサービスだけではなく、地域が抱える課題解決サービス等を提供する「生活総合サービス企業」。								
143 LED化による省エネルギーの推進								
	・地球環境保全貢献事業 《カーボンニュートラル推進事業本部》	市有施設における旧型蛍光灯 (年間点灯時間2,000時間以上) のLED化率 (%)	(2019新規事業)	4.3 4.6	20.3 15.3	36.2 22.0	52.2	
	・公園施設改良事業 《公園管理事務所》	指定管理14公園の照明灯LED化率 (%)	14.3 (2018実績)	35 41	55 45	75 60	100	
	・公園整備事業 《公園課》	公園整備における照明のLED化率 (%)	(2019新規事業)	100 100	100 100	100 100	100	
	・道路照明LED化更新事業 《道路企画課》	道路照明LED化更新率 (%)	34 (2018実績)	80 38	45 43	50 67	55	
⑦ スマートシティの推進								
144 エネルギー効率の良い優れたまち「浜松版スマートタウン」の誘導								
	・土地利用適正化事業 《土地政策課》	浜松版スマートタウン誘導件数 (件)	3 (2018実績)	3 3	3 0	3 0	3	
145 市域をフィールドにした官民連携によるスマートプロジェクトの推進								
	・スマートシティ推進事業 《カーボンニュートラル推進事業本部》	スマートシティプロジェクトの実装件数 (累計) (件)	0 (2018実績)	1 1	1 1	1 1	2	
146 浜松版バーチャルパワープラント※の実現								
	・スマートシティ推進事業 《カーボンニュートラル推進事業本部》	浜松市マイクログリッド事業の進捗状況	設備導入 (2018実績)	実証 実証→実装	実装 実装	実装 実装	実装	
※バーチャルパワープラント：「仮想発電所」とも呼ばれ、多数の小規模な発電所や、電力の需要制御システムを一つの発電所のようにまとめて制御すること。								

※表中、下線標記があるものは累計を示す。

重点戦略 「5 安全・安心で強靱な日本一暮らしやすいまち」

○テーマ

No	戦略項目	指標項目 (単位)	基準値	2019	2020	2021	2022
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)
				計画値	計画値	計画値	計画値
				実績値	実績値	実績値	実績値
① 地域の活力・魅力をはぐくむみちづくりの推進							
147	三遠南信自動車道の建設に合わせた幹線道路の整備			18	25	35	50
	・三遠南信自動車道関連整備事業 《道路企画課》	現道改良区間 整備率 (%)	10 (2018実績)	14	14	19	
				2018: 用地補償、橋梁詳細設計、橋梁工、道路工、2019: 用地補償、橋梁工、道路工、2020~4橋梁工、道路工			
148	地域要望事業の着実な推進			335	212	92	46
	・交通安全施設等整備・修繕事業 ・市道整備事業 ・国県道整備事業 ・道路維持修繕事業 ・道路防災事業 ・河川改良事業 ・河川維持修繕事業 《道路企画課、道路保全課、河川課》	中規模要望 (高判定) の残件数 (件) ※2018年度末時点における累積未実施分	530 (2018末時点)	328	200	44	
② 拠点ネットワーク型都市構造の形成							
149	適性な都市機能の誘導を図る都市計画マスタープランの見直し			90	100	100	100
	・都市計画策定事業 《都市計画課》	新・都市計画マスタープランの策定 (%)	75 (2018実績)	90	100	100	
				2018: 全体構想骨子検討、2019: 地域別構想・推進策検討、2020: 策定公表			
150	市街地と高速道路を結ぶ道路ネットワーク機能の充実			55	55	56	75
	・スマートインターチェンジ関連整備事業 ・国県道整備事業 ・市道整備事業 ・都市計画道路整備事業 《道路企画課》	対象路線 整備率 (%)	55 (2018実績)	55	56	71	
				2019~2022: 用地、物件補償、道路改良工			
151	拠点間の連携に資する幹線道路の整備			0	16	26	30
	・国県道整備事業 ・市道整備事業 《道路企画課》	対象路線 整備率 (%)	0 (2018実績)	0	16	24	
				2019~2022: 用地、物件補償、道路改良工			
152	拠点を結ぶ公共交通の確保			約27,200	約27,200	約27,200	約27,200
	・公共交通推進事業 《交通政策課》	主要な駅・バス停の利用者 (千人)	約27,575 (2015実績)	27,680	18,410	2023.4頃確定	
153	IT等を活用した新たな交通システムの導入			1	1	2	2
	・交通計画推進事業 《交通政策課》	IT等を活用とした地域バスの実証運行 (地域)	1 (2018実績)	1	1	2	
③ 道路・河川・橋りょう施設の適切な維持管理							
154	公共施設等総合管理計画に基づく公共施設の適正化と長寿命化の推進			70	72	74	76
	・アセットマネジメント推進事業 《アセットマネジメント推進課》	浜松市公共施設等総合管理計画におけるタテモノ資産充足率 (%) ※	64.1 (2015実績)	75.6	82.2	2022.9頃確定	
		浜松市公共施設等総合管理計画におけるインフラ資産充足率 (%) ※	52.7 (2015実績)	60	85	85	
		※充足率 = 「改修・更新の投資実績額 (1年当たり)」 / 「将来の改修・更新経費試算値 (1年当たり)」		84.1	95.6	2022.9頃確定	
155	道路・橋りょうの適切な維持管理 (長寿命化の推進)			70	80	90	90
	・道路維持修繕事業 《道路保全課》	法定点検の結果、判定区分Ⅲ以上の道路施設の修繕率 (%) ※2014~2018点検分	60 (2018実績)	72	89	94	

※表中、下線標記があるものは累計を示す。

重点戦略 「5 安全・安心で強靱な日本一暮らしやすいまち」

○テーマ								
No	戦略項目	対象事業 《担当課》	指標項目 (単位)	基準値	2019	2020	2021	2022
					(R1) 計画値	(R2) 計画値	(R3) 計画値	(R4) 計画値
					実績値	実績値	実績値	実績値
156	河川の適切な維持管理 (河川維持管理計画の策定)							
	・河川維持修繕事業 《河川課》	河川管理延長に対する河川点 検巡視の実施延長割合 (%)	20 (2018実績)	41	60	77	100	
				41	60	77		
157	交通事故ワースト1からの脱出							
	・交通安全推進事業 《道路企画課》	人身交通事故発生件数 (件)	7,570 (2018実績)	6,000	6,000	2,500	2,500	
				6,582	5,570	5,375		
④	自然災害に強い強靱な浜松づくりの推進							
158	防潮堤を2019年度の完成に向け整備							
	・防災計画等整備事業 《危機管理課》	防潮堤整備 (17.5 km) の進 捗率 (%)	59 (2018実績)	100	-	-	-	
		整備完了時期：2019末		100	-	-	-	
159	新たな災害情報伝達手段を2021年4月の運用開始に向け整備							
	・防災施設・資機材管理事業 《危機管理課》	同報無線を含めた災害情報伝 達手段の整備	実施設計 (2018実績)	通信システ ム工事	屋外拡声 子局等 設置工事	運用開始・ 既存無線 撤去	既存 同報無線設 備撤去	
		整備完了時期：R4末		通信システ ム工事	屋外拡声 子局等 設置工事	屋外拡声子局等設 置工事・運用開 始・既存無線撤去		
160	防災教育の充実							
	・学校安全事業 《健康安全課》	防災ノート活用率 (%)	100 (2018実績)	100	100	100	100	
				100	100	100		
	・防災学習センター管理運営事業 《危機管理課》	年間の来館客数 (人)	5,354 (2018実績)	12,000	12,000	12,000	12,000	
				13,927	9,275	9,894		
161	重要道路の橋りょうの耐震化対策の推進 (2022年度までに重要道路の橋りょうの耐震化率を33%とする。)							
	・橋りょう耐震補強事業 《道路保全課》	緊急輸送路等の重要道路上の 橋梁の耐震化率 (%)	30% (2018実績)	31	32	32	33	
				31	31	33		
162	無電柱化推進計画の策定							
	・道路管理事業 《道路保全課》	無電柱化推進率 (%) ※延長割合	7% (2018実績)	9	10	60	70	
				9	10	64		
163	浸水被害に対する総合的な対策の推進							
	・河川改良事業 《河川課》	高塚川流域浸水対策アクション プランに基づく床上浸水戸 数の解消割合 (%)	0% (2018実績)	0	50	50	50	
				0	62.5	62.5		
164	「浜松版グリーンレジリエンス※」による天竜美林の多面的機能の維持・拡大							
	・森林管理事業 《林業振興課》	年間間伐実施面積 (ha)	2020.1月頃 (2018実績)	2,000	2,000	2,000	2,000	
				2,552	2,316	2023.2頃確定		
		※グリーンレジリエンス：森林の持つ水資源の確保、山地災害防止、生態系保全、CO2の吸収等の多面的機能と、木材を利用した新産業創出、産業振興を同時に進め、地方創生を実現する事業や活動。						
165	エネルギー面で災害時の市民生活を支える仕組みの整備促進							
	・スマートシティ推進事業 《カーボンニュートラル推進事業本部》	エネルギー (電力) 自給率 (%)	14.9 (2018実績)	15.4	16.0	16.3	16.5	
				16.0	17.7	18.1		
166	建築物の耐震化の促進							
	・地震対策推進事業 《建築行政課》	住宅の耐震化率 (%)	89 (2018実績)	91.0	95.0	91.8	92.6	
		※耐震改修促進計画における最終年度 (2025) 目標値：95%		90.0	90.8	2022.8頃確定		

※表中、下線標記があるものは累計を示す。

重点戦略 「5 安全・安心で強靱な日本一暮らしやすいまち」

○テーマ								
No	戦略項目	対象事業 《担当課》	指標項目 (単位)	基準値	2019	2020	2021	2022
					(R1)	(R2)	(R3)	(R4)
					計画値	計画値	計画値	計画値
					実績値	実績値	実績値	実績値
⑤ 公園施設など憩いの場の整備								
167	フラワーパークの開園50周年(2020年)に向けた魅力の創出							
	・ 館山寺総合公園運営事業 《緑政課》	フラワーパークの入園者数 (人)	432,455 (2018実績)	490,000 460,286	500,000 351,176	470,000 352,359	470,000	
168	動物園のいのちのふれあいゾーンの整備							
	・ 施設整備事業 《動物園》	いのちのふれあいゾーンの整備	動物園再生計画 (2016実績)	ふれあいゾーン整備 ふれあいゾーン整備	ふれあいゾーン整備 ふれあいゾーン完成	- -	- -	
169	都市の顔となる浜松城公園の整備や浜松城跡の発掘調査の推進							
	・ 公園整備事業 《公園課》	浜松城公園歴史ゾーン整備の進捗状況	-	樹木伐採 樹木伐採	樹木伐採遺構解説サインの設置 樹木伐採遺構解説サインの設置	遺構解説サインの設置 遺構解説サインの設置 平面表示の整備	樹木伐採遺構解説サインの設置 園路改修	
	・ 浜松城公園整備事業(鹿谷地区) 《公園課》	整備率 (%)	(2019新規事業)	25 18	37 41	49 63	67	
	・ 浜松城公園長期整備構想推進事業 《緑政課》	浜松城跡(元城小跡地)の発掘調査の進捗率 (%)	(2019新規事業)	25 25	50 50	75 75	100	
	・ 埋蔵文化財調査事業 《文化財課》	2019: 遺構残存状況の確認、2020: 遺構範囲確認等の詳細調査、2021: 確認された遺構の掘削調査、2022: 発掘調査報告書の作成						
⑥ 迅速な消防・救急体制の整備								
170	消防ヘリコプターの運航体制及び安全管理体制の強化							
	・ 消防航空隊運営事業 《警防課》	安全運航体制の強化【操縦士計器飛行証明※所持者数】 (人)	(2019新規事業)	0 0	2 2	3 4	4	
	※計器飛行証明: 航空従事者国家資格技能証明で、航空機の位置及び針路の測定を計器のみに依存して飛行を行うことができる国家資格。							
171	高所監視カメラの増設による情報収集体制の強化							
	・ 消防情報通信ネットワーク事業 《情報指令課》	情報収集体制強化率 (%)	(2019新規事業)	100 100	- -	- -	- -	
	2019: 高所監視カメラの更新及び新規設置							
⑦ 生活を支える上下水道の維持・提供								
172	巨大地震に備えた上下水道の基幹管路耐震適合率の向上及びマンホールトイレの整備 (2022年度までに基幹管路耐震適合率を上水道81%、下水道89%とする。)							
	・ 管路耐震化事業 《水道工事課》	基幹管路耐震適合率 (%)	70.1 (2018実績)	73.0 73.3	76.0 76.9	79.0 78.7	81.0	
	・ 地震対策事業 《下水道工事課》	基幹管渠の耐震化率 (%)	88.3 (2018実績)	88.7 98.9	99.0 99.4	99.4 99.4	99.4	
	・ 防災施設・資機材管理事業 《危機管理課》	マンホールトイレ整備箇所数 (箇所)	(2019新規事業)	5.0 5.0	5.0 5.0	5.0 5.0	5.0	
	整備完了時期: 2022末							
173	都市部における頻発する大雨による床上浸水軽減のための雨水調整池や排水ポンプなどの整備							
	・ 浸水対策事業 《下水道工事課》	都市部における雨水調整池や排水ポンプ等整備率 (%)	72 (2018実績)	85.0 86.0	92.0 88.0	100.0 100.0	100.0	

※表中、下線標記があるものは累計を示す。

重点戦略 「6 市民協働が奏でるところ豊かなまちづくり」

○テーマ

No	戦略項目	対象事業 《担当課》	指標項目 (単位)	基準値	2019	2020	2021	2022
					(R1)	(R2)	(R3)	(R4)
					計画値	計画値	計画値	計画値
					実績値	実績値	実績値	実績値
① 「音楽の都・浜松」のさらなる飛躍								
174	次代の音楽文化を担う人材育成拠点「(仮称)市民音楽ホール」を2020年度までに整備							
	・文化施設管理事業 《創造都市・文化振興課》	整備率 (%)	0 (2018実績)		5	95	100	100
					5	100	100	
	2018：基本設計・実施設計、2019～2：建設工事							
175	世界の創造都市と連携した響きの創造プロジェクト(2020文化プログラム)の推進(再掲)							
	・創造都市推進事業 《創造都市・文化振興課》	イベント参加者数(人)	1,593 (2018実績)		5,000	10,000	10,000	-
					2,265	-(中止)	40,692	
176	浜松版アーツカウンシル※の推進と市民の創造的活動を支援する新たな伴走型助成制度の創設							
	・創造都市推進事業 《創造都市・文化振興課》	浜松市創造都市推進事業補助 金採択件数(件)	(2019新規事 業)		22	22	22	22
					17	16	17	
	※アーツカウンシル：市民が主体となって文化活動の活性化を図り、文化芸術がもたらす効果をまちづくり、観光振興、教育、福祉等に波及させ、文化活動の経済的自立、地域課題解決に向けた活動を行う組織。							
177	アクトシティ浜松の計画的な改修整備に向けた準備							
	・文化施設管理事業 《創造都市・文化振興課》	アクトシティ浜松改修計画策 定及び改修整備	-		計画策定	計画策定	改修整備	改修整備
					計画策定	計画策定	改修整備	
178	国際ピアノコンクールや吹奏楽大会の実施とやらフェスなど市民主体の音楽イベントの支援							
	・音楽文化発信・交流事業 ・市民音楽文化振興事業 ・芸術文化人材育成事業 《創造都市・文化振興課》	国際的音楽イベント等の開催 日数(日)	47 (2017実績)		71	72	73	74
					88	21	2022.5頃確定	
		音楽イベントに参加する市民 団体等の数(団体)	1,281 (2018実績)		1,510	1,520	1,530	1,540
					1,260	-(中止)	-(中止)	
179	環境の変化に対応した新たな文化振興ビジョンの策定							
	・文化推進運営経費 《創造都市・文化振興課》	新たな文化振興ビジョンの策 定	-		ビジョン策定	-	-	-
					ビジョン策定	-	-	-
② 多文化共生の世界的モデル都市の推進								
180	インターカルチュラル・シティ※をはじめとした国内外の連携を通じた多文化共生の推進							
	・多文化共生推進事業 《国際課》	外国人市民との相互理解や交 流を深める共生社会づくりの 市民満足度(%)	10 (2018実績)		15	16	18	20
					9.4	13.8	14.9	
	※インターカルチュラルシティ：欧州協議会が2008年から進めている「文化的多様性を脅威ではなくむしろ好機と捉え、都市の活力や革新、創造、成長の源泉とする都市政策」に賛同する欧州を中心としたネットワークに参加する都市。							
181	国際会議を通じた「多文化共生都市・浜松」の発信							
	・国際交流連携推進事業 《国際課》	国際会議参加数(回)	2 (2018実績)		2	2	2	2
					2	2	1	
182	国の制度改正等を踏まえた多文化共生の推進							
	・多文化共生推進事業 《国際課》	外国人市民との相互理解や交 流を深める共生社会づくりの 市民満足度(%)	10 (2018実績)		15	16	18	20
					9.4	13.8	14.9	
③ 生涯学習の充実								
183	浜松科学館事業の充実(2019年7月リニューアルオープン)							
	・生涯学習施設運営事業 《創造都市・文化振興課》	浜松科学館の来館者数(人)	休館 (2018実績)		187,500	255,000	260,000	225,000
					248,155	97,730	128,183	
184	浜松ゆかりの美術文化等に触れる機会の充実							
	・美術館展覧会開催事業 ・秋野不矩美術館管理運営事業 《美術館》	収蔵品展覧観覧者数(人)	13,174 (2018実績)		9,000	9,000	12,000	12,000
					8,476	9,345	13,952	

※表中、下線標記があるものは累計を示す。

重点戦略 「6 市民協働が奏でるところ豊かなまちづくり」

○テーマ

No	戦略項目	指標項目 (単位)	基準値	2019	2020	2021	2022
				(R1) 計画値	(R2) 計画値	(R3) 計画値	(R4) 計画値
				実績値	実績値	実績値	実績値
④ 市民協働・地域コミュニティの推進							
185	地域コミュニティとの協働の推進						
	・市民協働推進事業 《市民協働・地域政策課》	市と多様な主体との協働件数 (件)	181 (2018実績)	180 193	182 129	184 2022.8頃確定	186
186	地域コミュニティの活動支援						
	・自治会等コミュニティ振興事業 《市民協働・地域政策課》	地域組織による協働センター 等の管理委託施設数(累計) (件)	2 (2018実績)	3 3	5 5	6 5	8
187	協働センターの機能拡充						
	・自治会等コミュニティ振興事業 《市民協働・地域政策課》						
⑤ 地域特性を活かしたまちづくりの推進							
188	史跡整備を活かしたまちづくりの推進						
	・文化財活用地域連携事業 《文化財課》	各区協議会、まちづくり協議 会等地域団体との延べ会合数 (件)	2(件/年) (2018実績)	5 6	7 7	10 10	12
189	文化財保存活用地域計画の策定						
	・文化財保護継承事業 《文化財課》	文化財保存活用地域計画策定 の進捗率(%)	(2019新規事 業)	30 30	90 90	100 100	-
190	無形民俗文化財の次世代継承						
	・文化財活用地域連携事業 《文化財課》	無形民俗文化財保護団体連絡 会が芸能、祭礼等を伝承する 次世代の延べ人数(人/年)	(2019新規事 業)	50 90	100 137	150 234	200
191	地域課題の解決や地域の特性を活かした取組の支援(地域力向上事業)						
	・地域力向上事業 《市民協働・地域政策課、各区区振興課》	地域力向上事業の実施件数 (件)	124 (2018実績)	139 113	139 81	139 99	139
192	中山間地域のまちづくりや移住の支援						
	・中山間地域まちづくり事業 《市民協働・地域政策課》	中山間地域まちづくり事業採 択事業数(累計)(事業)	17 (2018実績)	19 19	20 20	21 22	22
	・居住促進事業 《市民協働・地域政策課》	市の事業を活用した中山間地 域への年間移住者数(人)	27 (2018実績)	30 21	31 33	32 21	33
⑥ ユニバーサルデザイン都市の推進							
193	必要な情報へのアクセスが保証される環境づくり						
	・UD・男女共同参画デジタル 運営経費 《UD・男女共同参画課》	各区窓口での音声文字化アプ リケーションの利用実績 (件)	(2019新規事 業)	20 28	25 24	30 12	30
194	多様性の理解や思いやりの心の醸成						
	・ユニバーサルデザイン推進事業 《UD・男女共同参画課》	UD市民リーダー養成に伴う講 座受講者数(人)	(2019新規事 業)	20 32	20 25	20 21	20

※表中、下線標記があるものは累計を示す。

重点戦略 「6 市民協働が奏でるところ豊かなまちづくり」

○テーマ								
No	戦略項目	対象事業 《担当課》	指標項目 (単位)	基準値	2019	2020	2021	2022
					(R1)	(R2)	(R3)	(R4)
					計画値	計画値	計画値	計画値
					実績値	実績値	実績値	実績値
195	JR弁天島駅、遠鉄八幡駅など主要駅のバリアフリー化の推進							
	・公共交通推進事業 《交通政策課》	JR弁天島駅、遠鉄八幡駅 バリアフリー化整備率 (%)	(2019新規事業)	10	4	32	100	
				3	5	27		
					【JR弁天島駅】2019:調査、2020:交通事業者との協議、2021~2022:交通事業者との継続協議 【遠鉄八幡駅】2019:交通事業者との協議、2020:詳細設計、2021~2022整備工事			
	・交通安全施設等整備・修繕事業 《道路企画課》	JR弁天島駅(国道301号)UD 化整備率 (%)	(2019新規事業)	5	10	70	100	
				5	5	5		
					2019:詳細設計、2020~2022:UD化工事			
⑦ 「ビーチ・マリンスポーツの聖地」の確立								
196	ビーチ・マリンスポーツ施設の整備							
	・ビーチ・マリンスポーツ推進事業 《スポーツ振興課》	江之島ビーチコート の整備	(2019新規事業)	サブコート 完成	基本計画 ・設計	基本設計	土壌調査	
				サブコート 完成	基本計画 ・設計	基本計画 ・地歴調査		
197	ビーチ・マリンスポーツ大会の誘致等の推進							
	・大型スポーツ等誘致事業 《スポーツ振興課》	大型ビーチ・マリンスポーツ イベントの誘致等	(2021新規事業)			調査研究・ 目標設定	誘致交渉	
						調査研究・ 目標設定		
198	「ビーチ・マリンスポーツ推進協議会」を核とした官民連携事業の推進							
	・シティプロモーション事業 《観光・シティプロモーション課》	浜松市の魅力度 (位)	55 (2018実績)	42	40	38	35	
				44	45	59		
⑧ 大型スポーツイベント(ラグビーW杯、東京オリパラ)の支援								
199	大規模スポーツ大会、スポーツイベント、合宿誘致の推進(再掲)							
	・大型スポーツイベント等誘致事業 《スポーツ振興課》	大型スポーツイベント等誘致 数(件)	10 (2018実績)	10	10	10	10	
				13	3	14		
200	ラグビーW杯の事前合宿の受入							
	・大型スポーツイベント等誘致事業 《スポーツ振興課》	欧米豪からの外国人宿泊者客 数(千人)	33 (2018実績)	36	-	-	-	
				31	-	-	-	
					※2019年度事業終了			
201	東京オリパラにおけるブラジルホストタウンの推進							
	・ブラジルホストタウン交流事業 《スポーツ振興課》	ブラジル選手団との交流人数 (人)	1,658 (2018実績概 算)	1,700	1,700	9,300	-	
				1,664	880	2,146		
					※2021年度事業終了			
⑨ 大型スポーツ施設の整備								
202	野球場を有する遠州灘海浜公園(篠原地区)整備に向けた静岡県との連携強化							
	・公園整備事業 《公園課》 ・スポーツ施設運営事業 《スポーツ振興課》	新野球場を含めた遠州灘海浜 公園の施設整備等に向けた進 捗状況	-	県協議 (基本計 画)	県協議	県協議	県協議	
				県協議 (基本計 画)	県協議	県協議		
203	四ツ池公園スポーツ施設再整備の検討							
	・スポーツ施設運営事業 《スポーツ振興課》	四ツ池公園運動施設再整備	-	委員会協議	整備方針の策定	整備方針の策定	方向性の検討	
				委員会協議	委員会協議	委員会協議		

※表中、下線標記があるものは累計を示す。

重点戦略 「7 持続可能な都市経営の推進」

○テーマ								
No	戦略項目	対象事業 《担当課》	指標項目 (単位)	基準値	2019	2020	2021	2022
					(R1)	(R2)	(R3)	(R4)
					計画値	計画値	計画値	計画値
					実績値	実績値	実績値	実績値
① 未来のための行政区再編の実現								
204	行政区再編の実施	・区再編推進事業 《区再編推進事業本部》	区再編の決定 (進捗状況)			再編が必要と決定	区割り案内定	条例議決
205	地域委員会の創設	・自治会等コミュニティ振興事業 《市民協働・地域政策課》						
② 市民生活を支える行財政改革の推進								
206 持続可能な行財政運営 (2022年度末までに総市債残高を4,558億円以下、市民一人当たり市債残高を577千円以下とする。)								
	・財政管理デジタル運営経費 《財政課》	市民一人あたりの市債残高 (千円)	580 (2018見込)	582以下 560	577以下 557	585以下 544	577以下	
		総市債残高 (億円)	4,661 (2018見込)	4,653以下 4,484	4,592以下 4,443	4,646以下 4,318	4,558以下	
207	機動性を確保するための業務改善の推進	・デジタル・ガバメント推進事業 《デジタル・スマートシティ推進課》	事業の廃止及び見直しの実施	(2019新規事業) ※2019は政策法務課	全事業見直しの実施 全事業見直しの実施	継続見直しの実施 継続見直しの実施	継続見直しの実施 継続見直しの実施	継続見直しの実施
208	内部統制制度※の構築と市民への公表	・経営改革推進事業 《政策法務課》	内部統制に係る推進体制等の整備・運用	(2019新規事業)	整備 整備	運用 運用	運用及び見直し 運用及び見直し	運用及び見直し
※地方公共団体における内部統制：地方自治法等の一部を改正する法律(平成29年法律第54号)により、住民の福祉の増進を図ることを基本とする組織目的が達成されるよう、行政サービスの提供等の事務を執行する主体である長自らが、組織目的の達成を阻害する事務上の要因をリスクとして識別及び評価し、対応策を講じることで、事務の適正な執行を確保すること。								
209	民間事業者等の保有する経営資源の積極的な活用	・経営改革推進事業 《政策法務課》	庁内・外への民間活力の導入に関する制度周知及び啓発の実施回数 (回)	3 (2018実績)	3 3	3 3	3 3	3
③ ファシリティマネジメントの推進								
210 公共施設等総合管理計画に基づく公共施設の適正化と長寿命化の推進 (再掲)								
	・アセットマネジメント推進事業 《アセットマネジメント推進課》	浜松市公共施設等総合管理計画におけるタテモノ資産充足率 (%) ※	64.1 (2015実績)	70 75.6	72 82.2	74 2022.9頃確定	76	
		浜松市公共施設等総合管理計画におけるインフラ資産充足率 (%) ※	52.7 (2015実績)	60 84.1	85 95.6	85 2022.9頃確定	85	
		※充足率 = 「改修・更新の投資実績額 (1年当たり)」 / 「将来の改修・更新経費試算値 (1年当たり)」						
211	PFIや指定管理者制度等の官民連携の積極的な導入と適正な制度運用	・アセットマネジメント推進事業 《アセットマネジメント推進課》	浜松市公共施設等総合管理計画による官民連携手法の導入・活用	制度運用	制度運用	制度運用	制度運用	制度運用

※表中、下線標記があるものは累計を示す。

重点戦略 「7 持続可能な都市経営の推進」

○テーマ							
No	戦略項目 ・対象事業 《担当課》	指標項目 (単位)	基準値	2019	2020	2021	2022
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)
				計画値	計画値	計画値	計画値
				実績値	実績値	実績値	実績値
212	遊休資産の活用及び借地の解消						
	・公有財産維持管理事業 ・借地解消事業 《アセットマネジメント推進課》	遊休財産の売却額 (億円)	4.9 (2018実績)	3 3.2	3 7.1	3 2.5	3 0.1
		借地料の削減額 (億円)	0.39 (2018実績)	0.1 0.16	0.1 0.12	0.1 0.05	0.1
④ スマート自治体の推進							
213	AI等先進技術を活用した市民サービスの向上と業務の効率化の推進						
	・デジタル・スマートシティ推進事業 《デジタル・スマートシティ推進課》	AI等先進技術の業務への導入数 (件)	(2019新規事業) ※2019は情報政策課	10	29	50	60
				19	37	54	
214	オープンデータの利活用推進						
	・市政広報事業 ・オープンデータプラットフォーム運用事業 《広聴広報課》	オープンデータ提供件数 (件)	256 (2018実績)	260	270	280	300
				261	281	297	
215	マイナンバーカードの普及促進						
	・戸籍・住民基本台帳・印鑑登録等事業 《市民生活課》 ・デジタル・ガバメント推進事業 《デジタル・スマートシティ推進課》	マイナンバーカード交付率 (%)	10.2 (2018実績) ※2018は政策法務課	12	47.1	70.6	94.1
				12.1	26.9	43.4	
⑤ 多様な地域経営の推進							
216	新・三遠南信地域連携ビジョンの推進						
	・広域行政推進事業 《企画課》	三遠南信地域連携ビジョン重点プロジェクトの実施件数 (件)	14 (2018実績)	28	28	28	28
				24	26	26	
217	遠州地域の各市町との連携による共通課題の解決						
	・広域行政推進事業 《企画課》	遠州広域行政推進会議での調査・研究件数 (累計) (件)	7 (2018実績)	9	11	13	15
				9	10	12	
218	「しずおか型特別自治市」の推進						
	・大都市制度調査研究事業 《企画課》	特別自治市の法制化に向けた国への働きかけ回数 (累計) (回)	11 (2018実績)	13	15	20	22
				14	18	22	
⑥ 持続可能な開発目標 (SDGs) の推進							
219	SDGsの戦略的な推進						
	・総合計画推進事業 《企画課》	SDGsプラットフォーム会員による会員間交流イベント等の回数 (回)	(2019新規事業)	-	5	10	20
				-	9	16	

※表中、下線標記があるものは累計を示す。

浜松市戦略計画 2022【7月改訂版】

編集・発行：浜松市企画調整部企画課

発行年月：2022年7月

住所：〒430-8652 浜松市中区元城町103番地の2

TEL：053-457-2241 FAX：050-3730-1867

E-mail：kikaku@city.hamamatsu.shizuoka.jp

URL：<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/>



SDGs 未来都市・浜松
市民協働で築く「未来へかがやく創造都市・浜松」

